

---

## かやの実保育園

令和3（2021）年度

### 福祉サービス第三者評価結果報告書

---

- 1. 東京都第三者評価推進機構提出内容（公表対象）
- 2. 利用者調査結果（非公表）
- 3. 職員自己評価結果（非公表）



## 1. 東京都第三者評価推進機構提出内容



1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	<p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)1. 運営原則 我が国の児童憲章と児童福祉法、ならびに国連の児童権利宣言に基づいて本園は設立された。本園では、ご両親にとって大切なお子さんの心と体と知恵が健やかに育つよう努めている。</p> <p>2)1. 基本理念 人間らしく育てる 日本民族の文化を伝える</p> <p>2. 基本方針 ひとり一人を大切にす</p> <p>3)保育方針 子どもの心と体と知恵が豊かなく成長・発達するよう日常の保育を進める。</p> <p>4)給食業務の理念 調理保育、食材量紹介、行事食など通じて日本人の「食」の雰囲気を伝えると共に、在園児諸園の食文化、日本の地方の食文化を給食メニューに取り入れ、異文化、地方文化の一端に触れ、相互理解を図る。</p> <p>5)保健管理の目標 1. 保育、給食部門と協働で日常の健康管理を行い、保護者に情報提供・啓蒙活動を行う 2. 疾病の予防と早期発見を行う 3. 心身の発達を助長する</p>
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割 日々学習、研究し、保育を追求するプロ意識を持ってほしい</p>
	<p>(2)職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） 子どもの命を預かっている事の重要性を認識してほしい</p>

No. 特に良いと思う点	
1	<p><b>タイトル</b> 園方針実現のため全職員は組織的に特色ある保育を実践し、利用者の満足度が非常に高い園となっています</p> <p><b>内容</b> 園設立からの基本理念「人間らしく健やかに育てたい」「日本民族の文化を伝える」のもと、園の方針は年3回開催される職員会議で発表され、50名近くの職員に役割分担と権限が明確され、職員全員で組織的に保育を行っています。園長は職員個別面談により、課題や要望をていねいに確認し、毎年実施する法人の自己評価などからも現場課題を真摯に受け止めています。解決策はトップダウンではなく、ミーティングや会議体で話し合っで決定しています。多くの特色があり利用者の満足度が非常に高く、地域からも認められた園経営が行われています。</p>
2	<p><b>タイトル</b> 0～2歳児は担当制保育で愛着関係を大切に、3歳児からは異年齢保育で兄弟のような関係の中でお互いが育ち合えるよう援助しています</p> <p><b>内容</b> 一人ひとりを大切にする保育を旨とし、年齢に応じた保育実践を行っています。0～2歳児では特定の担当職員がその子どもの生活リズムに沿って、わらべうたも取り入れた心地よい環境を作っています。子どもは「大切にされている」と実感し、愛着関係から人への信頼の気持ちを芽生えさせていきます。3～5歳児は、異年齢で生活し遊ぶ中、世話をしったり助けたり、大きい子どもを真似し憧れ体験します。3～5歳児を縦割りで2つの組に分け「どんぐりむら」と「まつぼっくりむら」と名づけ、就学前の楽しめない子どもの時間を大切に援助しています。</p>
3	<p><b>タイトル</b> 伝承文化を大切にしたい遊びを中心とし、広い視野を持ちたくましく賢く生きていってほしい、と園は願いを込めた環境を提供しています</p> <p><b>内容</b> 温かな木のぬくもりの中、職員の寄り添いにより「流れる保育」が展開されています。四季を感じさせる花や、木のおもちゃ等自然物を取り入れ、豊かな感性を養っています。子ども本来の生きるリズムに合うわらべうたや、歌謡を創む文芸など伝承遊びを取り入れています。その一方、外国籍の子どもと自然なかかわりや、柔軟な思考、心と体を動かし、挑戦する気持ちへの援助があります。また、指示したり、時間だからと厳格にしない流れる保育を心掛け、自分のペースで行動していると、子どもが感じられるよう自主性を伸ばす環境の提供があります。</p>
No. さらなる改善が望まれる点	
1	<p><b>タイトル</b> 中長期計画の年度ごとの指標をさらにわかりやすく具体的に示し、到達状況を確認しながら取り組んでいくことを期待します</p> <p><b>内容</b> 中長期計画は法人が作成し、園は達成した単年度計画を実行しています。単年度事業計画の中に長期計画として記載し、職員への周知を図っています。内容は園舎改修、マニュアルなど資料のデジタル化、5年後に向けた園の課題、職員研修、自己評価などにわたり、単年度事業計画との一貫性は確保されています。しかし、中長期計画を執行する期間設定や、年度ごとの達成レベルを指標として具体的に示すことがやや不足しています。園の中長期計画は、年度事業計画書の中から切り離し作成し、到達状況を確認しながら、取り組んでいくことを期待します。</p>
2	<p><b>タイトル</b> 行動や手順の基本となるマニュアルを総点検し必要な箇所は改訂を行ない、その年月日を記載していくと良いでしょう</p> <p><b>内容</b> 保育業務、危機管理、防災対策などの20種類のマニュアルが整備され、保育の行動基準や手順などが明記されています。使いやすさの工夫として、各クラスに配備しているタブレットパソコンにマニュアルをインストールし、いつでも確認することができます。基本となるマニュアルは作成から年数が経過し、見直しが必要な項目もでてきました。ぜひ、全職員で分担し内容の確認に取り組みたいかがでしょうか。改訂が必要な箇所の文案を作成することも職員の研鑽となります。改訂する内容が生じた場合は、改訂年月日の記載をすると良いでしょう。</p>
3	<p><b>タイトル</b> 園が大切にしているわらべうたの指標に、さまざまな工夫を期待します</p> <p><b>内容</b> コロナウイルス感染防止のため、職員は常時マスク着用を厳守し、子どもたちとの距離を取りながらわらべうたを伝えています。不織布マスクは口の形や指導者の顔の表情を見ることができないため、透明なフェイスシールドなどに変更し、指導を行ないました。しかし、興味を失ってしまう可能性があり、不織布マスクのみの使用としました。緊急事態宣言発出もあり、このままではマスク着用の生活が続く、子どもへの指導効果は低下してしまいます。オンライン会議アプリなどの使用によって、職員の表情を見せるなど、さまざまな改善と工夫を期待します。</p>

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている
タイトル①	長年にわたり園の専門性を生かした活動を実践し、地域貢献を積極的に果たしています	
内容①	<p>地域支援事業として、市内保育園13園で共同開催する赤保員会を平成6年から、地域の親子を対象としたわらべうたと遊びの広場「はなももんめ」を平成10年から、小学生わらべうた教室を平成5年から、本園中園児と周辺の子どもたちの交流を主目的にした「わらべの集」、地域の敬老会との交流、主催による中学校でのキャリア教育、職場体験、子育て生活相談室などを開催し、長年にわたり地域福祉の担い手として活動し、いろいろな取り組みを通して地域貢献し、つながりを深めています。活動内容や年間計画は園ホームページに掲載しています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	楽しい絵本の再現ごっことなるよう援助し、それぞれの自己表現の力につなげています	
内容②	<p>絵本の読み聞かせを繰り返すことで想像する力を養っており、友だち同士でイメージを共有した3歳児には、絵本などで絵本の再現ごっこが展開できるよう援助があります。3、4歳児にも、職員はできることを模倣し、みんなで具現化できた喜びは、それぞれの自己表現力の豊かさの糧になっています。例えば、草にたくさんやさなてんとう虫がいることを知っていた子どもは、草取りを始めた園長に「まって！」と叫び、とっさに言葉発することができました。再現遊びで、子どもが想像し創造することは、自信を持ち意見を言う力の育成につながっています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-4	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル③	子どもが食を楽しめるよう、多職種が一体となって数々の取り組みをしています	
内容③	<p>子どもが食を楽しめるよう数々の取り組みをしています。生活リズムを大切に、食べられる量を職員はしっかり把握し加減をし、ご飯とみそ汁は、時間帯のある食事時間でも保温カバーで温かさを保つ配慮があります。四季を感じさせる献立や、職場体験、食育活動もSNSに写真を掲載しており、親子で食の楽しさを感じてもらえるようにしています。そして、海の中を潜っている子どもたちが大好きな絵本から、海の青いゼリーを再現し提供して、子どもたちを大喜びさせていました。食からも行事や保育を盛り上げ、職員が一体となった取り組みがあります。</p>	

1. 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5, 7)

No.	評価項目	評価	標準項目
1	リーダーシップと意思決定	カテゴリ1	
		サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ1毎の標準項目実施状況 7/7	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	評点(OO)	
	評価	標準項目	
	あり	◆1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員が理解が深まるような取り組みを行っている	
	あり	Ⓐ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	評点(OO)	
	評価	標準項目	
	あり	◆1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	
あり	Ⓐ 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している		
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	評点(OOO)		
評価	標準項目		
あり	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている		
あり	◆2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している		
あり	Ⓐ 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている		
カテゴリ1の評価			
2	園の原点である保育理念や方針は、園長が職員一人ひとりに伝え研修を実施しています		
	園の原点である保育理念や方針は、全ての職員の入職時に、園長が個別に入園のしおりやパソコンなどを活用し、1時間の研修を実施しています。その後、運営職員会議で園長や主任が話し合います。今年度はコロナ禍であるため、新年度方針は書面で全職員に伝え、4月1日付け園令で役割分担を明確にしています。保護者には、従来の入園説明会を開催していましたが、今年度は4月には必ず園長作成パワーポイント資料などによってわかりやすく説明しています。その後、12月の個人面談で担任が再度説明し、玄関スペースには保育理念を掲示しています。		
	園経営層は役割と責任を明確にし、職員の育成によって理念実現を目指しています		
	園経営層は2月に発表する事業計画の中で自らの役割と責任を明確にしています。園長は園運営の最高責任者であり、事業計画作成、執行について権限と責任を持っています。行政や保育関連団体と連携し、情報を把握して園の将来を確めています。主任は、園の歴史を踏まえ、全体的な計画、指導計画、勤務表作成など保育全般にかかわり、園長の補佐や職員のサポートをし、円滑な園運営を主導しています。職員は役割担当を明確にし、保育を巡るプロ意識を持ち、経験年数にかかわらず係や仕事の責任者となり、リーダーシップを発揮しています。		
案件の内容により検討し決定する手順が定められ、決定事項は速やかに伝達しています			
重要な案件は年4回開催される法人理事会で報告事項や議題を検討し決定しています。園内で決定する案件については、内容によりますが、基本はミーティング、クラス会議、乳児完会議を経て、運営委員会で検討し決定される手順が定められています。全ての案件は話し合いが持たれ、トップダウンで決定することはありません。決定した事項は、内容により無料通話アプリのメッセージ機能を使用する之と共に、資料、口頭によって伝え、係り職員にはリーダーや主任から伝えています。保護者に対しては、資料を配布するか送迎時に口頭で伝えています。			
カテゴリ1の評価満足			



カテゴリー2	
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
サブカテゴリー1(2-1)	
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	
サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6	
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	
評点(000000)	
評価	標準項目
あり	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している
あり	2. 事業所運営に対する職員意向を把握・検討している
あり	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している
あり	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している
あり	5. 事業所の経営状況を把握・検討している
あり	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している
サブカテゴリー2(2-2)	
実践的な計画策定に取り組んでいる	
サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5	
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している	
評点(000)	
評価	標準項目
あり	1. 課題をふまえて、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している
あり	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している
あり	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている
評価項目2 重要な計画の実行に取り組んでいる	
評点(00)	
評価	標準項目
あり	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している
あり	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる

評価項目 評価内容	カテゴリー2の評価
	<p><b>さまざまな機会を通じて園を取り巻く情報を把握し、園経営に反映しています</b></p> <p>園の運営に関する情報は運動会、親子遠足、おやのまつりなど大きな行事について保護者アンケートを行い、要望などを確認し検討した結果を改善案としてまとめ、全家庭に資料をフィードバックしています。また、第三者評価利用者調査結果についても、資料を全家庭に配布しています。職員からは年に一度、10月から11月にかけて園長との個別面談を実施し、自己評価票を基に意見などを把握し、課題としてまとめ、資料として「地域の課題明確化」を作成しています。地域の情報については市私立保育園協議会などの会議に出席し把握しています。</p> <p><b>単年度事業計画は、前年度の実施結果や考察が反映され、実践的な内容となっています</b></p> <p>職員は担当する係や行事について、実施結果や考察などを含む報告書を作成しています。その内容は、最終的に2月の方針会議で発表され、事業計画などに反映していきます。予算計画も前年度の反省を踏まえ、担当者が運営委員会などに提案して予算が編成されます。その後、法人理事会へ報告し承認されます。単年度事業計画は、係や行事の結果を積み上げた実践的な計画となっています。現状、長期計画は単年度計画の中に記載され運動していますが、長期計画の年度ごとの目標をわかりやすく具体的に示し、到達レベルを共有できるとさらに良いでしょう。</p> <p><b>職員一人ひとりの責任ある活動により、確実に計画が実行されています</b></p> <p>計画推進については、親子遠足や運動会などの行事の係、花壇や園舎などの環境整備の係、地域活動、会議運営などについて職員全員が担当を持ち、目標達成を目指して努力しています。担当ごとに報告書を作成し記録を残し、ミーティング、リーダー会議、月例会議などで状況を共有しています。運営委員会で検討され、職員会議で発表しや取り進む方向が確認されていきます。このような一連の取り組みにより、職員全員が園運営について理解を深め前向きに取り組むことと、課題や反省を認識し、生かしていくことによって確実な計画実行に結び付いています。</p>
	カテゴリー2の評価補足

3		カテゴリ3	
3		地域における社会貢献	
		サブカテゴリ1(3-1)	
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
あり	●1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		
あり	●2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している		
		サブカテゴリ2(3-2)	
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4	
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
あり	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を迅速なく利用できることを、利用者に伝えている		
あり	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
あり	1. 利用者の気持ちを傷つけないような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日報の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		
あり	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の権利を再と上きや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		
		サブカテゴリ3(3-3)	
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5	
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
あり	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		
あり	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの見学・実習の受け入れ体制を整備している		
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
あり	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		
あり	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、協議委員会など)に参加している		
あり	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		

子どもの権利	カテゴリー3の課題
	<p><b>守るべき法、規範、倫理については、園長が全職員に説明しています</b></p> <p>福祉サービスに就事する職員として、守るべき法、規範、倫理について入職時に園長が就業規則や保育業務マニュアルに基づいて、個別に説明しています。非常勤職員も同様に園長が個別に説明しています。その後、方針を細化する年3回の職員会議でも全職員に伝えていきます。月例会議では必要に応じてリーダーに伝え、乳幼児会議やクラス会議などで各職員に伝達していきます。ミーティングノートと無料通話アプリのメッセージ機能を使用し、職員全員に一斉に配信し、必要事項を伝えることもあり、全職員が共通理解を持つ状態が維持されています。</p>
	<p><b>子どもの人権を尊重し、利用者の権利擁護に取り組んでいます</b></p> <p>児童憲章や国連の児童権利宣言を原則に、利用者の権利擁護に取り組んでいます。入園のしおりの中で、ご意見ご要望に対応する相談窓口や第三者委員を設置し、利用者を守る制度があることを告知しています。実際には意見箱と園からの回答方法を選択できる苦情申出書を用意しています。ご意見などに対しては運営委員会で検討し、決定された回答方法で速やかに対応しています。職員による子どもの気持ちを保つ不適切な言動を懲らした場合は、リーダーからアドバイスをし、運営や日報に記載しています。また、行政からの情報には連携し対応しています。</p>
<p><b>園の情報を公開し、保育の専門性を発揮した地域貢献に取り組んでいます</b></p> <p>園の透明性を高めるため、入園のしおりやホームページで情報公開し、第三者評価利用者調査結果を保護者に開示しています。地域との関係を深めるために、例年ボランティアや実習生などを受け入れています。今年度はコロナ禍のため、ボランティアは断りましたが、実習生は4名受け入れ、職場体験は9月に3名を予定しています。保育の専門性を発揮し、高齢者施設との交流、親子子育て広場はないものの、主任による中学校での地域交流なども行っています。市内全園が協力して保育実を実施し、園長は赤園長会代表として協働課題に取り組んでいます。</p>	
カテゴリー3の課題	カテゴリー3の課題

4		カテゴリ4	
リスクマネジメント		サブカテゴリ1(4-1)	
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ1-1の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)	
評価	標準項目		
あり	1. 事業所が自覚していることの実績を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている		
あり	2. 優先順位の高低に応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		
あり	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画の対応を策定している		
あり	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる		
あり	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、原因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる		
		サブカテゴリ2(4-2)	
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ1-2の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)	
評価	標準項目		
あり	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている		
あり	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している		
あり	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている		
あり	4. 事業所で使っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している		
カテゴリ4の講評			
<p><b>行政機関と連携し、想定されるリスクに対して災害時訓練を実施しています</b></p> <p>地震、火災、不審者侵入などの想定されるリスクに対して、災害時訓練を毎月実施しています。園独自の非常時災害対策組織、自主点検組織、警備保護会社導入、園周辺へ防犯カメラ設置など万全を期しています。消防署からは、年2回消防訓練や救急救命法の指導を受けています。全職員は上級救命講習を受け、認定書が交付されることを目指しています。警察署とは交通安全と不審者対応訓練を実施し、保健所からは感染症について指導を受け、定められた消毒や保護者への周知をしています。赤十字課、防災課との連携を常にとり平時の事務に備えています。</p> <p><b>事業継続計画には園の発電機能を生かし、地域貢献することを計画しています</b></p> <p>事業継続計画については令和5年に策定され、保育時間中に災害が発生した場合の初期段階の状況に応じた行動基準と、保育時間外に災害が発生した場合に分け、行動が定められています。年度ごとに職員参加条件は定められ、園の総人数の割増職員が分散して保管し、復旧のための入園が可能な状態になっています。平常時から避難用物資をリスト化し、3か所に分散保管しています。園は自家発電ができるため、シェルターとしての機能を想定し、今年度は炊き出し訓練を計画しています。保護者にも災害時対応のプリントや懇談会などで周知しています。</p> <p><b>危機管理マニュアルを遵守し、個人情報などの情報管理に取り組んでいます</b></p> <p>園の情報管理については、重要な情報や個人情報が多くあり、職員の入機時に守秘義務等誓約書を読み、運用は危機管理マニュアルを遵守しています。重要書類は鍵のかかるキャビネットに保管され、使用要請に備えて、整理、管理しています。鍵は園長と事務長が保管しています。パソコンは経営部の7名が管理権を持ち、使用者限定とパスワードにより守られています。職員用は各クラスに共有パソコンが配備され、パスワードによって使用者を限定し、漏えい防止の対策に取り組んでいます。保護者とは個人情報取扱い同意書ならびに誓約書を読み合っています。</p>			
		カテゴリ4の講評補足	
個人情報保護方針			

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12

評価項目1  
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点(100)

評価	標準項目
あり	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している
あり	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や採用の人材構成を把握した異動や配置に取り組んでいる

評価項目2  
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点(100)

評価	標準項目
あり	●1. 事業所が求める職員または組織内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている
あり	●2. 事業所が求める職員または組織内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している

評価項目3  
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(1000)

評価	標準項目
あり	●1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している
あり	●2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している
あり	●3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している
あり	●4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう継続的に支援を行っている

評価項目4  
職員の定着に向け、職員の意識向上に取り組んでいる

評点(1000)

評価	標準項目
あり	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と給与(賞与、昇進・昇格等)・研修などを連動させている
あり	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる
あり	●3. 職員の意向を把握し、意識と働きがいの向上に取り組んでいる
あり	●4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている

サブカテゴリー2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3

評価項目1  
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点(100)

評価	標準項目
あり	●1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している
あり	●2. 職員一人ひとりの自覚の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている
あり	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる

社会 コ メ ン ト	<p>カテゴリ別の講評</p>
	<p><b>園は求める人材をさまざまな方法で募集し、異動や配置は総合的に判断されます</b></p> <p>園が求める人材の募集は、法人としてインターネット求人サイトへの掲載や、ハローワークなどで行ないますが、保育士養成校から実習生を受け入れ、実習によって本園保育に興味関心を持つ学生が就職することを期待しています。採用試験は主に面接を実施し、判定しています。結果としてミスマッチがなく、人材確保に結び付いています。異動や配置については、本人の意向確認を基に、能力などを勘案して行ないます。法人内には園がありますので、経験年数のバランスや将来の人材構成、各園の課題を見据えて、職員の後方開発につながるよう配慮しています。</p> <p><b>職員がキャリアパスを描くことが可能になる、個人別研修計画を策定しています</b></p> <p>知識、技術、人間性を高め、保育人材としての資質を向上させるため、職員自身が学びたいと思っている内容と園が学習して欲しい内容を整理し、経験や課題解決に見合う内容の研修を関連保育団体、大学、民間機関などから選択し、個人別研修計画を作成しています。参加した研修の報告書は、職員間でその情報を共有しています。これらのことにより職員がキャリアパスを描くことが可能になっています。今年度はコロナ禍のため、リモート研修を中心に受講しています。園は研修参加を応援し、職員の成長を積極的に支援しています。</p>
	<p><b>コミュニケーションが十分に取れ、信頼しあえる関係が保育力のある園を作っています</b></p> <p>園長は総務力を向上させていくためには、コミュニケーションが十分に取れる状態が必要だと考えています。どくばらんに話し合える雰囲気があり、経験ある職員が新人に愛情を持って接し、日ごろの保育の話し合いで相互理解ができ、信頼しあえる関係が組織風土を作っています。会議運営にも工夫して、「なぜ総務が必要か」「保護者対応について」などのテーマをディスカッションする場合には、グループを年齢別に分け、話しやすい環境を作っています。就業状況については、残業はなく、有給休暇消化を推進し、シフト調整も要望に対応しています。</p>
社会 コ メ ン ト	<p>カテゴリ別の講評補足</p>

7		カテゴリー1
7		事業所の重要課題に対する継続的な活動
		サブカテゴリー1(7-1)
		事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている
評価項目1		事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)
		前年度の重要課題に対する継続的な活動(評価機関によるまとめ)
		前年度の重要課題として、「コロナ禍におけるわらべうたと和太鼓の指導法の研究」としました。課題とした背景には、園の保育理念として「日本民族の文化」を伝えることを、大切にしながら取り組んでいるからです。わらべうたの指導については、コロナウイルス感染症のため、職員は常時マスク着用を厳守し、子どもたちとの距離をとりながら歌いかけを行いました。和太鼓の指導については、指導者がマスクをしているため表情の読み取りができないので、言葉での具体的な説明と、指導者の体全体の動きから、たたき方を感にとるようにしました。取り組みの結果、マスクをフェイスシールドなどに変更し、顔の表情が見えるようにして、指導を行いました。顔に密着していない部分があるため、効果が落ちてしまう可能性があり、不織布マスクのみの使用としました。そのために子どもたちに指導者の顔の表情を見ることができませんでした。また、緊急事態宣言発出中には、職員が歌うことを取りやめました。その結果、園リーダー職員が指導を担当しましたが、課題の解決となりませんでした。今年度においても工夫を積み重ね、引き続き取り組んでいます。
目標の設定と取り組み		具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
取り組みの検証		目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
検証結果の反映		次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
評価項目1で確認した継続的な活動や評価の適切に関する評価		
		課題解決のため、指導者の口の動きや、顔の表情を見せることができる、さまざまなお口のマスクやフェイスシールドを試してみました。しかし、顔と完全に密着することは難しく、効果が低減してしまうことや、指導者の呼吸がスムーズに行えなくなり、歌声もききづらくなりました。行政からも不織布のマスクの使用が推奨となり、顔の表情が見せられないことや、顔中への危険がある厳しい状況となりました。わらべうたについては手をつながり動きを合わせながら取り組むことも行いました。このような状況から、取り組みについて幼児クラス部会で話し合いを行いさまざまな対策を検討しました。その結果、運営委員会を経て園長がわらべうたは大切であるが、園児は子どもの命にかかわるので、コロナウイルス感染症対策を最優先していくとの決断をしました。現在も不織布マスク着用のままの指導が続いているため、子どもへの指導効果は低下しますが、個別にわらべうたを歌いかけなどの工夫は続いています。今後も日本の伝統文化を伝えるためにさまざまな工夫をして、継続して取り組んでいくことを期待します。
		カテゴリー1評価項目1の評価補足



評価項目	<p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p>		
	<p>前年度の重要課題に対する継続的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>前年度のこの目的の重要課題は、「職員全員への的確な情報伝達」としました。昨年から続くコロナ禍により、集まって会議ができなくなり、約30名の職員に漏れなく情報を伝達していくことや、会議を通じて共通認識を持つこと、ひとつの物事について資質や、経緯、さまざまな見方がある事などを理解する院内研修を開催できなくなり、どのように取り組むか課題となっていました。課題達成に向けて、従来は共通認識をするために、各クラスの代表者が会議やミーティングの情報を各職員に伝えていましたが、会議ができなため、連絡漏れをなくするため、職員全員が主にスマートフォンを使って、無料通話アプリのメッセージ機能で一斉配信をしました。取り組みの結果、全体に一斉に伝達するため、知らなかった、聞いていないという言い訳はできず、職員一人ひとりが自覚を持って情報を把握するようになりました。個人情報を含む情報は事務所のミーティングノートに記載し、そのノートを見るように無料通話アプリのメッセージ機能で連絡をすることで、ノートにも目を通す習慣が身に付き、大変良い結果となりました。今年度も継続して取り組み、さらにアプリを使用したオンライン会議の実施を検討しています。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="159 622 319 698">目標の設定と取り組み</td> <td data-bbox="319 622 1461 698">具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</td> </tr> </table>	目標の設定と取り組み	具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
	目標の設定と取り組み	具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="159 698 319 775">取り組みの検証</td> <td data-bbox="319 698 1461 775">目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</td> </tr> </table>	取り組みの検証	目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
取り組みの検証	目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="159 775 319 851">検証結果の反映</td> <td data-bbox="319 775 1461 851">次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</td> </tr> </table>	検証結果の反映	次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた	
検証結果の反映	次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた		
評価項目2で検証した継続的な活動や評価の選択に関する講評	<p>「職員全員への的確な情報伝達」という課題については、苦肉の策で無料通話アプリを使用しました。全職員への伝達ミスがなくなり、また、迅速に情報が流れていることにより、スムーズに復旧が図られるようになりました。同時に、個人情報漏えい防止の観点から無料通話アプリに個人情報を記載することを禁止し、個人情報はミーティングノートに記載し伝えることとしたため、必ずノートを確認するようになりました。取り組みの結果、全体への伝達は想定していた以上の成果となりました。全職員が情報を共有し、スピーディーに課題に取り組む、情報力アップにもつながっています。しかし、各職員の思いを共有することや、共通することが薄れてきました。そのため、Web会議ツールを使用したりリモート会議の検討に入り、現在は運営委員会をリモートで実施しています。今後は月例会議などもアプリを使用したオンライン会議で、相手の表情などを確認し、共感が生まれる話し合いを行いたいと考えています。手洗い、マスク、換気などのコロナウイルス対策を実施しながら、従来のやり方にとらわれず見直し、画の機能を兼ねない、あるいは効率化や働き方改革につながるように取り組んでいます。</p>		
	<p>カテゴリー別評価項目の講評補足</p>		

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3, 6-5~6)

No.		共通評価項目	
		サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供		サブカテゴリ-1の標準項目実施状況 4/4
	評価項目: 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評価(10000)
	評価	標準項目	
	あり	1. 利用希望者等が入庁できる媒体で、事業所の情報を提供している	
	あり	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	
	あり	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	
あり	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の実態があった場合には、個別の状況に応じて対応している		
サブカテゴリ-1の評価			
2	ホームページには、発達の特徴に基づいた保育を行っていることを紹介しています		
	ホームページには、「ひとりひとりを大切に、そして地域や伝統を守りつないでいく保育園です」と旨語で述べています。園の概要を掲載し、「人間らしく健やかに育てたい、生きることすばらしいと思う大人になってほしい」という園の方針を、昭和49年設立以来、ずっと準拠書に書いている言葉で説明しています。そして、各年齢の発達の特徴を詳しく説明し、環境に基づいた保育であることを示しており、そのうえで成長の節目とする豊富な年間行事や伝承遊びや大鼓遊び、地域とのつながりを写真を交え、紹介しています。		
	パンフレットでわかりやすく園情報を伝え、SNSでは保育の写真を掲載しています		
3	A3サイズ2つ折り2枚分の園のパンフレットを作成し、温かい感触で環境にやさしい園舎内を大きな写真で紹介し、楽しい生活を述べています。外国籍の入園者のためには、英語版も用意し誰もがわかりやすいように配慮しています。そして、近隣の児童館や市役所、区別に地域子育て事業の案内のチラシを置いたり、市内の保育園の紹介イベントである保育展で、園をいづれなどで紹介したりしています。また、ほぼ毎日更新しているSNSで給食の献立を中心に保育の様子を伝え、保護者も含め多くの人に見てもらえるよう工夫しています。		
	入園希望の保護者には、感染症対策を詳しくパンフレットに沿って個別に案内をしています		
入園希望の保護者には、感染症対策を詳しく個別に案内をしています。園長か主任がホールや玄関で、パンフレットに沿って保育の特徴を説明したり、A4ワイドなどの映像でわかりやすく紹介しています。そして、日本の文化を大切に考え、わらべうた、和太鼓を音楽教育の基本としていることや、健康や安全に配慮した園舎の語りであることを重点的に話しています。園舎の案内は、園児のいない時間帯を捉え、少し離れたところで子どもの生き生きとした様子も感じられるよう配慮もあります。			
サブカテゴリ-1の評価補足			

評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評価(〇〇〇)
評価	標準項目	
あり	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	
あり	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	
あり	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、反映している	
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評価(〇〇〇)
評価	標準項目	
あり	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事項や要望を決められた書式に記録し、把握している	
あり	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	
あり	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	

## サブカテゴリ-2の講評

講評	園のしおりは詳しく園の全容を伝える冊子となっており、入園前に説明をしています 入園の予定者には、園のしおりと入園時説明資料を郵送しています。園のしおりは、沿革や保育内容、行事、担当科保育、異年齢保育をはじめ、行事の考え方や、わらべうた、食育、健康などについて、項目立てて詳しく説明しており、保育の概略を伝え、園の全容を伝えています。事前に読み、書棚への記入もお願ひし、入園時面談の際には、重要事項を説明しています。園のしおりは、卒園するまで保管し、必要に応じて見て欲しいことも併せて話しています。持ち物や緩やかなルールは、別紙資料を作成し、保護者がわかりやすいようにしています。
	重要事項の説明を受け、同意したことを確認し、慣れ保育で徐々に時間を延ばします 重要事項や保育内容の説明の際は、保護者の質問も取り入れながら進め、説明を受け、同意したことを「重要事項、保育理念についての同意書」の書面で確認をしています。また、入園当初は、子どもの負担を軽減し園生活に無理なく慣れていけるよう「慣れ保育」を行い、短い時間から徐々に保育時間を延ばしています。0歳児で可能な保護者には親子参観を勧めましたが、コロナ禍では実施できません。そこで、初めて園で食事をする時だけは、保護者に食べさせもらうようにし、親子の不安軽減と、園が親子の様子を理解することに役立っています。
	転園や卒園に際し送り返して送り出し、園の子どもとしていつまでも見守っています 転園や卒園に際しては、新しい生活を楽しみにできるように送り返しています。0歳児には、就学の不安を軽減となるよう個人面談では、小学校の情報を伝え、子どもには友達ルールを知らせながら登校への期待を持たせています。また、卒園後も小学校行事に職員が参加し、つながりを大切にしています。小学校に入学すると、1年生は異年齢ランドセル姿を園生にきています。中学校の卒業式後に園を見せに来た卒業生たちとはしばしば話らへ、記念撮影をするなど、園全体で温かく迎えています。園の子どもとして、地域の子どものようにいつまでも見守っています。

## サブカテゴリ-2の講評補記

3 個別状況の把握と計画策定		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評価(○○○)	
評価	標準項目		
あり	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		
あり	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		
あり	3. アセスメントの定期的見直しの際と手順を定めている		
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評価(○○○○○)	
評価	標準項目		
あり	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、看護(生命の保持・健康の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		
あり	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に応じて、作成、見直しをしている		
あり	3. 個別的教育が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的教育の作成、見直しをしている		
あり	4. 指導計画を保護者におかきやすくと説明している		
あり	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたとうえで、必要に応じて見直しをしている		
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評価(○○)	
評価	標準項目		
あり	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記録するしくみがある		
あり	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している		評価(○○)	
評価	標準項目		
あり	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担う職員すべてが共有し、活用している		
あり	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有している		
サブカテゴリ3の評価			
<p><b>年間指導計画は、4月からの子どもの姿を予想し、年度後半に見直しを始めます</b></p> <p>理念、方針、目標を踏まえた「年度ごとの保育の内容に関する全体的な計画」を基に、年間指導計画を立案しています。新年度の4月からの子どもの姿を予想し、年度後半には年間指導計画の見直しを始めます。3月の新年度準備にあたっては、年間指導計画は完成している状態で保育を進め定めていくようにしています。年間指導計画の内容は、看護と、領域を考慮した教育の項目で立案し、3-5歳児は年齢別と異年齢の計画を立て、それぞれの評価反省を次の期に生かしています。計画立案、評価は年齢ごとの特性で様式を異なるものとしています。</p> <p><b>各年齢や異年齢クラスに対応した月案、週案、個別計画を作成しています</b></p> <p>月案は、0-2歳児では生活や遊び、健康などの状況を詳しく振り返り立案しており、個別計画も作成しています。3-5歳児は、異年齢クラスごとに年齢を踏まえた計画を立てています。基本的な生活習慣や身体活動、音楽、美術、社会性などの項目で異年齢クラスの様子に基づき、保育目標、配慮点を記載しています。週案は、具体的な活動内容で計画し、0-2歳児は年齢ごとに立て、個別に対応の様子を記載しています。3-5歳児には、異年齢クラスで立案作成と日記の記録を行い、3歳児は単独でも週案と日記を作成するなど、各年齢に対応しています。</p> <p><b>子どもや家庭の状況、保育のすり合わせなどを職員用連絡ノートで確認をしています</b></p> <p>子どもや家庭の状況、保育のすり合わせなどを、職員間で情報共有しています。多くの職員が顔を合わせて行う会議は、コロナ禍では控えようとしています。その代わりとして、職員用連絡ノートを活用しそれぞれが情報を記載し、必ず閲覧することとしています。また無料通話アプリのメッセージ機能を活用し、日々の成長に情報提供しており、個人情報が含まれる場合は、個人名や内容を流さず、「職員用連絡ノートに記載してある」とだけ伝えています。夕方は、一日の子どもの様子を各クラスの申し送りノートで引き継いでいます。</p>			
サブカテゴリ3の評価結果			



事業所業務の標準化		サブカテゴリ-4の標準項目実施状況	5/5
評価項目: 手引書を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評価(100)	
評価	標準項目		
あり	1. 手引書(基本書、平級書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		
あり	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等にあっているかどうか定期的に点検・見直しをしている		
あり	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、定期的に手引書等を活用している		
評価項目: サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評価(100)	
評価	標準項目		
あり	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改定の際や見直しの基準が定められている		
あり	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		
サブカテゴリ-6の誤評			
<p><b>各種マニュアルを整え、各クラスのタブレットにでも閲覧できるよう取り組んでいます</b></p> <p>各種マニュアルを整え、調べたい時にはすぐに事項を見つけられる環境を整備しています。法人運営マニュアルでは、基本理念や利用者の権利と個人情報保護などをはじめとし、給食・保健を含む保育業務や、感染症・保健衛生管理などの危機管理、防災対策マニュアルがあります。そして、園内保育、園外保育などの行事ごとのマニュアルと資料も揃え、簡易紙にほっそりタイトルをつけファイリングしています。また、それら各種マニュアルや資料は、各クラスのタブレットにでも閲覧できるようにし、職員は、常に確認をすることになっています。</p>			
<p><b>点検表の活用や話し合いをして、業務内容について見直しをしています</b></p> <p>マニュアルに定められた事項が保たれているかは、点検表の活用や話し合いをして見直しをしています。衛生管理については清掃チェック表を用い、例えば、のこぎは、おむつパケツやエアコン掃除など、各クラスごとの項目で毎週点検をしています。そして、行事では、会終了時に反省点を話し合い申し送り内容を記載し、次年度に生かすようにしています。そして、昨年度は、感染症対策で様々な行事が例年よりも行えませんでした。行事の移行変わりも記録し、さらに、行事一つ一つに対し職員全体で意見を話し合い、考えるきっかけにしました。</p>			
<p><b>職員は、業務確認、情報収集をしたうえで、質の向上を図っています</b></p> <p>「園のしおり」には、保育理念実現のための方法が示してあります。これを基本とするため、職員間で毎年見直しながら現状と意見がないかを確認しています。各職員は、タブレットを活用しマニュアルで確認したり、リーダーに相談したりするようになっています。保護事項は、職員用連絡ノートに記載したり、無料通話アプリのメッセージ機能で共有したりしています。また、園長は「わからない、知らなかったは、遠慮しない」と宗旨ごちから話しており、職員は、子どもの命を預かる自覚を持ち、業務確認、情報収集をしたうえで、保育の工夫を図っています。</p>			
サブカテゴリ-6の誤評補足			
<p>マニュアル委員会が、マニュアル作成に携わり整備をされていたとのこと。ただ、行事や「園のしおり」を聞いて、マニュアルの見直しが必要でないようです。現状に合い、最新の手帳がわかるよう毎年タイミングを定め、修正し、その更新年月日、更新者などの情報も記録するようにしてほしいかがでしょうか。</p>			

1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評価(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
あり	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの身体的な需要を把握し工夫で保育を行っている	
あり	2. 子どもが主体的に発達の入-もの-こおに興味や関心をもち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	
あり	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	
あり	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう配慮している	
あり	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちも尊重した対応をしている	
あり	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、連携している	
評価項目1の講評		
<p><b>子どもが遊びを見つけじっくり遊び込めるよう、年齢に応じた環境を作っています</b></p> <p>子どもが遊びを見つけ、じっくり遊び込める環境を作っています。低い壁に高さのある木製のおもちゃを中心に配置し、コーナー作りをして集まることができるよう配慮しています。発達や興味、関心に合わせ適度な種類と数のおもちゃを備え、遊びやすく片付けやすくしています。5歳児は、歩行の完成に向けた空間を作り、1歳児は、2つの部屋に分け隔ちを置いて遊べるようにしており、ままごと、積み木などのコーナーを、それぞれ同じように設定しています。また、廊下では、かごで飼っている小鳥を見たり、園庭では、ドイトープを織りながら興味を広げています。</p>		
<p><b>異年齢保育を行うことで、子どもはお互いの違いを認め合い、成長していきます</b></p> <p>2歳児は、フエルトを巻いた棒やひもなどを食べ物に見立てイメージしたり、虫や動物のカードで認識力を養っています。同じフロアの3〜5歳児の気配を感じ、大きい子どもにも興味を示しています。3〜5歳児では、異年齢で群れを意味する「むら」である「どんぐりむら」と「まつぼっくりむら」があり、3〜5歳児6人できょうたいグループを構成しています。お互いの違いを認め合い、助け、認め合いをしており、時に、職員の話にはのらない子ども、大きい子どもの声掛けにはずんなり行動を共にしていくなど、お互いの成長が見られます。</p>		
<p><b>就学への円滑な接続に向けた取り組みを行っています</b></p> <p>主体的な計画では、園での生活が小学校での基礎となることを確実な「幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活習慣を身につける」とあり、小学校の学習の先取りや練習をなく、今の幼児期の生活を大切にしています。そして、5歳児は、協同的遊びとして大庭や美術などでさらに想像を高める活動も単独で行っています。また、市の教育委員会発行の「保護者のための小学校生活紹介」を配付し、育てたい方や身につけておきたい生活習慣などを考えることができるようにしています。感染症対策で、学校との交流は中止しています。</p>		
評価項目1の講評補足		
<p>コロナ禍以前は、幼児小児童会議に参加し、情報交換をしたり、5歳児の学校見学をしていましたが、今後は、職員間でオンラインや写真などを活用して、取り組みの継続に期待をします。</p>		

2	評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	評価	標準項目	評価(〇〇〇〇)
		あり	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	
		あり	2. 発達の状態に応じ、食事・排泄などの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	
		あり	3. 休息(昼食を含む)の長さや時間等は子どもの状況に配慮している	
		あり	4. 帰園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	
	評価項目2の選択			
3	<p><b>登園時には、健康観察を行い、口頭で家庭での子どもの様子を保護者に確認しています</b></p> <p>登園時には担当職員が1対1で対応し、健康観察を行い、口頭で家庭での子どもの様子を保護者に確認しています。0歳児は、連絡帳で24時間の生活リズムが把握できるよう時系列で睡眠や起床・排便、食事・その他を記入するほか、家庭と園とで様子を記入して日々、情報を交換しています。1、2歳児も年齢に応じた連絡帳を持っています。感染症対策で、園内で保護者から受け入れをされており、連絡事項を聞くとともに、連絡帳の内容を確認して、健康観察で気になることがあった場合には、登降園表に記入して職員間で情報を共有しています。</p>			
	<p><b>個々の発達の状態に応じ、保護者と連携し基本的な生活習慣が身につくよう援助しています</b></p> <p>0～2歳児では保育士が積極的に、生活面の介助については担当職員が進めています。担当職員を中心にクラスでは、子どもの生活リズムを把握し、個々に対応して無理のない生活を導き、信頼関係と心地よさを感じさせていきます。そして、排便の流れや着替え、食具の持ち方の介助は、担当職員による同じ手順であるため、基本的な生活習慣が身につくようになります。また、トイレトレーニングについては、園での様子を個々に保護者に伝え、家庭と園とで協力して進め、子どもの興味や発達の発達を見て、進めよう伝えています。</p>			
	<p><b>帰園時には、子どもの様子を直接伝え、親子が温かな気持ちで帰れるようにしています</b></p> <p>帰園時には、その日の子どもの様子を保護者に直接伝えるよう努めています。感染症対策で、玄関での引き渡しを行っており、個別に職員が対応してその日の様子や体調の変化などを伝えています。そして、その日の活動内容は「今日の様子」に写真を交えて提示しています。園での子どもの様子をわかりやすく伝え、子どもの育ちを共有することで、家庭と園との連絡性を図っています。また、子どもの誕生日当日は、その子どもの写真を飾り、園全体でお祝いのお気持ちを伝え、親子で温かな気持ちで帰れるような雰囲気作りがあります。</p>			
	評価項目2の選択補定			



3	評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している	経過(〇〇〇〇〇〇)	
	評価	標準項目	
	あり	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	
	あり	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	
	あり	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	
	あり	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようになっている	
	あり	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	
	あり	6. 生活や遊びを通して、子どもがまよりの大空気に気分き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	
評価項目3の講評			
4	興味、関心にあつた遊びの提供で、子どもは展開させ継続して遊び込んでいます 一人ひとりの興味、関心にあつた遊びの提供と展開に取り組んでいます。職員は、子どもからの要求に応じられるよう準備をし、例えば、オブンブロックにもなみ、新聞の切り抜きを掲示したり、ピクトグラムのカード集を作ると「やきゅうがらいいいすいれいも！」と夢を膨らませ、万国旗作りも盛り上げています。そして、星形集のライトを点灯できる空間では、上からブロックの飛行機やロケットをつくり、飛行させ、宇宙空間を子どもなりに作り上げています。ファーストフード店や、かき氷屋の看板作りや、お店集ごっこでは継続し遊べる工夫があります。		
	絵本の読み聞かせにより、想像を膨らませ、再現遊びがゆったり流れていきます 絵本の読み聞かせから、絵本の世界で想像を膨らませ、幼児期の今しか体験できない遊びの工夫があります。絵本からは、種別別、気持ちまじりや心豊かになり、言葉の習得や、探究心も養われます。そして、「むら」では絵本が共通の話題になり、再現遊びに発展させています。絵本を基に、看板も作り「おきかなダンスショー」が賑わいます。ドラゴン園を自分たもて作った、スーパースタンのお話からは、積みあて、家やスーパのかまども作るなど、3歳児を中心に、4歳児「やってみよう」と挑戦し、1週間以上絵本の世界が流れていきます。		
	四季を感じ、自然物との触れ合いで子どもの感性を養っています 四季を感じ自然物との触れ合いで感性を養っています。かぶとむしを羽化させたり、散歩では、近隣の林道を歩き、ダンゴリや落ち葉を触り、それぞれの感性で製作につなげています。砂場では、水や砂の不思議を感じ、ピオテープでは、発見したり、楽しみを持って見入ったりしており、例えば、大小2匹のめだかを育て「おとーちゃん」と呼ぶ1コマがありました。その時子どもは、2匹のめだかを親子だとイメージし、おとーちゃんめだかが先に行くと、叫んで呼び止めてあげたのでした。何気ない言葉にも、自然を通じた視点での職員の間かな繋がりがあつた。		
評価項目3の講評補足			

4 評価項目4 言葉の保育に変化と面白さを加えよう、行事等を実施している		評価(100)
評価	標準項目	
あり	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	
あり	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	
あり	3. 子どもが主体的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	
評価項目4の講評		
評価項目4 の講評 内容	<p><b>行事までのプロセスを大切に、子どもたちの日常や創意工夫、憧れを詰め込んでいます</b></p> <p>行事は、見せるためのものではなく、子どもたちが知識をまじけ、協力し合い、活動の面白くなるように工夫は考えています。行事までのプロセスを大切に、例えば運動会では、「むら」判決競技を設け、さまざまな難関を乗り越え、それぞれ優勝していきます。バレーンでは、心一つに上、Tシャツに絞り染めをし、うちわも作っています。そして、日本の伝統文化の継承として、0歳児みんなで太鼓をたたきます。「らいおんぐみになったら、じぶんたちも」と小さい子どもたちは憧れを持ち、大きくなるのを楽しみにできる行事となっています。</p>	
	<p><b>行事は子ども自身が成長を感じ、喜び合えるよう配慮をしています</b></p> <p>行事を通し子どもがのびのび活動し、自信につなげられるよう配慮し取り組んでいます。運動会では、自分たちの運動種目やリレーで力を発揮したり、4歳児は、プラカードで次の競技を知らせ、3歳児は、用具の出し入れやおみやげをあげるなど役割も果たします。また、特に3歳児の誕生日では、生まれた時の写真と現在の写真を対比させたり、名前の変更や保護者からのメッセージも書いてもらい、飾ります。一人ひとりの誕生日を「むら」で祝い、3歳児からの手作りプレゼントをもらいます。子ども自身が成長を感じ、喜び合える行事の数々があります。</p>	
	<p><b>保護者と行事を楽しみにし、子どもが主体的に取り組めるよう援助をしています</b></p> <p>保護者と行事を楽しみにし、子どもが主体的に取り組めるよう援助しています。行事に向けた子どもたちの様子や、写真を交えて「今日の活動」のボードで示してあり、同席時には、親子で行事への期待を持てるようにしています。感染症対策で保護者参加がかなわなかった際には、DVDに収録し、家庭で楽しんでもらいました。また、コロナ期では別イベントにしましたが、例年の宿泊保育では、宿泊を不安に思う子どもの気持ちにかかわりながら、宿泊時、保護者からの励ましの手紙を送ります。親子で大きな山を乗り越える瞬間も大切にしています。</p>	
評価項目4の講評補足		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるよう配慮をしている		評価(100)
評価	標準項目	
あり	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	
あり	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	
評価項目5の講評		
評価項目5 の講評 内容	<p><b>流れる保育の中、長い保育時間となっても、負担なく過ごせるよう配慮があります</b></p> <p>時間にあまりとらわれない、流れる保育の中、子どもは、自分のリズムで安心して過ごしています。活動の壁であるため特設は設置せず、職員は時計で時間を確認し、子どものリズムに寄り添いゆったりと保育を進めています。3歳児の部屋だけは時計がある環境としました。0～2歳児は、即座離席と過ごし負担なく、安心した生活が流れます。3～5歳児は、休憩時間の申しかたでできる遊びを大切に活動しており、各部屋には休息の場も設けています。散歩や静かな遊びで静と動のバランスを取り、長い保育時間となっても、負担なく過ごせるようにしています。</p>	
	<p><b>合同保育の際は、発達を考慮した空間と遊びを用意し、楽しく過ごせるようにしています</b></p> <p>合同保育の際も、発達を考慮した遊びを用意し、楽しく過ごせるようにしています。朝夕の合同保育はホールで過ごすため、部屋を仕切り、特に0、1歳児に配慮し安全を確保しています。そして、専用のおもちゃを充実させ、自宅では遊ばないようなおもちゃも備え、特別感をもって楽しんだり、大勢ではできないおもちゃも楽しんでいます。また、人数が少なくなる延長保育では、0歳児から5歳児までいっしょに過ごし、職員の上で絵本を読んだり、小さい子どもは、職員といっしょに大きい子どもの遊びを見て楽しむよう配慮しています。</p>	
評価項目5の講評補足		

6	評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している	評価	標準項目	評点(0000)
	あり	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りを醸成している		
	あり	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		
	あり	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		
	あり	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食育の書籍や子どもの調理活動等)を行っている		
評価項目6の評評				
<p><b>落ち着いた雰囲気でおいしく食べることで、健康や心も育てています</b></p> <p>身体を作る基本となる食事を、落ち着いた雰囲気でおいしく食べることで、健康や心を育てるとし、大切にしています。子どもたちには、たくさん遊びあそびのすくリズムを作ります。担当職員は、子どもの生活リズムを考慮し食事に誘い、0歳児は、座位が安定するまでは、だっこで食べさせます。0歳児クラスは、生活リズムにより段階で食事をしています。すいすい物語の冊子を使用したり、職員は、子どもの食べられる量を把握し盛り付け、自分で食べる意識を大切にします。また、レストランごっこ、弁当給食などで楽しみ、おいしくも給食です。</p> <p><b>旬の食材を使い、行事食も大切にし、おいしく安全な給食の提供をしています</b></p> <p>旬の食材で季節感を出すよう工夫し、出汁などを生かした産地料理を取り入れ、幅広く豊かな献立を心がけています。給食提供時には、ご飯と汁物など温かいものは温かしの配慮で、保温カバーを使用しています。そして、子どもの日には、こいのぼりのハンバーグ、クリスマスには子どもがケーキにトッピングできるように工夫をするなど、食からも行事を盛り上げ印象深いものとしています。また、食物アレルギーを持つ子どもには、除去食・代替食の提供で、ダブルチェックシートの使用で、大きい子どもには、自分でも意識できるように声をかけています。</p> <p><b>食育活動で、命をいただいていることの理解につなげ、食への関心を育てています</b></p> <p>食育活動にも力を入れており、園児以来何歳か、食への取り組みに対し東京都や厚生労働省より賞を受けています。福島の野菜栽培をし、収穫後は子どもと調理職員とで、「旬の味付けがおいしいかな」と相談もします。野菜に触れ、匂いを感じ、目の前で魚おろしでも、命をいただいていることの理解につなげています。また、0歳児が、高熱期でアレルギーを控えて、大きなはっぱを傘のようにしぼってきた後は、アレルギーを作る調理職員の手さばきにも興味津々です。卒業会や調理保育もあり、自分で作り、自分で食べる喜びで食への関心を育てています。</p>				
評価項目6の評評様式				

7	評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している	評価	標準項目	評点(000)
	あり	1. 子どもが自分の健康や安全に関心をもち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		
	あり	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づいた対応をしている		
	あり	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている		
評価項目7の評評				
<p><b>子どもの体力増進をねらった遊びの導入や、保健教育に取り組んでいます</b></p> <p>子どもの体力・知力の増進をねらいクライミングウォールを設置し、体幹や支持力を養い、バランス方で自分の体を守ることもつなげています。その一方で、保健教育を行い、子どもが自ら健康維持ができるよう取り組んでいます。手洗い指導の際には、ブラックライトを使用し、0歳児は、手洗いの大切さを実感しました。紙芝居など、視覚に訴える教材を使ったり、担任と看護士とで連携した保健教育を行っています。また、危険な遊び方や発達に当たらない遊具は、きちんと知らせ、散歩途中は、交通安全を意識した声かけをしています。</p> <p><b>職員は上級救命技能認定証を取得し、子どもの健康維持と命を守る研さんを行っています</b></p> <p>職員は、子どもの健康維持と命を守る研さんを行っています。避難訓練の後、防災訓練として抜き出し訓練、ガスや水道が壊れないことを想定し、使い捨てパックに入れた非常食にぎりやパックジュースを提供し、子どもたちも体験をしました。また、福祉系研修の際には、看護士がロープワークや災害を体験し、職員は実際に杜物がどれだけ飛び散るかを実感しました。日々の安全確認や、危険場所の点検をし、さらに職員全員で8時間未満の消防の上級救命講習受講により上級救命技能認定証を取得しました。万が一の際に備えて取り組んでいます。</p> <p><b>保護者と共に子どもの健康維持に向けた取り組みを行っています</b></p> <p>保護者と共に子どもの健康維持に向けた取り組みを行っています。子どもの生じた病気については、日々、クラスごとの表で人数を提示し、情報提供することで保護者による早期発見につながるようになっています。また、新入園児面談の際には、乳幼児突然死症候群(SIDS)の手帳について、厚生労働省のポスターを照らして説明したり、0歳児の保護者には、入園直後の初めての食事会参加の日にも、仰向け寝についてのお話しをしています。そして、8か月未満の子どものベッドには、ベビーセンサーをつけ、呼吸チェックも年齢に応じた時間でを行っています。</p>				
評価項目7の評評様式				
<p>園では、すぐうつぶせ寝になる子どもも増えていくとのことでした。今後は、個別に保護者に声をかけたり、タイミングを見て全体運動をするなど、仰向け寝の習慣付けに向け、保護者と協力し合うことに期待をします。</p>				

評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている	評価項目8の現状		評点(100000)
	評価	標準項目	
	あり	1. 保護者には、子育てや就労等の様々な事柄に配慮して支援を行っている	
	あり	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	
	あり	3. 保護者と職員の間接関係が深まるような取り組みを行っている	
	あり	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	
あり	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		
評価項目8の現状			
<p><b>保護者と多くのかかわりを持つ機会を設けてきましたが、コロナ禍での方法を模索中です</b></p> <p>日々の登園の際には保護者とのコミュニケーションを大切にするとともに、0-2歳児の連絡帳のやり取りでの応答関係も大切にしています。担当職員が、その子どもの家庭での生活リズムをきちんと把握して、園での生活を一人ひとりに合わせており、家庭と園との連続性が保たれていることは、育児の援助となります。コロナ禍以前は、親子遠足や、市の保育所で保護者と協力し合い模擬店を開くなど、かかわりをもっとたくさん持ちたいとの思いから、いろいろな機会を設けてきました。今後の保護者の行事参加も含め、園は、模索しているところです。</p>			
<p><b>保護者との共通認識を得るため個人面談などを行い、ともに考え成長を喜び合っています</b></p> <p>保護者との共通認識を得るため、個人面談を行っており、家庭や園での様子を話したり、子育ての悩みを聞く中で、ともに考えていくようにしています。コロナ禍では、透明なついでを設け、感染症対策を講じ、安心して個人面談が行えるように配慮しています。また、子どもが帰って来た時や言葉が出た時が園であっても、帰って来た喜びを、保護者自身にも伝えるよう心掛けています。あえて、「歩きそうですね」「言葉が出てきそうですね」とお返しの際に伝え、その後保護者と気持ちを共有し、成長を喜び合えるよう支援しています。</p>			
<p><b>SNSを通して、給食献立や保育の1コマなどを大事に発信しています</b></p> <p>園の様子を保護者に伝え、理解を深めてもらうよう取り組んでいます。「園のしおり」には、全ての生活や遊び、安全面、給食についての園の方針を踏まえた説明を詳しく載せています。加えて、コロナ禍以前は、保護者も参加できる懇話会や保育参加・参観を行うなど、保護者も参加し体験してもらうことを大事にしていた。現在は、園によりはじめとし、各種たよりを工夫し予定や子どもの育ちを伝えていきます。また、SNSを通して、給食献立や保育の1コマも大事に伝えることを昨年からは開始し、保護者の理解につなげる発信に努めています。</p>			
<p>評価項目8の現状補足</p> <p>保護者同士の交流については、園で何でもやるのではなく、保護者同士でも自己解決できるような関係に向けた援助が大事です。その一歩として、感染症対策を考慮し保護者同士顔を合わせなくても、例えば、持ち帰ったじゅがいのを「家で、どのような料理にしたか」などを付箋に書き合うなど、簡単な方法の情報交換でもできるよう、園の工夫した援助に期待をします。</p>			

評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	評価項目9の現状		評点(100)
	評価	標準項目	
	あり	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	
あり	2. 園の行事に地域の人の参加を呼びかけたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		
評価項目9の現状			
<p><b>園から積極的に地域に出て、多様な体験や交流ができるような機会を設けています</b></p> <p>子どもが地域に出て、多様な体験や交流ができるような機会を設けています。公園や林道を利用して、自然と触れ合い、発見し、観察して探求心を養っています。道行く人との挨拶や、牛乳パックで作ったはがきを自宅に届けるために、ポストに投函に行くなど、社会の仕組みも感じています。警察署員に交通安全教室をしてもらったり、防災訓練の際は、懐しの消防車を見たり、日常、園内では体験できない多くのことに触れています。さまざまなことを体験して、忘れられない体験の数々となるよう、園から積極的に地域に出ています。</p>			
<p><b>人とのかかわりの中、園りの人に支えられ、子どもは感謝の気持ちが芽生えます</b></p> <p>さまざまな人とのかかわりを大切に、園りの人に支えられています。道端の草でじゅがいも掘りやきつまいも掘りをさせてもらい、その後、もぐりや芋煮会の人じんなどを園内に八景園に行き、重い荷物を下げてくれます。魚屋さんに来てもらい、魚おろしを覚えるなど、多くの地域の人びとに、子どもは、支えられていることを知ります。また、登園時の安全員守りのレールー員さんが、「気を付けてね」と声を掛けてくれ、保護者との会話でお互いにねがいを合っている姿も子どもは見ています。地域の人々を通して、感謝の気持ちの芽生えがあります。</p>			
評価項目9の現状補足			

調査対象

保育園を利用している84世帯を対象に調査を実施しました。在園児は100名で、兄弟姉妹が同園に通う世帯は年齢の一番低い子どもについて回答してもらいました。

調査方法

アンケート調査は無記名方式で、配付は施設を通じて利用者へ手渡し、回収は保護者から直接評価機関へ郵送、または密封して回収箱に投函してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。

利用者総数

100

利用者家族総数(世帯)

84

共通評価項目による調査対象者数

84

共通評価項目による調査の有効回答者数

47

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

56.0%

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が27人(57.4%)、「満足」が18人(38.3%)で「満足」以上の回答は合計45人(95.7%)でした。

自由意見には、「子どもが子どもらしくのびのび過ごせています」「いつも子どもたちの事を考えて保育してくださり、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです」「先生がとてつもないで優しくしっかりとした方が多いです。理念と現場が一致しています」「子どもだけでなく親の身体や心の状態も配慮していただき日々感謝しています」「先生同士が仲が良く、全体の雰囲気が良いです」「子どもに対して、ポジティブな声かけやとらえ方をしてくれます」など園への信頼と感謝を寄せる声が多く見られました。

項目別に見ますと、「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」で100.0%、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」で97.6%、「子どもの気持ちを尊重した対応がされているか」で95.2%、の保護者がそれぞれ「はい」と回答し、とても満足度が高い様子が読み取れます。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	46	1	0	0
「はい」が97.6%、「どちらともいえない」が2.4%でした。 自由意見には、「異年齢ですごす経験や調理保育、和太鼓など家庭でできない経験ができています」「園に行ってから、できることが増えました」「子どもたちが自然と挨拶をするようになったのは保育園での影響が大きいと思います」「よく外の公園までお散歩につれて行ってくれるので、体が丈夫になります」などの声がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	44	2	0	1
「はい」が93.8%、「どちらともいえない」が4.2%、「無回答-非該当」が2.1%でした。 自由意見には、「環境など、関心を持てるよう工夫してくださっています」「素晴らしい遊びを取り入れています。素材もレトロな物や外国のボードゲームなど、子どもにとっては新鮮だと思います」「昔の遊びや歌を大事にしていたらいい、親が知らない昔の歌を子どもから教えてもらい、楽しんでいます」などの声がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	47	0	0	0
「はい」が100%でした。 自由意見には、「今日のおやつ(ごはん)は〇〇だったよ!」と子どももうれしそうに言っています」「アレルギーや離乳食など細かく発達に合わせてくださいます」「食事、おやつはすばらしいと思います」「給食が健康的で、苦手な物があっても無理強いをしません」などの声がありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	37	10	0	0
<p>「はい」が78.7%、「どちらともいえない」が21.3%でした。            自由意見には、「コロナ禍において例年よりは縮小されていますが、できる限りのことはしてくださっていると認識しています」「園庭にあるどろ遊びが大好きです」「餅まきやわらべごえなど、日本の伝統文化に触れられます」「コロナ禍なので社会とかがわかることは難しいと思います」などの声がありました。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	44	2	0	1
<p>「はい」が93.0%、「どちらともいえない」が4.2%、「無回答・非該当」が2.1%でした。            自由意見には、「柔軟に対応しています」「いつも快く対応していただいています」「急なお迎え時間の変更にも対応していただき感謝しています」などの声がありました。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	44	3	0	0
<p>「はい」が93.0%、「どちらともいえない」が6.0%でした。            自由意見には、「十分取られています」「子どもの安全や健康に配慮しています」などの声がありました。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	35	11	0	1
<p>「はい」が74.0%、「どちらともいえない」が23.0%、「無回答・非該当」が2.1%でした。            自由意見には、「コロナ禍のため変更もありますが、十分アナウンスもあり満足です」などの声がありました。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	39	8	0	0
<p>「はい」が83.0%、「どちらともいえない」が17.0%でした。            自由意見には、「親身になって話を聞いてくれます」「全体的に信頼し、子どもへの対応にも満足しています」「子ども、保護者に対し親身になって考えてくれます。相談などもしやすいです」などの声がありました。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	41	6	0	0
<p>「はい」が87.0%、「どちらともいえない」が13.0%でした。            自由意見には、「常にお掃除をしてくださっている印象です」「コロナ禍のため園へ入れませんが、おたよりで伺っていただき、そう思います」などの声がありました。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	41	5	1	0
<p>「はい」が87.2%、「どちらともいえない」が10.6%、「いいえ」が2.1%でした。            自由意見には、「いつもとてもいいに対応していただき、感謝しております」「先生方は明るく挨拶してくれて、子どもお預けする時もとても安心できます」「どの先生も笑顔で子どもや親と接していただき安心できます」などの声がありました。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	44	2	0	1
<p>「はい」が92.6%、「どちらともいえない」が4.2%、「無回答・非該当」が2.1%でした。            自由意見には、「けがをした時などの処置も迅速で、熱などの症状の時も状況を細かく説明してくれてありがたいです」「けがをした時は病院に連れて行ってほしい、お迎えの時に報告してもらえそうです」などの声がありました。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	38	8	0	1
<p>「はい」が89.5%、「どちらともいえない」が7.0%、「無回答・非該当」が2.1%でした。            自由意見には、「よくわかりません」という意見がありました。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	45	2	0	0
<p>「はい」が97.9%、「どちらともいえない」が4.3%でした。            自由意見には、「親以上に大切にしてくれています」「嫌がってはいっている時、子どもに寄り添う声かけをしてくれます」「子どもたち一人ひとりを尊重し、日々でいいいにかかわっていただき、安心して過ごせる場所を作ってください」「子どもたちが、先生方を信頼していると感じます」などの声がありました。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	43	2	0	2
<p>「はい」が91.3%、「どちらともいえない」が4.3%、「無回答・非該当」が4.3%でした。            自由意見には、「わかりません」という声がありました。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	42	4	1	0
<p>「はい」が88.6%、「どちらともいえない」が6.9%、「いいえ」が2.1%でした。            自由意見には、「プリントで読むくらいです」「具体的な遊びとできるよになったことなどを説明してもらえるのでわかりやすいです」などの声がありました。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	37	8	0	2
<p>「はい」が78.7%、「どちらともいえない」が17.0%、「無回答・非該当」が4.3%でした。            自由意見には、「こちらからのお話は嫌がらずに受けってくれるので助かっています」「さまざまなことに柔軟に対応していただいています」「不満はありません」などの声がありました。</p>				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	33	11	2	1
<p>「はい」が79.2%、「どちらともいえない」が12.4%、「いいえ」が4.2%、「無回答・非該当」が2.1%でした。            自由意見には、「入園時に説明がありました。その後は特にありません」などの声がありました。</p>				





## 2.利用者調査結果



## 福祉サービス第三者評価 利用者調査結果

(事業所名: かやの実保育園)

### ■調査対象と方法

調査対象	保育園を利用している全世帯を対象に調査を実施しました。兄弟姉妹のいる世帯は1世帯として扱い、一番年長の低いお子さんを対象として、回答してもらいました。	
調査方法	実施期間 : 2021年5月31日 ~ 2021年6月14日	※6月25日到着分まで集計
	アンケート調査は無記名方式、配付は施設を通じて利用者へ手渡し、回収は保護者から直接評価機関へ郵送、または密封して回収箱に投函してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、報告いたします。	
	利用者総数(在園児数)	103
	利用者家族総数(世帯)	84
	共通評価項目による調査対象者数	84
	共通評価項目による調査の有効回答者数	47
	利用者家族総数に対する回答者割合(%)	56.0%

### ■調査結果報告の構成

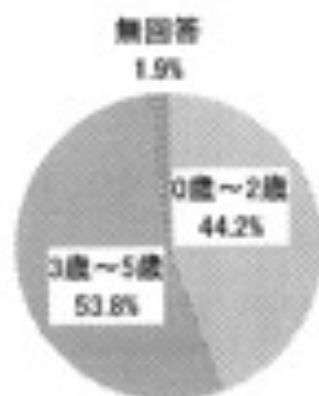
保育園を利用しているお子さんの年齢の内訳表	保育園を利用しているお子さんの年齢の内訳表です。複数のお子さんがいらっしゃる場合は、該当する全部に回答をいただいていますので、合計数と有効回答者数は必ずしも一致しません。
質問別及び総合的な感想について回答比率の比較グラフ	質問別及び総合的な感想についての回答比率棒グラフです。
質問別及び総合的な感想について回答者数の内訳表	質問別及び総合的な感想についての回答者数の内訳表です。
東京都認可保育園2018年度平均との比較チャート	2018年度に東京都認可保育園で実施した利用者調査の結果の平均との比較チャート図です。
利用者調査・自由意見(質問別/〔2〕〔3〕〔4〕)	質問別及び総合的な自由意見です。(各質問及び総合満足度への回答内訳も示しています)
質問別総合満足度比率の比較グラフ	「各質問について回答した方が総合満足度でどのように回答したか」「総合満足度の各回答者が質問に対してどのように回答したか」を示すグラフです。各質問項目が総合満足にどのように影響しているかを示しています。
質問別回答結果の過去対比グラフ	質問別の過去の結果の比較グラフです。(過去に弊社で第三者評価または利用者に対するアンケート調査を実施している場合のみ)
質問別回答結果の過去対比チャート図	質問別の「はい」の回答率を過去の結果と比較したチャート図です。(過去に弊社で第三者評価または利用者調査を実施している場合のみ)
年齢層別の回答比率チャート図	年齢層別に各質問の「はい」「満足」以上の回答率を比較したチャート図です。

### ■保育園を利用しているお子さんの年齢の内訳表

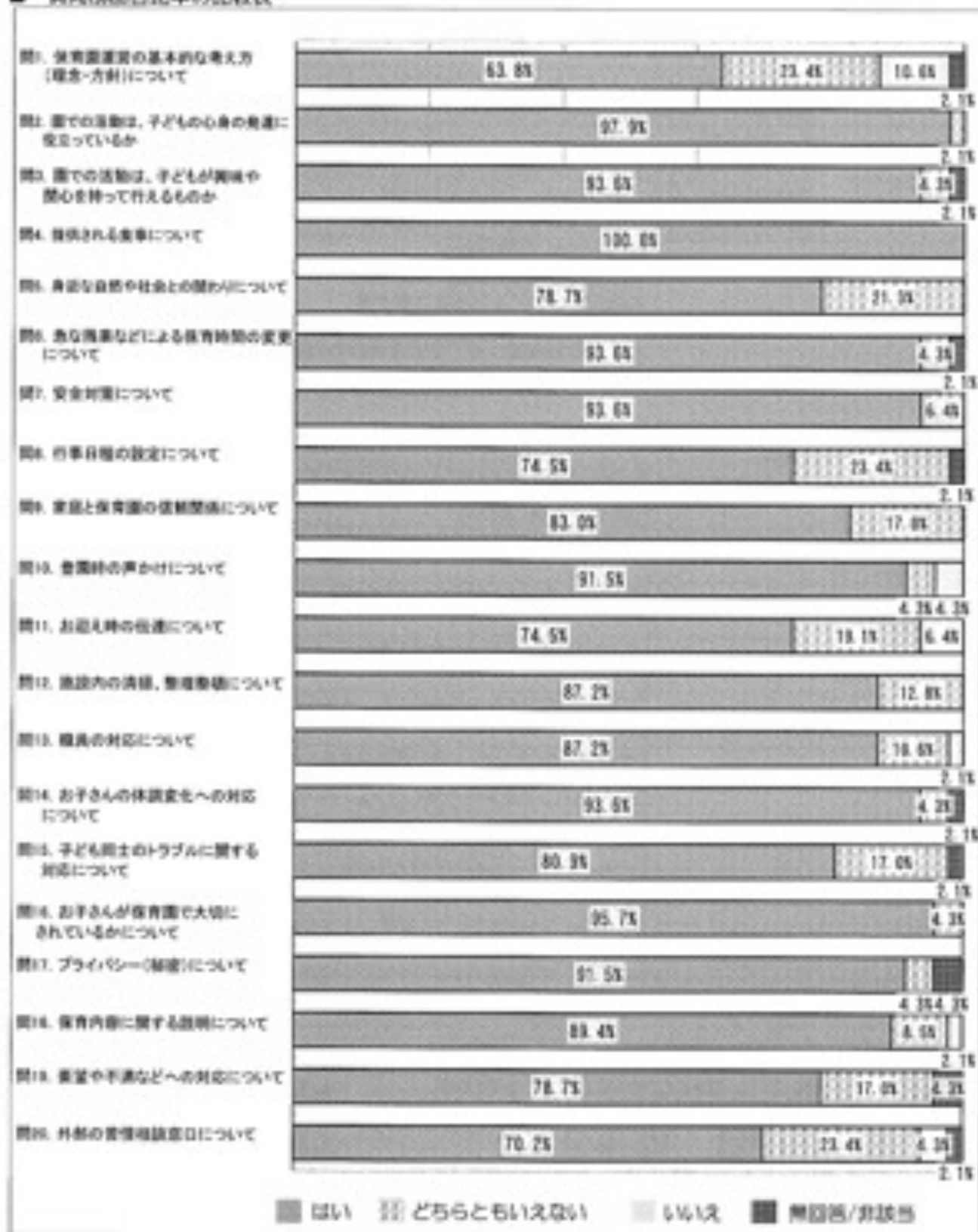
※複数のお子さんがいらっしゃる場合は、該当する全部について回答

0歳～2歳	23	44.2%
3歳～5歳	26	53.8%
無回答	1	1.9%
合計	50	100.0%

(単位:人)



## ■ 質問別回答比率の比較表



## ■ 総合的な感想



■ 園別回答者数の内訳表

(単位:人)

		はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答/ 未該当	合計	
保育園の 理念・方針 について	問1. 保育園運営の基本的な考え方(理念・方針)をご存じですか	30	11	5	1	47	
		63.8%	23.4%	10.6%	2.1%	100.0%	△△△
毎日の保育 サービス について	問2. 園での活動は、子どもの心身の発達に 促していると思いますか	46	1	0	0	47	
		97.9%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%	***
	問3. 園での活動は、子どもが興味や関心を 持って行えるものになっていると思いますか	44	2	0	1	47	
		93.6%	4.3%	0.0%	2.1%	100.0%	
	問4. 提供される食事・おやつは、子どもの状 況に配慮し、工夫されたものになっていると思 いますか	47	0	0	0	47	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	***
	問5. 戸外遊びや行事などにより、子どもが自 然や社会と関わる機会は十分確保されている と思いますか	37	10	0	0	47	
		78.7%	21.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
	問6. 急な残業などで、あらかじめ取り決めた 保育時間を変更したい場合、園は状況に合わ せて柔軟に対応していると思いますか	44	2	0	1	47	
		93.6%	4.3%	0.0%	2.1%	100.0%	
	問7. 安全対策が十分取られていると思いま すか(園内外の安全管理、不審者対応、緊急時 の対応など)	44	3	0	0	47	
		93.6%	6.4%	0.0%	0.0%	100.0%	
問8. 行事日程の設定は、保護者の状況に十 分配慮されていると思いますか	35	11	0	1	47		
	74.5%	23.4%	0.0%	2.1%	100.0%	△	
問9. 子どもの気持や様子(子育てなど)につ いて、職員と話し合い相談することができよう な信頼関係があると思いますか	39	6	0	0	47		
	83.0%	17.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
問10. 参観時に、子どもの家庭での様子につ いて、園からの声かけはありますか	43	2	2	0	47		
	91.5%	4.3%	4.3%	0.0%	100.0%		
問11. お迎え時に、その日の子どもの状況が 個別に伝えられていますか(園以外からの 伝達なども含む)	35	9	3	0	47		
	74.5%	19.1%	6.4%	0.0%	100.0%	△	
安心・ 快適性	問12. 保育園内は清潔で整頓、整頓された空 間になっていると思いますか	41	5	0	0	47	
		87.2%	12.8%	0.0%	0.0%	100.0%	
	問13. 職員の挨拶・態度は適切だと思います か	41	5	1	0	47	
		87.2%	10.6%	2.1%	0.0%	100.0%	
	問14. 保育中の発熱やケガなど、子どもの体 調変化への対応(処置・連絡など)は、十分さ れていると思いますか	44	2	0	1	47	
	93.6%	4.3%	0.0%	2.1%	100.0%		
問15. 子ども同士のトラブルがあった場合の 職員の対応は、信頼できますか	38	6	0	1	47		
	80.9%	17.0%	0.0%	2.1%	100.0%		
個人の尊重	問16. あなたは、職員が子どもの気持ちも大 切にしながら対応してくれていると思いま すか	45	2	0	0	47	
		95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%	*
	問17. あなたや子どもがプライバシー(園の人 に知られたくない、聞かれたくない、知られたく ないと思うこと)を職員は守ってくれていると思 いますか	43	2	0	2	47	
		91.5%	4.3%	0.0%	4.3%	100.0%	
問18. 子どもの保育内容に関する説明は、わ かりやすいと思いますか	42	4	1	0	47		
	89.4%	8.5%	2.1%	0.0%	100.0%		
不満・要望へ の対応	問19. 保育園は、不満に思ったことや要望を 伝えたととき、きちんと対応していると思いま すか	37	8	0	2	47	
		78.7%	17.0%	0.0%	4.3%	100.0%	
問20. 要望や不満があったときに、職員以外 の人(役員や第三者委員など)にも相談できる ことを、園はわかりやすく伝えてくれています か	33	11	2	1	47		
	70.2%	23.4%	4.3%	2.1%	100.0%	△△	

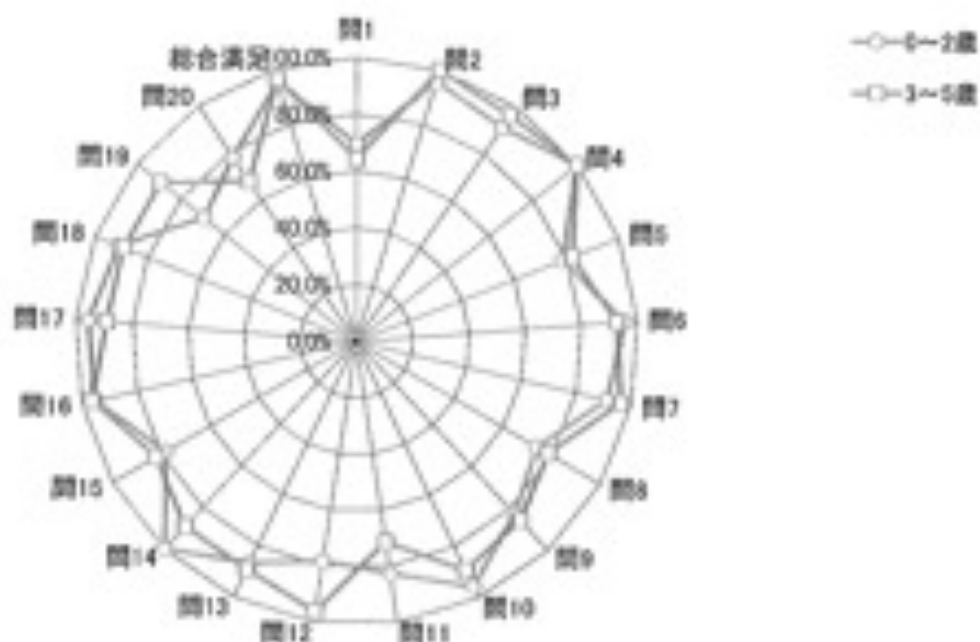
※※※※、※、\*は「はい」回答比率の高い順に第三位までにマーキングされています。  
※※△△△、△△、△は「はい」回答比率の高い順に第三位までにマーキングされています。

■ 総合的な感想の回答内訳

大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答	合計
27	18	2	0	0	0	47 (単位:人)
57.4%	38.3%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■ 年齢別「はい」「満足度」比率の比較チャート

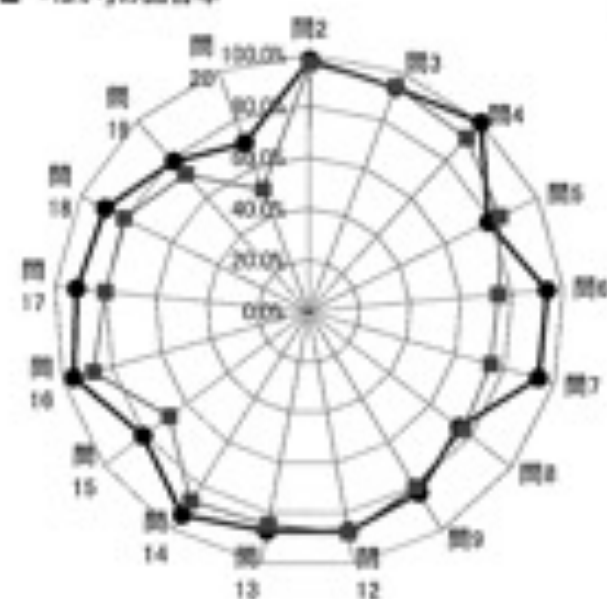
■ 「はい」の比率、「大満足」「満足」比率



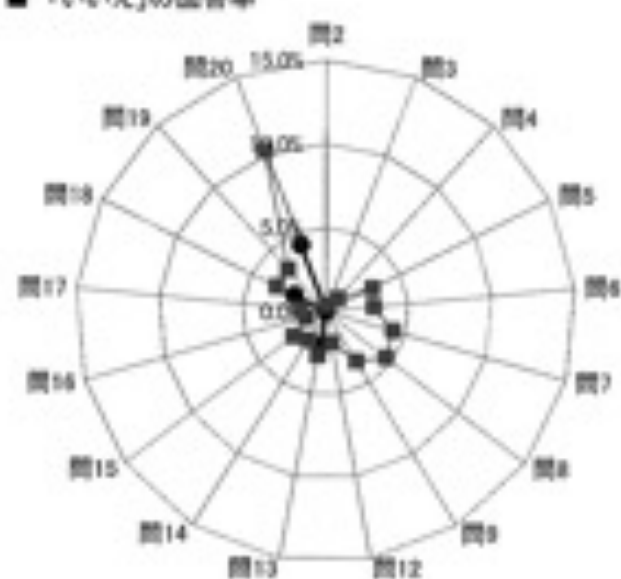
※総合満足についての回答は「大満足」と「満足」の比率の合計になっています。

■ 東京都認可保育所2018年度平均との比較

■ 「はい」の回答率



■ 「いいえ」の回答率



● 貴園    ● 都2018年度認可保育所平均

## ■利用者アンケート調査・質問別自由意見

\*自由意見については匿名性に配慮する必要がありますので、個人が特定できそうな文章は削除し、主旨が伝わるように修正を加えている部分があります。その他についての文章表現（漢字、假名づかいなど）は、誤字の修正等を除き、原文そのままになっています。

【 1…はい 2…どちらともいえない 3…いいえ 4…無回答/非該当 】

## 問1. 保育園運営の基本的な考え方(理念・方針)について

1 わかりやすく書いてあるところがなく、よくわからない。	3
2 知っている。	1
3 保育園を選ぶ時にHPで確認したが、今はもう忘れてしまった。	2

## 問2. 園での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか

1 異年齢で過ごす経験や調理保育、和太鼓など家庭でできない経験ができています。	1
2 園に行ってから、出来ることが増えた。	1

## 問3. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるものか

1 コロナで参観などもないので、どんな活動をしているのかわからない。	2
2 関心ももてるよう工夫して下さっている。環境etc…。	1

## 問4. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか

1 今日のおやつ(ごはん)は〇〇だったよ！と子どもうれしそうに言っています。	1
2 アレルギーや離乳食など細かく発達に合わせてくれている。	1
3 食事、おやつはすばらしいと思う。	1
4 おたよりからも伝わります。	1

## 問5. 遊びや行事などで、子どもが自然や社会と関わる機会が十分確保されているか

1 外遊びは少なめ。	2
2 コロナの影響は多少あると思う。	2
3 園庭で遊ぶ機会が少ないように思う。	2
4 コロナの影響で行事が減っているので少なくなっている。	2
5 コロナ禍において例年よりは縮小されているが、できる限りのことはしてくださっていると認識している。	1
6 コロナ禍なので、社会とかかわることは難しいですね。	2
7 園庭にあるピオトープ、大好きです。	1
8 コロナ禍ではあるが、可能な限りでいろんな体験をさせて欲しい。	2

## 問6. 保育時間の変更について

1 柔軟に対応している。	1
2 いつも快く対応していただいています。	1
3 そういう場面がない。	2

## 問7. 安全対策について

1 行っていると思うが、こちら側には見えない部分が多い。	2
2 十分取られている。	1
3 実際どうなっているか、あまりわからない。	2

問8. 行事日程の設定について

1 今年度の運動会は平日のため仕事を調整する必要がある。	2
2 コロナの影響で、乳児の運動会が中止になってしまい残念。	2
3 コロナのため変更もありますが、十分アナウンスもあり満足。	1

問9. 職員との信頼関係について

1 親身になって話を聞いてくれる。	1
2 忙しそうで話す事を遠慮してしまう。	2
3 いつもありがとうございます。	1
4 先生とかかわる機会が少なく、忙しそうにしているので信頼関係まで築けていない。ゆっくり話すことができない。	2

問10. 登園時の声かけについて

1 ※自由意見はありませんでした。	
-------------------	--

問11. お迎え時の伝達について

1 ない時たまにある。	2
2 特別な事がない限りはほほほい、先生が余裕があると話してくれる。	2
3 ～が出来るようになった！など具体的な遊びを説明してもらえるのでわかりやすい。	1
4 園での様子を聞きたい。	3
5 忙しそうで話す事を遠慮してしまう。	2
6 すごく助かっています！	1
7 ない日もあるので保護者としてはちゃんと毎日知りたいです。	2
8 伝えてくれることが多いが、忙しそうにしている時はとてもそっけない方もいる。	2
9 コロナ禍において、どうしても子について話をする時間、機会が減ってしまい、もどかしいです。	1
10 年少ぐらいから個別にはないがそれ以前はあった。でも聞けば答えてくれる子どもからも何があったか言ってくれているので問題ない。	2
11 お迎え時に忘れた時に電話を頂き助かる。	1
12 ほとんどない。	3

問12. 施設内の清掃、整理整頓について

1 園内に入れられないため不明。	2
2 常にお掃除して下さっている印象です。	1
3 見たことがあまりない。	2
4 コロナで、中に入ることができません。	2
5 コロナのため園へ入れませんが、おたよりで伝えて頂きそう思います。	1
6 園に入る機会がなく、わからない。	2
7 網戸が破れている所があるので補修していただきたいです。	1
8 園内に入れられないからわからない。	2

問13. 職員の対応について

1 自分の気分によって態度のかわる職員がいる(笑顔、声のトーンなど)。	2
2 係りの時間が他の保護者と時間かぶることがあり、対応してくれる職員がいなく待たされる(他の保護者に対応してる職員が気づいているのに他の職員に声かけすらしめない)。	2
3 ふつう。	2
4 一部職員の態度があまりよくないと感じる。こちらがあいさつ、会釈をしてもしない。	3



問14. お子さんの体調変化への対応について

1	ケガをした時などの処置も的確で、熱などの症状の時も状況を細かく説明してくれてありがたい。	1
2	ケガをした時は病院に連れて行ってもらい、お迎えの時に報告してもらえます。	1
3	子どもから聞くこともある。	2

問15. 子ども同士のトラブルに関する対応について

1	よくわからない(トラブルについてあまり教えてもらえない)。	2
2	見えない部分も多い。	2
3	コロナ禍で先生と保護者が話せる機会が少なく園でのできごとを保護者が知ることが難しい。子が園でのことを話すタイプではない場合、困りごとに対応できているのか心配です。	2
4	トラブルがあったかないのかわからない。	2
5	何度か同じ子が話に出てくる。注意はしているそう。	2

問16. お子さんが保育園で大切にされているかについて

1	嫌がって泣いている時、子どもに寄り添う声掛けをしてくれる。	1
2	そう信じていないと預けられない。	1
3	表面的にはとても良い対応だが、普段の様子を見る機会がないため不安に思うところもある。	2
4	親以上に大切にしてくれています。	1
5	たくさんの方の職員の方がかかわってくれているので、担任以外の職員に聞いてもわかる。	1
6	とにかく話をする機会が少なくてわかりません。	2

問17. プライバシー(秘密)について

1	わからない。	2
---	--------	---

問18. 保育内容に関する説明について

1	プリントで読むくらい。	1
---	-------------	---

問19. 要望や不満などへの対応について

1	口答で伝えた内容が、他の先生に伝わっていないことが何度かあった。	2
2	まだ不満がありません。	2
3	特にないですが……。	1
4	不満はありません。	1

問20. 外部の言動相談窓口について

1	まだ不満がありません。	2
2	入園時に説明はあったが、その後はとくになし。	2
3	わからないが言えば教えてくれる。	2

## ■利用者アンケート調査・(2)(3)(4) 自由意見

\*自由意見については匿名性に配慮する必要がありますので、個人が特定できそうな文章は削除し、主旨が伝わるように修正を加えている部分があります。その他についての文章長短(漢字、仮名づかいなど)は原文そのままになっています。

【 1…大満足 2…満足 3…どちらともいえない 4…不満 5…大不満 9…無回答 】

(2)自頃お感じになっている保育園に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

1	体をつかった遊びをふやしてほしい。	2
2	コロナの影響で国内に入れなかったため、毎日の日中の写真を楽しみにしています。ただ写真のデータ(CD-R)を回すのが年に1回程度で、データも大分削除されていて「あの日の写真のデータが欲しかったな…」ということが多々あります。写真データを年3〜4回等に分けて多く提供してほしいです。	2
3	仕事でないと預けられないとなっているが、親のリフレッシュ、用事、きょうだいがいる場合は他の子の行事の時等、積極的に保育園へ預けて下さい！という流れになってくれるとありがたい。小さい子どもと一緒に、出来ない事、大変な事が多いので仕事以外で預けたい時もある。	2
4	全体的に信頼し、子どもへの対応にも満足していますが、2点だけ不満に思っている事があります。1)年始(年度始め)の書類の記入がしづらい(記入する枠が小さかったり、どう記入するかわかりづらい。毎年同じなので作り直してほしい)。2)職員が室内履のまま玄関の外に出たり入ったりしているのを見かけるが、不衛生だと思う。	1
5	いつもていねいに対応して頂いており、感謝しております。	1
6	もっと外遊び(お散歩や園庭)など取り入れてほしい。0、1、2歳クラスの様子も毎日、写真で見られると嬉しい。→印刷にコストが掛かるようなら、ツイッターやHPで、保護者のみ閲覧できるようにする等(アナログからデジタル発信で)。	1
7	コロナ禍で仕方ないとは思いますが、1日子どもが保育園でどのような生活をしているのか実際に見たいと思っています。写真など撮って掲示して下さってはいるのですが、そこは気になる場所です。	1
8	職員の方々はもちろんと休日がとれているのだろうか？職場環境の良し悪しが、保育の質につながると思うので、より良い環境になる事を願います。	2
9	先生たちは明るくあいさつしてくれて、子どももお願いするときもすごく安心できます！お迎えの時も子どもの今日の様子を教えてくれるのでちゃんと見てくれているんだなと思い、嬉しいかぎりです！	1
10	たまにさみしくなってしまう時もあるようですが、楽しそうに登園しているので感謝しています。ただ1点、駐車場の境目がわかりづらく、たまに線を無視して駐車している車もあるので、線をはっきりした色にしてもらえると助かります。	1
11	コロナという難しい状況の中でも、工夫して子どもとかかわってくださり、感謝です。	1
12	保育園に行くようになって、できることが増え、通わせてよかったなと思っています。	1
13	保育園の職員は足りないと思います。子どもの人数、特に0歳児は多いため、先生は大変でちゃんと子どもの面倒を見ることができないのではと思います。0歳児の部屋は人数に対して狭いです。	3
14	急なお迎え時間の変更にも対応して下さい感謝しています。他の保育園に通ったことがないのでわかりませんが、子どもたちが自然とあいさつをするようになったのは保育園での影響が大きいのかな、と思います。どの先生もニコニコと出迎えてくれますので安心しておまかせしています。	1
15	子どもを玄関での引き渡し、参観もコロナでなく、子どもの園での様子を実際に見る機会がありません。保護者の仕事の休憩中などの時間に合わせてZoom配信などがあると大変うれしく思います。	1
16	コロナ禍のなか工夫して保育をして下さり感謝しております。	1
17	園だよりの写真は幼児中心なのか？乳児の様子も知りたい。	2
18	コロナ禍で難しいのはわかっているが、同じクラスの保護者なのか、誰なのかわからない。保護者との交流の機会が欲しい。	2
19	新年度担任が変わると名前と顔が一致しないため、クラスだよりに顔入りで、教えてほしい。	2

20	わらべうたも良いが、皆さんがよく知っている手遊びもとりにいれてほしい。キャラクターがダメな理由もわかるが、その日の子どもの気分が落ちている時、ブルーな時はその子どもの好きなキャラクターの洋服を着て「保育園頑張ろう！」とやりたいが、それでもダメなのか…？キャラクターがダメなのは、子ども達のいざこざをなくすためのものか…？	2
21	子どもの発達に応じた性教育を実施してほしい。園のみんなが自分も他の人も尊重することの大切さを知ってほしい。家庭でも、折にふれて、自分の体やほかの人の体を大切にすること、プライベートパーツを大事にすること、嫌なことは嫌だと伝えること、逃げること等、子に伝えるよう心がけていますが、園全体で取り組むことによって、より子ども達が理解してくれるようになるのではないかと思います。文部科学省による「生命の安全教育」の推進や、絵本「子どもを守る言葉『同意って何？』」や、『おしえて、くもくん』等を読んで感銘を受けたので、かやの実保育園でも実施して下さることを望みます。	1
22	子どものことについて悩み、少し担当の先生にお話した所、いつも気にかけてくれて様子を細かく伝えて頂くようになりました。大丈夫ですよと言って頂いて、背中を押して頂き、とても感謝しております。	1
23	子どもが子どもらしくのびのびすごせています。子どもだけでなく親の身体や心の状態も配慮していただき日々感謝しています。保育スタッフの方、給食担当、シルバーの方全てが子どもたちを見守り成長を楽しみにしてくれていると伝わります。	1
24	いつも子ども達の事を考えて保育して下さい、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。	1
25	かやの実保育園に通うことができとても良かったと思っています。先生方は笑顔で見守っていてくれ、子どもに対してもきちんと話を聞き優しくしゃべってくれます。面倒臭いし、忙しいのになかなかそんなことできません。以前の担任の先生もよく話かけてくれます。こんなことができるようになった等、言ってくると親はうれしいものですね。	1
26	わらべうたも素敵ですが音楽に触れる時間があると良いと思います。	1
27	コロナ禍になって子ども個人の保育園での様子がまったくわからない、成長しているのか他の子とのかかわりとか教えてほしい。担任の先生と話す機会がないし会うことも少なく中々先生に声かけもづらい。	3
28	経営層をはじめ先生方には子どもにいつも温かくかかわり見守っていただいています。楽しく通わせてもらっており園であったことをうれしそうに話してくれています。コロナ禍では大変な中、色々な工夫と配慮をありがとうございます。	1
29	いつも園での様子を家でも楽しくおしゃべりしてくれます。感謝しかありません。	1
30	感じの良い職員が多い中、一部の職員の態度の悪さが気になる。あいさつしない目をそらす等。全ての保護者に対してそうではなく、仲良くしたい保護者には笑顔で接しているように見える。私達保護者も態度の悪い人が多い。基本的なあいさつ位、してほしいものだ。	2

(3)この保育園の良いと思う点についてお書きください。

1	太鼓を教えてくれるところ。	2
2	素材な遊びを取り入れている。素材等もレトロな物や外国のボードゲーム等、子どもにとっては新鮮だと思います。あと給食、おやつに力を入れていると感じます。	2
3	多くの先生が、以前からのうちの子の様子を知っているので、とてもかわいがってくれていると感じられる。手がかかる子に対しても、手厚く対応してくれていると思う。	2
4	給食が健康的。給食に苦手な物があっても無理強いをしない。	1
5	子どもがのびのびとしている(保育士さんが子ども達に対して高圧的でない点)。	1
6	よく外の公園までお散歩につれて行ってくれるので、体が丈夫になる。	1
7	先生がとてもいい人でやさしく、しっかりとした方が多い。理念と現場が一致している。	1
8	子どもの特性に合わせてきめ細かく見守って下さり、安心して保育をお願いできます。	1
9	先生方がしっかり子どもを保育してくれているので安心して任せられる。育児の悩みや相談に親身になってくれる。子どもだけではなく親のフォローもしてくれる。	1
10	園土料理やわらべうたなど、日本の伝統文化にふれられる。	1

11	子ども一人ひとりを大事にして下さる事。	2
12	わらべ歌を取り入れ昔からの文化を継承していくのはよいと思います。	1
13	給食に各地域の郷土料理を出してくれるのはとてもよいです。給食の献立をツイッターでUPされているのでどんなものを食べているのかわかりやすいです。	1
14	子どもの事をよく見て考えていてくれると思う。コロナ禍の中で大変な中、保育して下さる事はとてもありがたい。	2
15	園内は少ししか見えないんですが、すごくきれいにされていて安心です！先生たちが笑って話かけてくれると不安がなくなるのですごくありがたいです！	1
16	様々なことに柔軟に対応していただいているので安心して子どもをあずけられます。	1
17	先生同士が仲が良い。全体の雰囲気が良い。男性保育士がいることで、子どもも体をつかった遊びができたりとよいと思う。	1
18	伝統文化が学べる所。	1
19	通いやすいです。保育時間を変更したいとき、柔軟に対応してくれます。	3
20	子どもたちが、先生方を信頼しているなど感じる所です。もちろん子ども同士(お友だち同士)で遊んで過ごしている話も聞きますが、〇〇さん(先生)とあそんだ！！〇〇さんにいおう！等、先生のことも好きなんだなーと思います。	1
21	先生方がすぐに名前を覚えてくださり名前を呼んで声をかけてくださるのがとてもうれしいです！子どもも家で先生の名前をよんで慕っているのわかります。	1
22	園内に入れないので、園内の様子はわかりませんが、送迎時には担任以外の先生も声をかけて下さり嬉しいです。	1
23	こちらからのお願いは嫌がらずに受けてくれるので助かっています。	2
24	子ども、保護者に対し親身になって考えてくれます。相談などもしやすいです。	1
25	わらべうたや童謡を日々うたっていて、美しいふしまわしや日本語と親しんでいる。	1
26	子が自由遊びをし、先生方があたたかくサポートしている。成長のために的確なサポートをしている。つみきやアナログゲーム、LQやステッチ等、子が楽しく遊べて、なおかつ集団でのルールを守ることや指先の巧緻性を高められるような活動をしている。	1
27	子の安全や健康に配慮している。	1
28	和太鼓を取り入れているのは、たいへん良いと思います。	2
29	昔の遊びや歌を大事にして頂いているので、自分でも知らない昔の歌を子どもから教えて頂き、楽しんでいます。	1
30	職員全ての方が優しくそして穏やか、ギスギスしておらず、経営層の存在もあり人間関係が良いのだと伝わってくる。その良い空気の中で保育が行われているので子どもも親もすこししやすい。園全てが良いと思う。	1
31	どの先生も笑顔で子どもや親と接して下さり、安心できます。	1
32	給食がとてもおいしいようで子どもからよく“おいしかった”と話を聞きます。	1
33	全部良いと思います。先生は子どもがいけないことをしても怒りません。感情的にならず、何がいけなかったのかを伝えてくれます。いつも笑顔でいてくれて信用できます。専門職員さんも1つ1つの言葉使いに気をつけて話してくれます。人間ができています。小さい時、子どもについて色々話してくれて本当に支えになってくれました。	1
34	職員が優しい。	2
35	どの先生もとてもやさしく、親切だと思う。子どもに対して、ポジティブな声かけやとらえ方をしてくれる。	2
36	先生達、皆さん話しやすいです。とても良い雰囲気の園だと思います。	1
37	子どもたち一人ひとりを尊重し、日々でいいいにかかわっていただき、安心して過ごせる場所を作って下さっています。また人の話を聴ける子、自分の言葉で話すことができるというところを大切にされていてそれが身に付いていくことを感じることができます。子どもたちのことを優先して考えてくれると共に穏やかな園の雰囲気がとても好きです。	1

28	職員の先生方が皆素敵でお優しく、子どもがなついて信頼しています。	1
29	子どもが嫌がらず、保育園が好きと言って登園しているので子どもに対して優しく接してくれているのと思う。	2

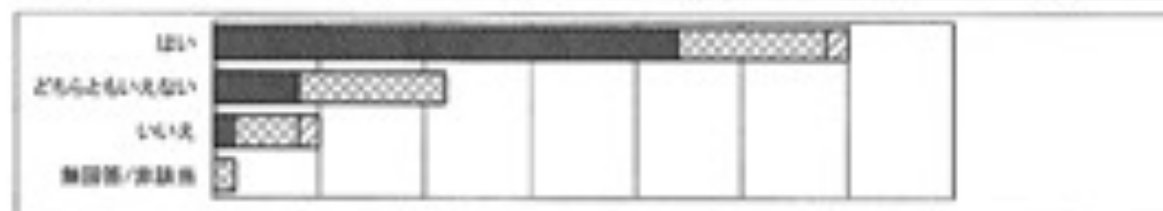
(4) 今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。

1	特にありません。	1
2	特になし。	1
3	子がいつもお世話になっております。質問に答えていく中で、あらためてかやの実保育園の素晴らしい所に気づくことができました。コロナ禍で例年以上に大変なことが多々ありますが、子が楽しそうに園に通っていることは先生方のご尽力によるもので、本当にありがとうございます。いつもありがとうございます。	1
4	あらためて子どもの通っている園が素晴らしいところだと、認識できた。子どもたちが健やかに育っているのは園の職員の方々のおかげです。	1
5	他の保育園の話をきくとなぜこんな対応をするのか？と思うことが多々ありますが、この、かやの実保育園ではそのようなことはありません。本当にすてきな保育園です。もっと皆に知ってもらいたい。	1

## ■質別総合満足度の割合

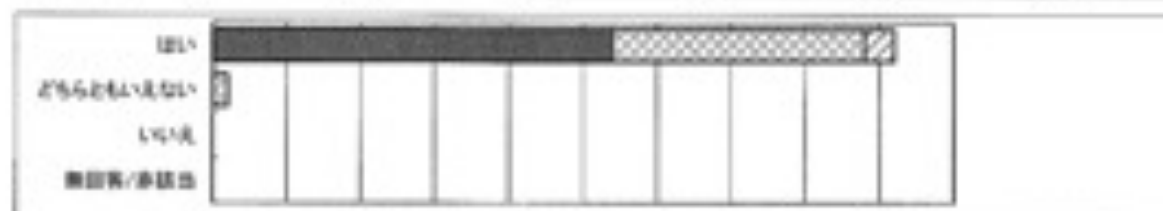
問1. 保育園運営の基本的な考え方（理念・方針）をご存じですか

	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
はい	22	7	1	0	0	0
どちらともいえない	4	7	0	0	0	0
いいえ	1	3	1	0	0	0
無回答/未該当	0	1	0	0	0	0



問2. 園での活動は、子どもの心身の発達に役立っていると思いますか

	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
はい	27	17	2	0	0	0
どちらともいえない	0	1	0	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/未該当	0	0	0	0	0	0



問3. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか

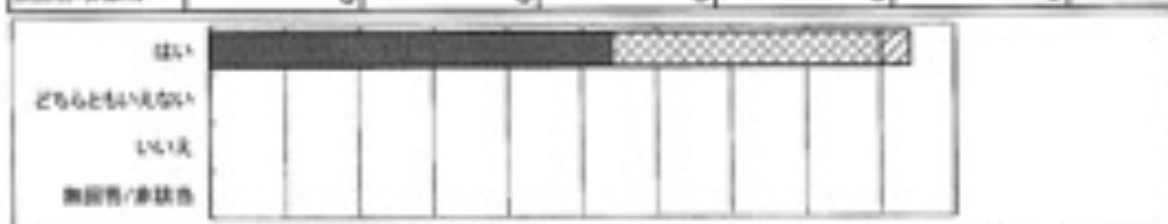
	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
はい	26	16	2	0	0	0
どちらともいえない	1	1	0	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/未該当	0	1	0	0	0	0



■ 大変満足    ▨ 満足    ▩ どちらともいえない    ▧ 不満    ▦ 大変不満    ▤ 無回答

問4. 提供される食事・おやつは、子どもの状況に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	27	18	2	0	0	0
どちらともいえない	0	0	0	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/未読者	0	0	0	0	0	0



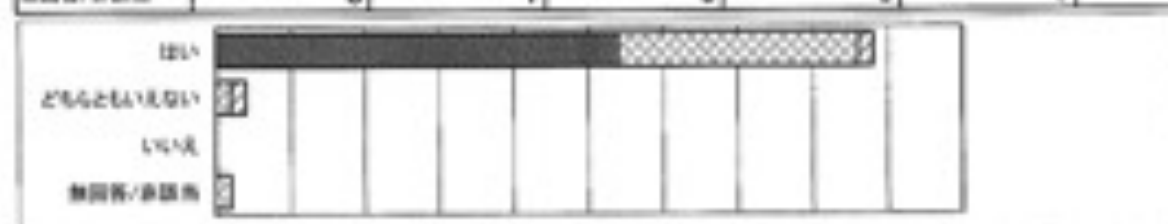
問5. 戸外遊びや行事などにより、子どもが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	25	11	1	0	0	0
どちらともいえない	2	7	1	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/未読者	0	0	0	0	0	0



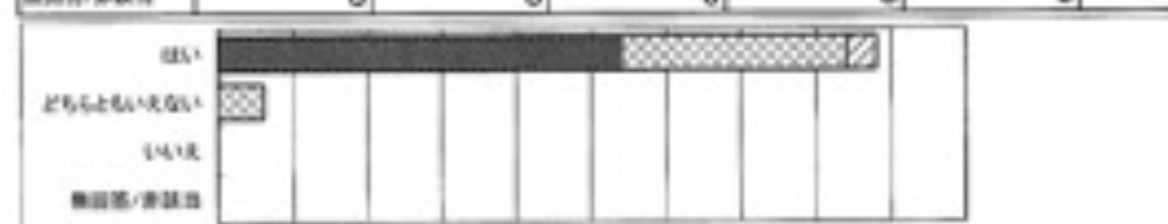
問6. 急な残業などで、あらかじめ取り決めた保育時間を変更したい場合、園は状況に合わせて柔軟に対応していると思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	27	16	1	0	0	0
どちらともいえない	0	1	1	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/未読者	0	1	0	0	0	0



問7. 安全対策が十分取られていると思いますか（園内外の安全管理、不審者対応、緊急時の対応など）

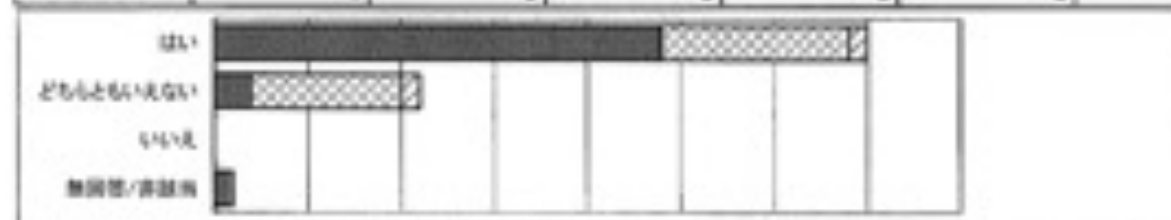
	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	27	15	2	0	0	0
どちらともいえない	0	3	0	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/未読者	0	0	0	0	0	0



■ 大満足    ⊗ 満足    // どちらともいえない    \ 不満    ⊖ 大不満    ⊞ 無回答

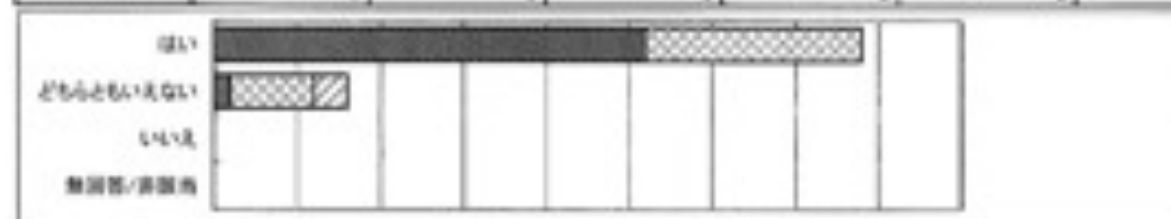
問8. 行事日程の設定は、保護者の状況に十分配慮されていると思いますか

	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
はい	24	10	1	0	0	0
どちらともいえない	2	8	1	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/未該当	1	0	0	0	0	0



問9. 子どもの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか

	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
はい	26	13	0	0	0	0
どちらともいえない	1	5	2	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/未該当	0	0	0	0	0	0



問10. 登園時に、子どもの家庭での様子について、園からの声かけはありますか

	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
はい	27	15	1	0	0	0
どちらともいえない	0	2	0	0	0	0
いいえ	0	1	1	0	0	0
無回答/未該当	0	0	0	0	0	0



問11. お迎え時に、その日の子どもの状況が個別に伝えられていますか（担任以外からの伝達なども含む）

	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
はい	24	10	1	0	0	0
どちらともいえない	2	7	0	0	0	0
いいえ	1	1	1	0	0	0
無回答/未該当	0	0	0	0	0	0



■ 大変満足    ⊗ 満足    // どちらともいえない    \\\ 不満    ⊞ 大変不満    ⊞ 無回答



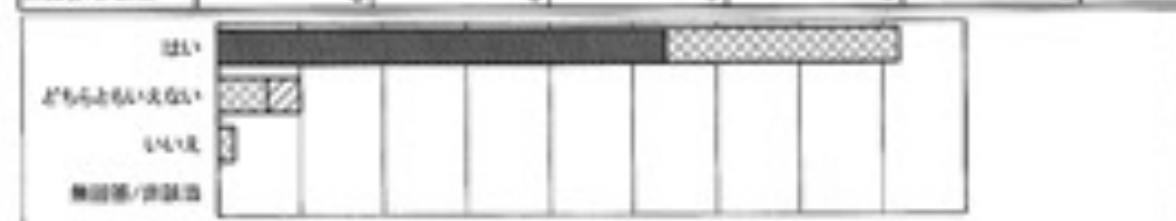
問12. 保育園内は清潔で整理、整頓された空間になっていると思いますか

	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
はい	26	15	0	0	0	0
どちらともいえない	1	3	2	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/未調査	0	0	0	0	0	0



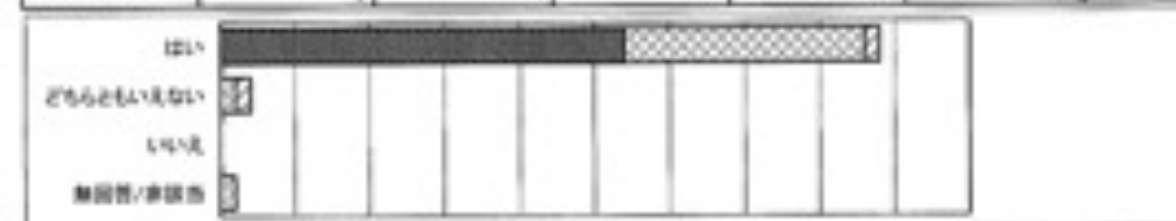
問13. 職員の接遇・態度は適切だと思いますか

	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
はい	27	14	0	0	0	0
どちらともいえない	0	3	2	0	0	0
いいえ	0	1	0	0	0	0
無回答/未調査	0	0	0	0	0	0



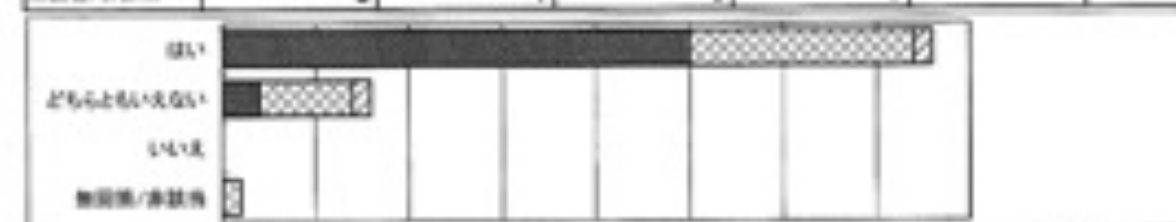
問14. 保育中の発熱やケガなど、子どもの体調変化への対応（処置・連絡など）は、十分されていると思いますか

	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
はい	27	16	1	0	0	0
どちらともいえない	0	1	1	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/未調査	0	1	0	0	0	0



問15. 子ども同士のトラブルがあった場合の職員の対応は、信頼できますか

	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
はい	25	12	1	0	0	0
どちらともいえない	2	5	1	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/未調査	0	1	0	0	0	0



■ 大変満足    ⊞ 満足    // どちらともいえない    \ 不満    ⊞ 大変不満    ⊞ 無回答

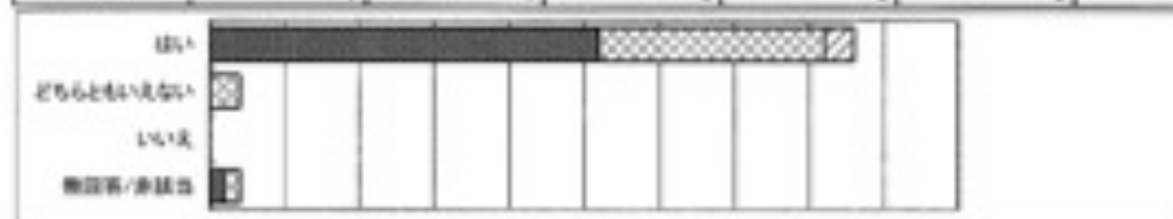
問16、あなたは、職員が子どもの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	27	17	1	0	0	0
どちらともいえない	0	1	1	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/未該当	0	0	0	0	0	0



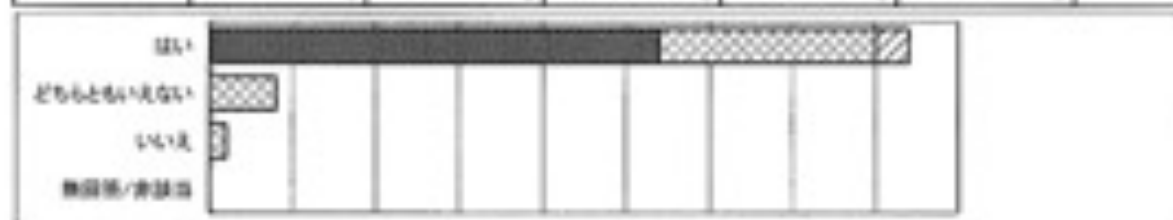
問17、あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたいくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	26	15	2	0	0	0
どちらともいえない	0	2	0	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/未該当	1	1	0	0	0	0



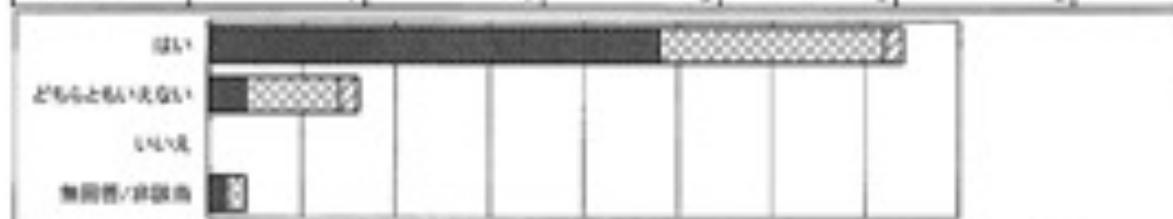
問18、子どもの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	27	13	2	0	0	0
どちらともいえない	0	4	0	0	0	0
いいえ	0	1	0	0	0	0
無回答/未該当	0	0	0	0	0	0



問19、保育園は、不満に思ったことや要望を伝えたとき、きちんと対応していると思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	24	12	1	0	0	0
どちらともいえない	2	5	1	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/未該当	1	1	0	0	0	0



■ 大満足    ▨ 満足    ▩ どちらともいえない    ▧ 不満    ▦ 大不満    ▩ 無回答

問20. 要望や不満があったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることを、園はわかりやすく伝えてくれていますか

	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
はい	24	8	1	0	0	0
どちらともいえない	2	8	1	0	0	0
いいえ	1	1	0	0	0	0
無回答/未調査	0	1	0	0	0	0

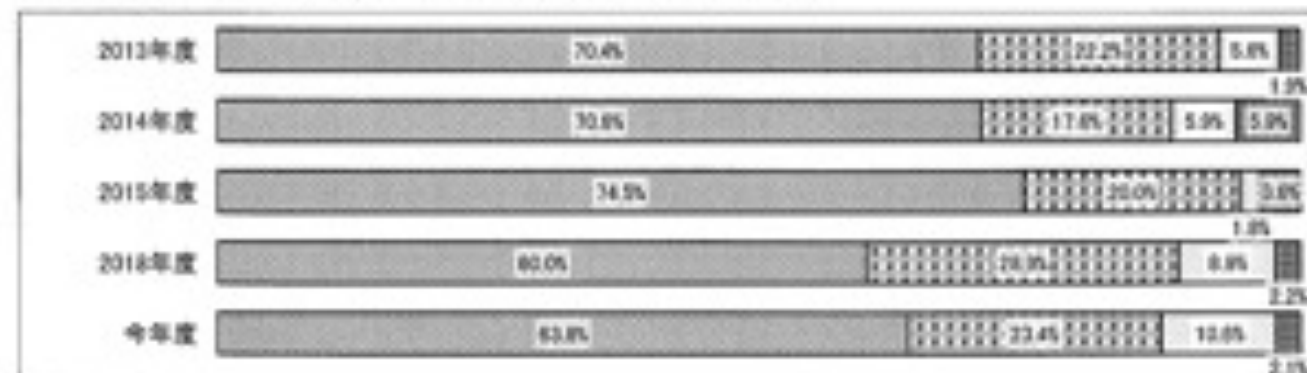


■ 大変満足    ⊗ 満足    // どちらともいえない    ≡ 不満    ▨ 大変不満    ▩ 無回答

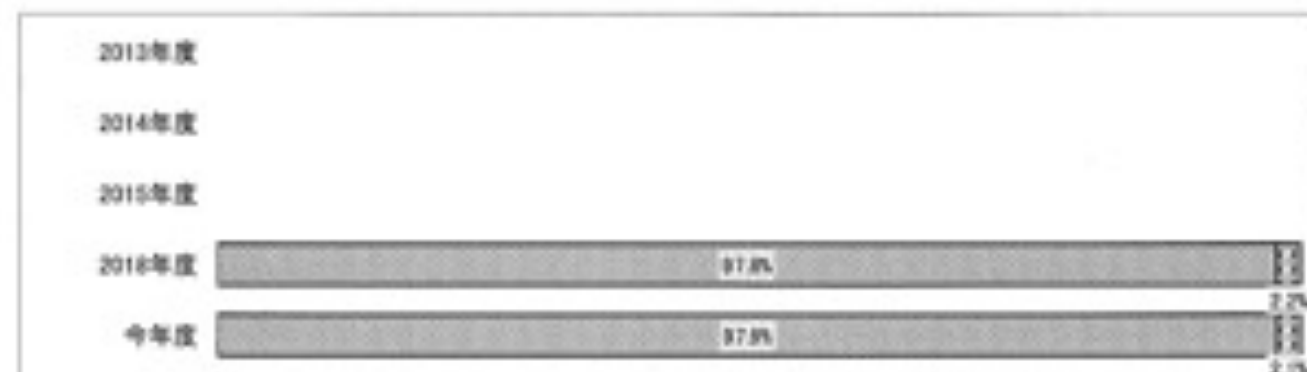
## ■設問毎回答結果の過去実績対比グラフ

過去に実施された利用者調査のうち、今年度の項目に該当する項目についてのみ比較しています。

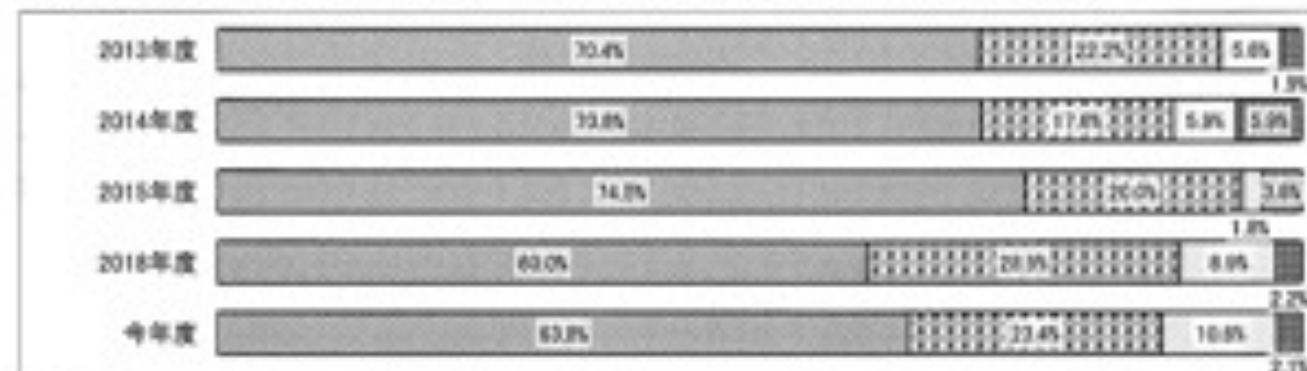
## 問1. 保育園運営の基本的な考え方（理念・方針）をご存じですか



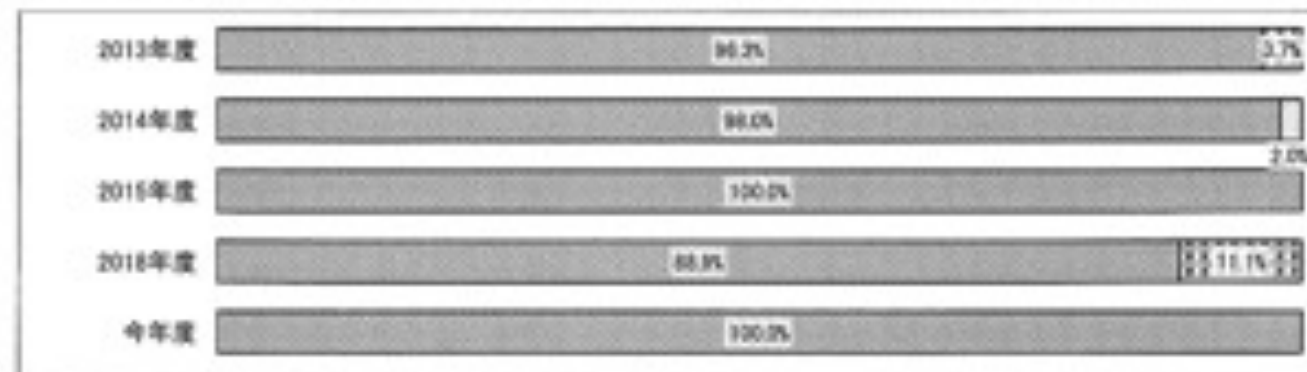
## 問2. 園での活動は、子どもの心身の発達に役立っていると思いますか



## 問3. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか

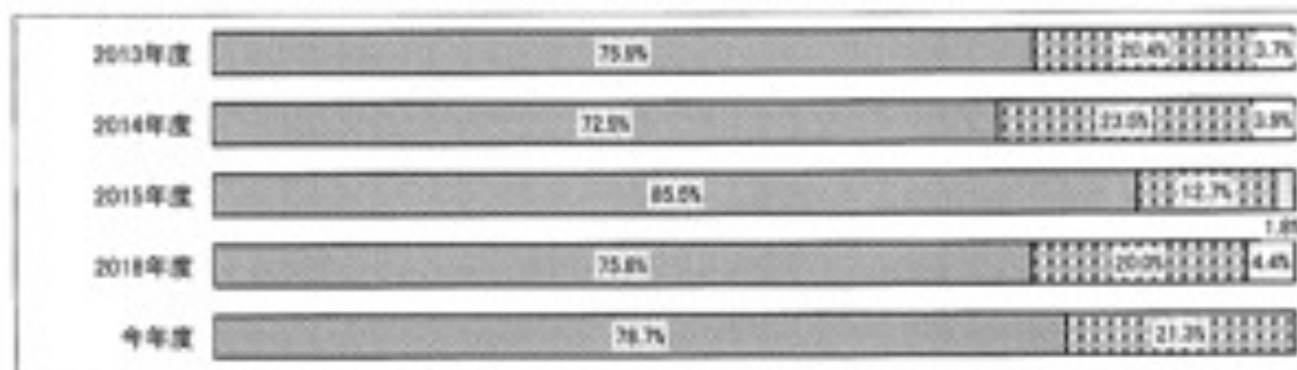


## 問4. 提供される食事・おやつは、子どもの状況に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか



■ はい    ▨ どちらともいえない    □ いいえ    ■ 無回答/非該当

問5. 戸外遊びや行事などにより、子どもが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか



問6. 急な残業などで、あらかじめ取り決めた保育時間を変更したい場合、園は状況に合わせて柔軟に対応していると思いますか



問7. 安全対策が十分取られていると思いますか（園内外の安全管理、不審者対応、緊急時の対応など）

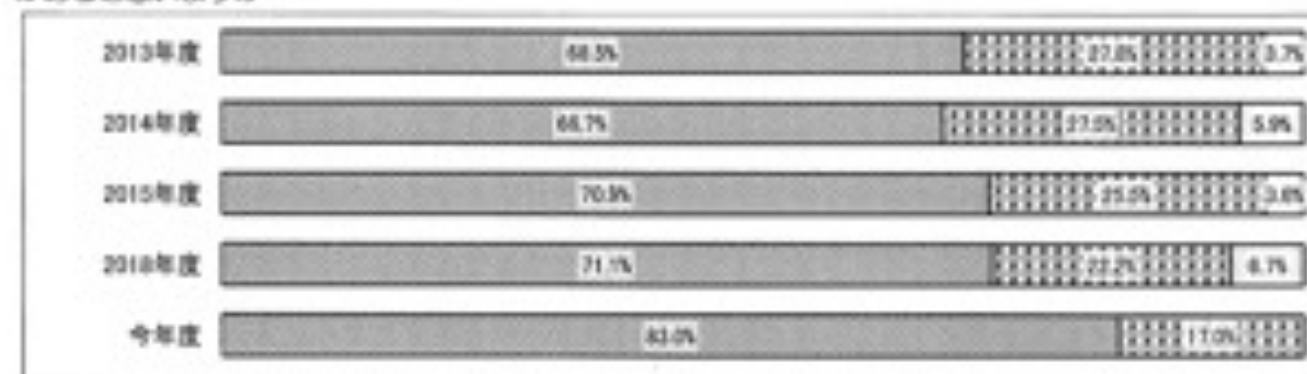


問8. 行事日程の設定は、保護者の状況に十分配慮されていると思いますか

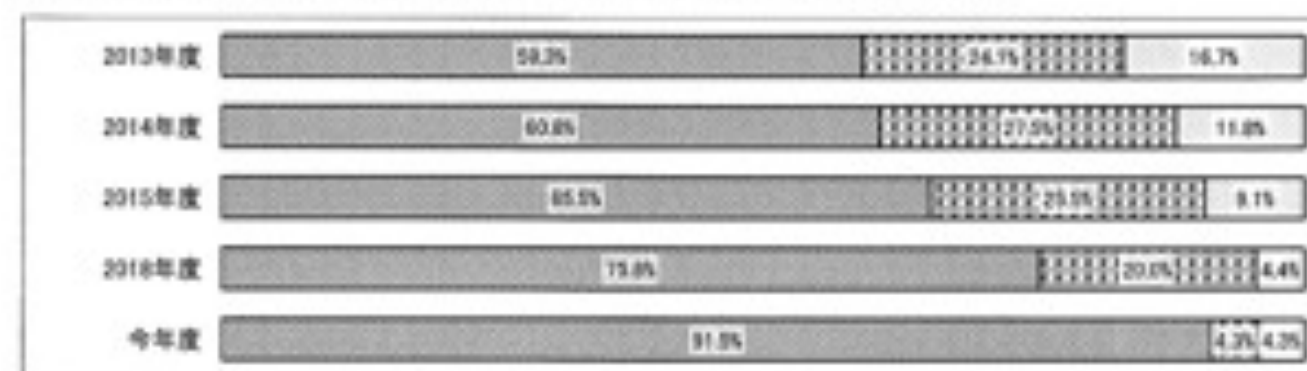


■ はい    ■ どちらともいえない    ■ いいえ    ■ 無回答/非該当

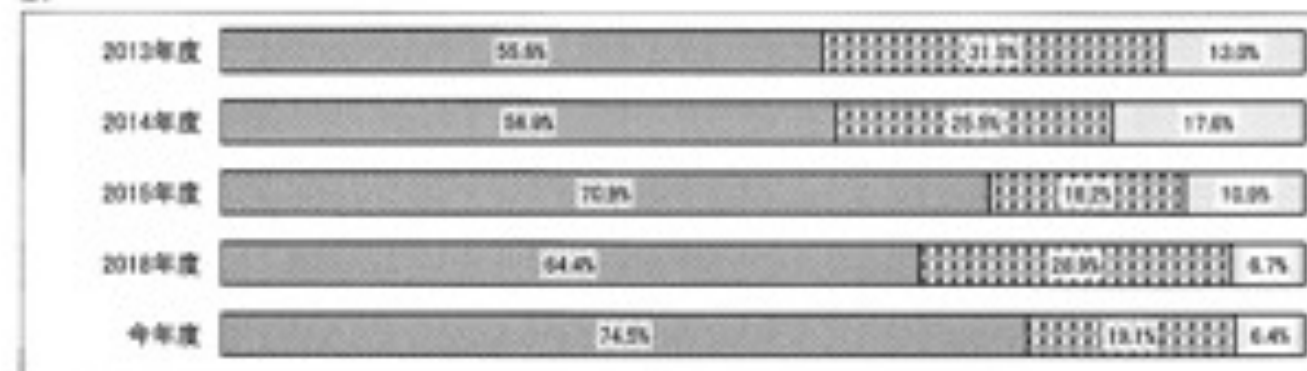
問9. 子どもの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか



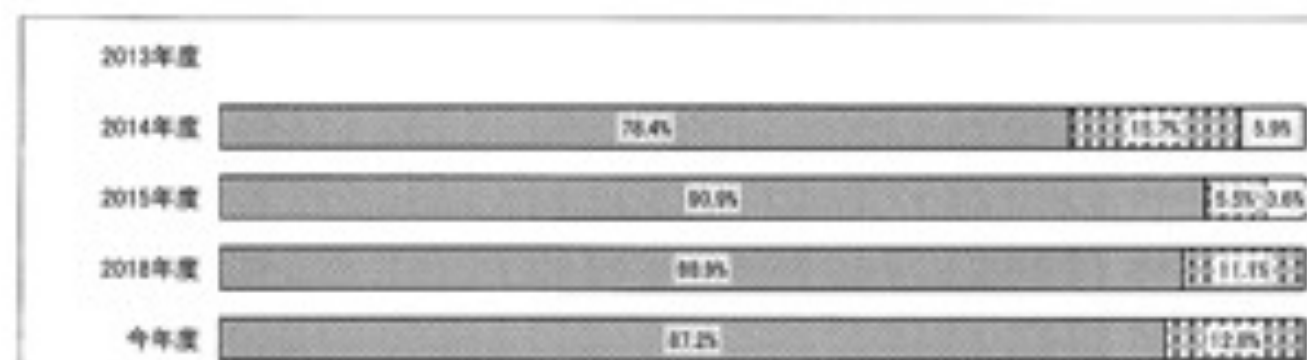
問10. 登園時に、子どもの家庭での様子について、園からの声かけはありますか



問11. お迎え時に、その日の子どもの状況が個別に伝えられていますか（担任以外からの伝達なども含む）

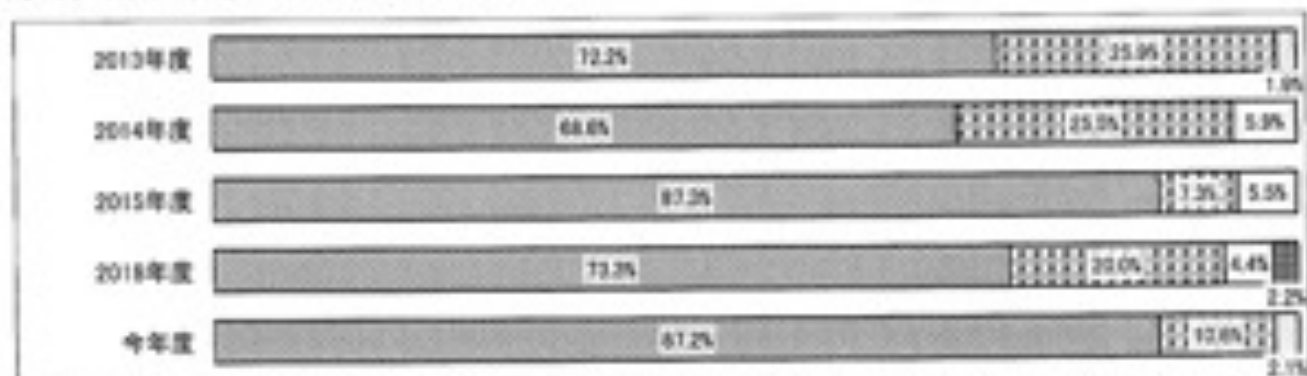


問12. 保育園内は清潔で整理、整頓された空間になっていると思いますか

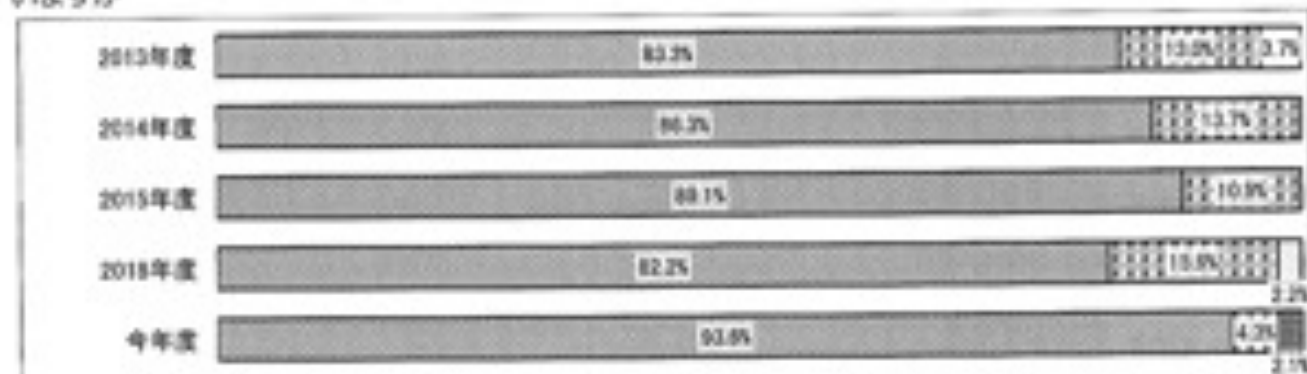


■ はい    ■ どちらともいえない    ■ いいえ    ■ 無回答/非該当

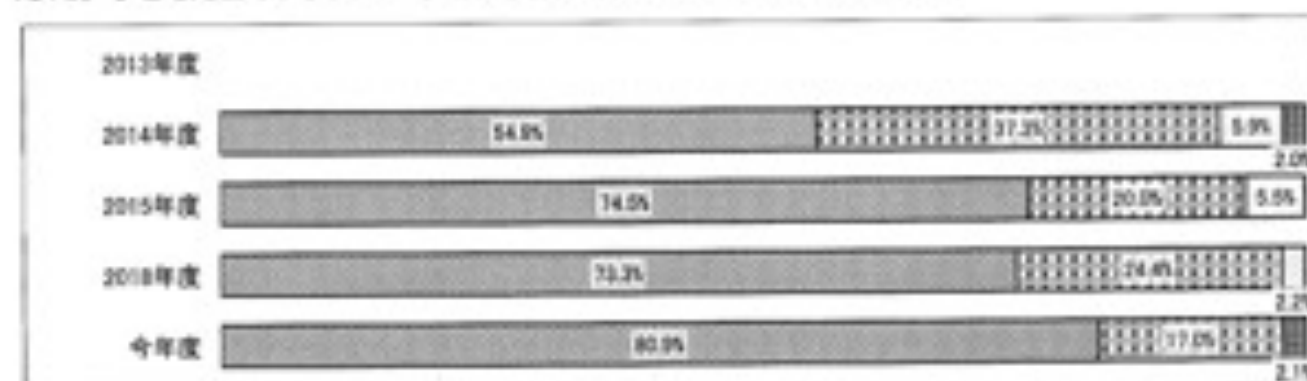
問13. 職員の接遇・態度は適切だと思いますか



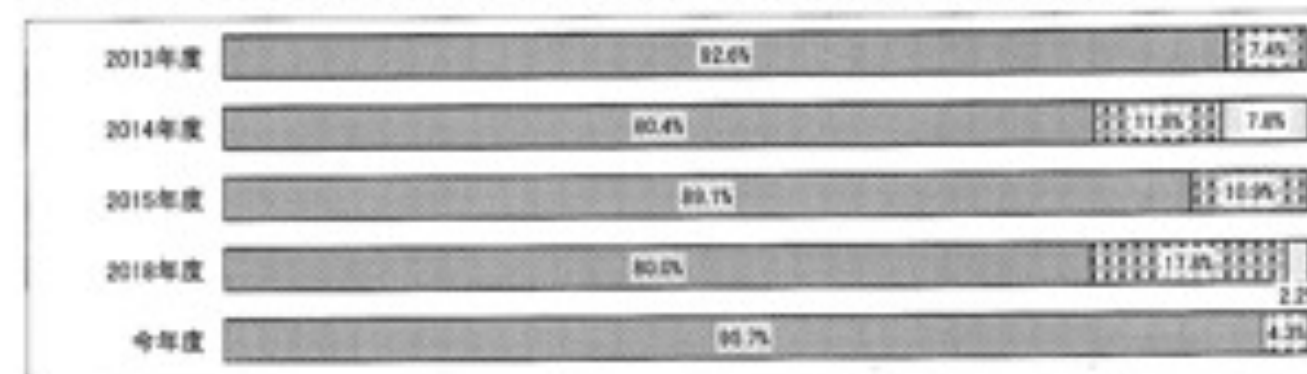
問14. 保育中の発熱やケガなど、子どもの体調変化への対応（処置・連絡など）は、十分されていると思いますか



問15. 子ども同士のトラブルがあった場合の職員の対応は、信頼できますか

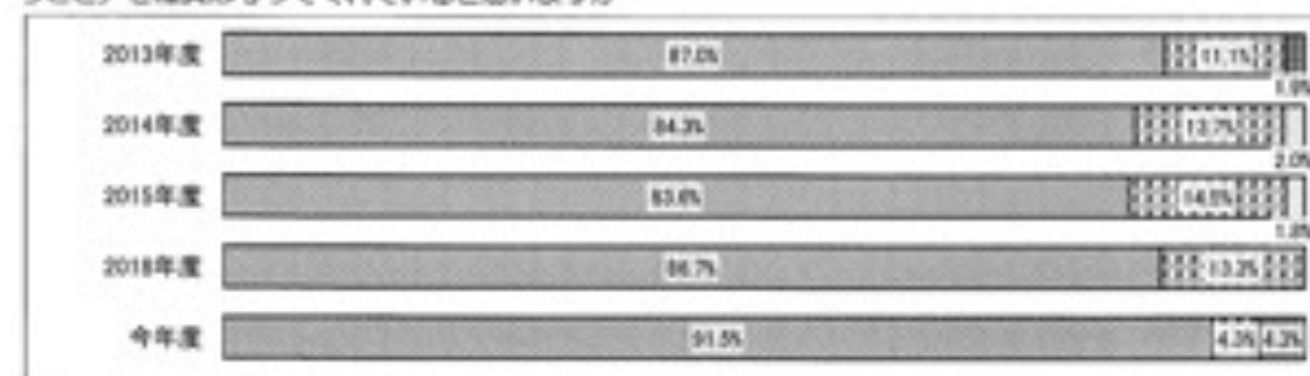


問16. あなたは、職員が子どもの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか

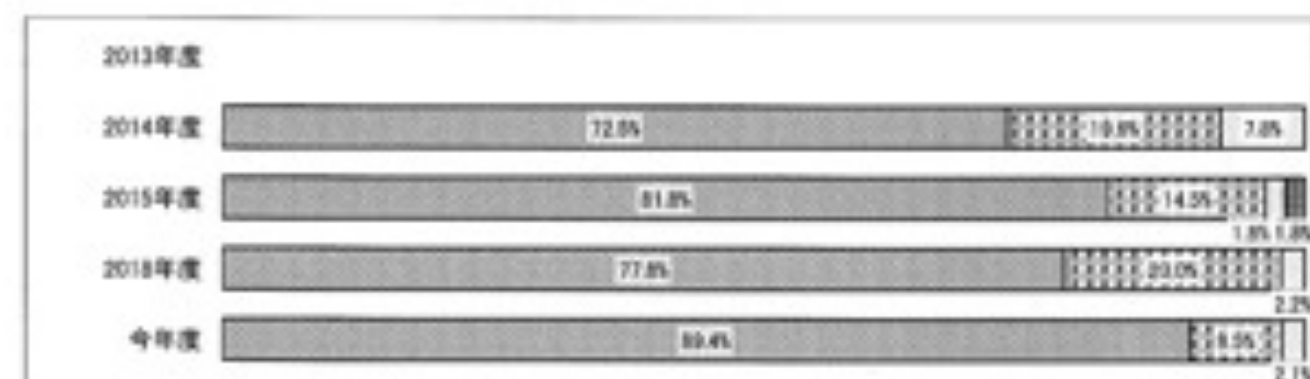


■ はい    ■ どちらともいえない    ■ いいえ    ■ 無回答/非該当

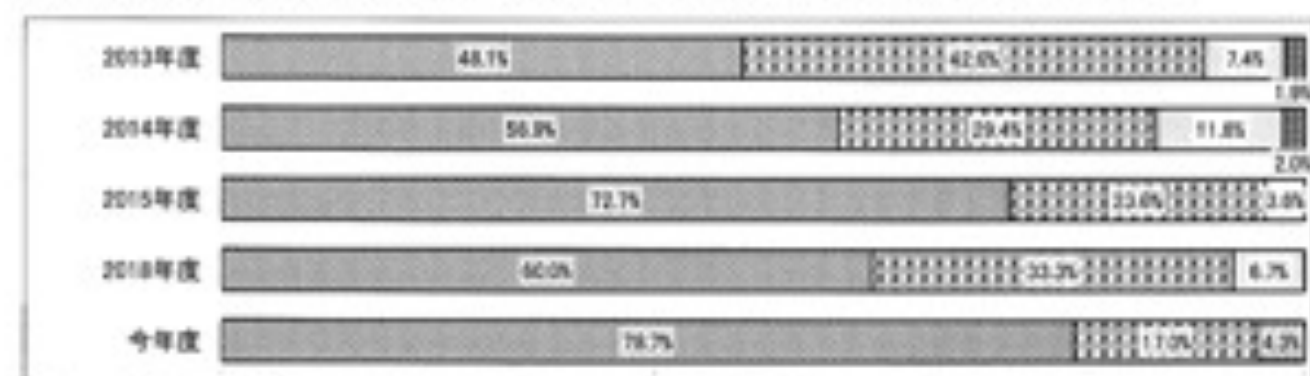
問17. あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか



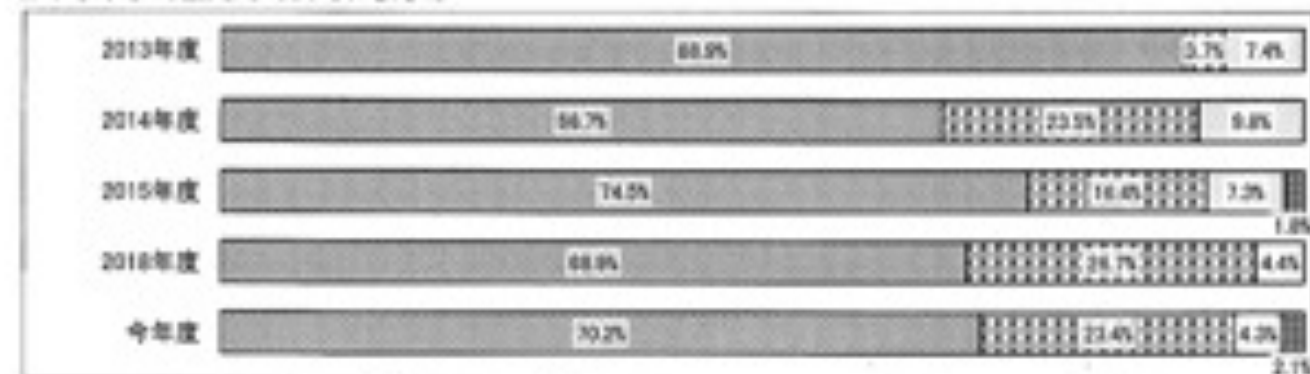
問18. 子どもの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか



問19. 保育園は、不満に思ったことや要望を伝えたとき、きちんと対応していると思いますか



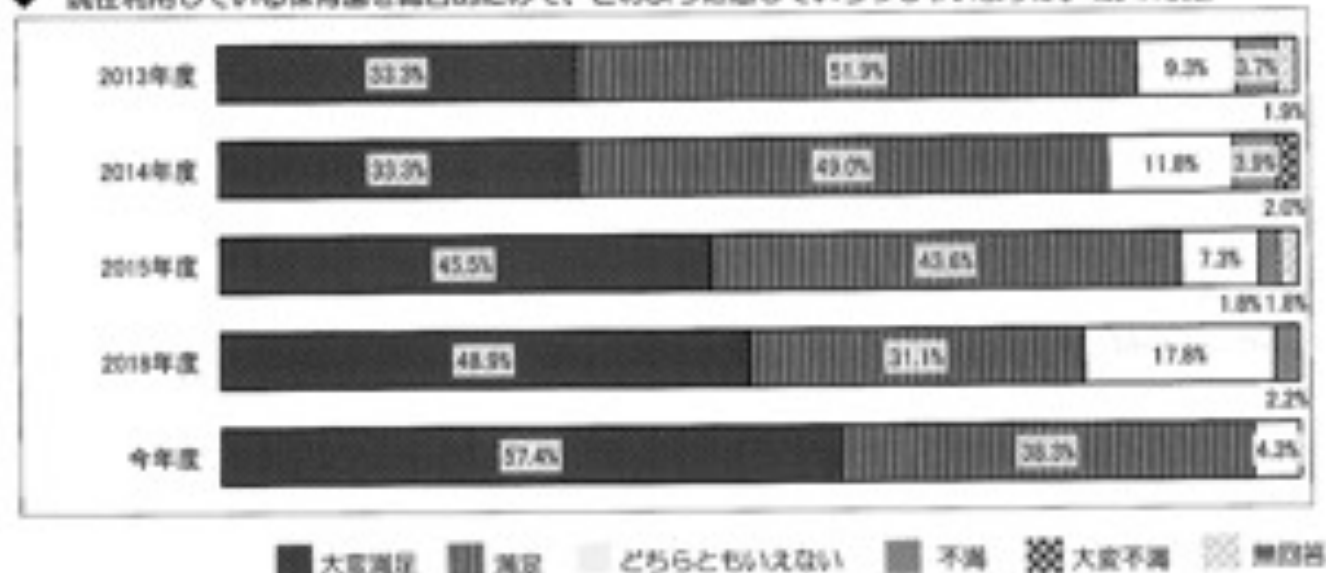
問20. 要望や不満があったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることを、園はわかりやすく伝えてくれていますか



■ はい    ▨ どちらともいえない    □ いいえ    ■ 無回答/非該当

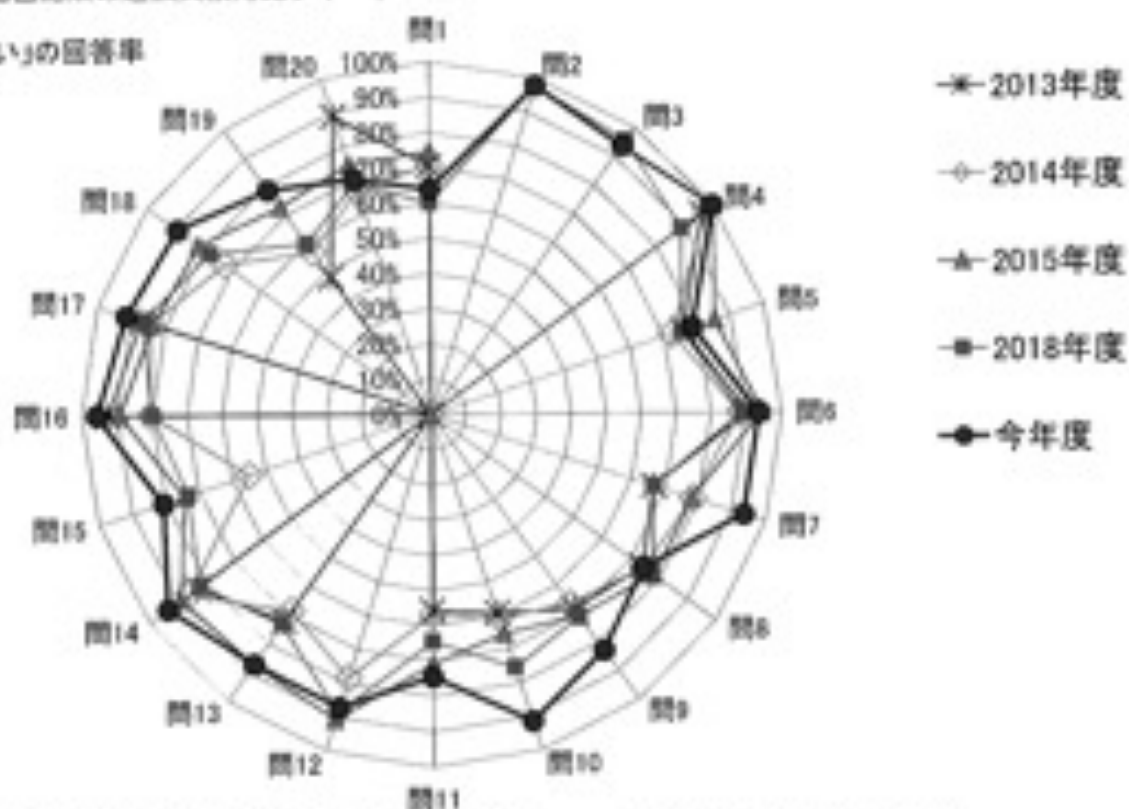


◆ 現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。(前年対比)



■ 設問毎回答結果の過去実績対比チャート

■ 「はい」の回答率



- 問1. 保育園運営の基本的な考え方(理念・方針)について  
 問2. 園での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか  
 問3. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるものか  
 問4. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか  
 問5. 遊びや行事などで、子どもが自然や社会と関わる機会が十分確保されているか  
 問6. 保育時間の変更について  
 問7. 安全対策について  
 問8. 行事日程の設定について  
 問9. 職員との連携関係について  
 問10. 登園時の声かけについて

- 問11. お迎え時の伝達について  
 問12. 施設内の清潔、整理整頓について  
 問13. 職員の対応について  
 問14. お子さんの体調変化への対応について  
 問15. 子ども用士のトラブルに関する対応について  
 問16. お子さんが保育園で大切にされているかについて  
 問17. プライバシー(秘密)について  
 問18. 保育内容に関する説明について  
 問19. 要望や不満などへの対応について  
 問20. 外部の各情報相談窓口について

2016年以前の利用者調査では問2と問3の設問がないため、チャートでの値が0%として表示されます。



### 3.職員自己評価結果



# 福祉サービス第三者評価 自己評価（職員）集計結果

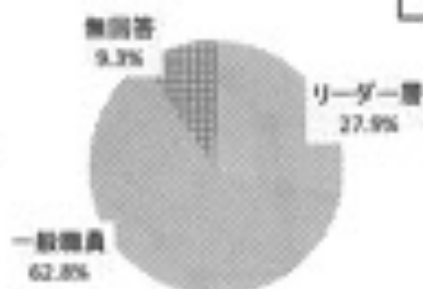
－ 認可保育所 －

かやの実保育園

実施期間	2021年5月31日～2021年6月14日	※6月22日到着分まで集計
職員数	43人	回収数 43人
		回収率 100.0%

## □回答者属性について

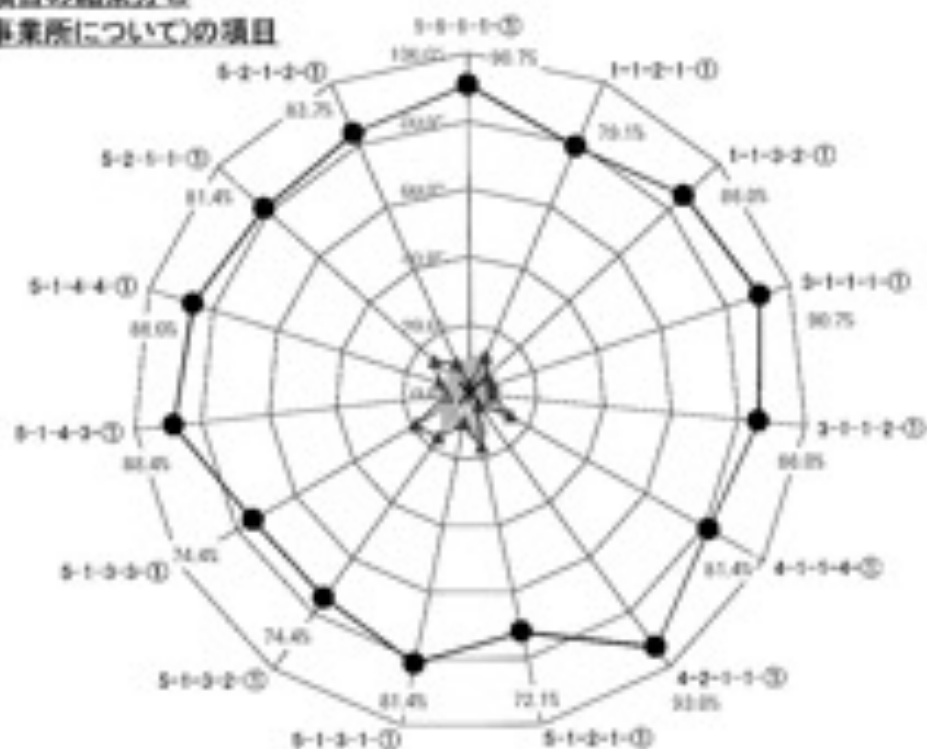
リーダー層	一般職員	無回答	合計
12	27	4	43 (単位:人)
27.9%	62.8%	9.3%	100.0%



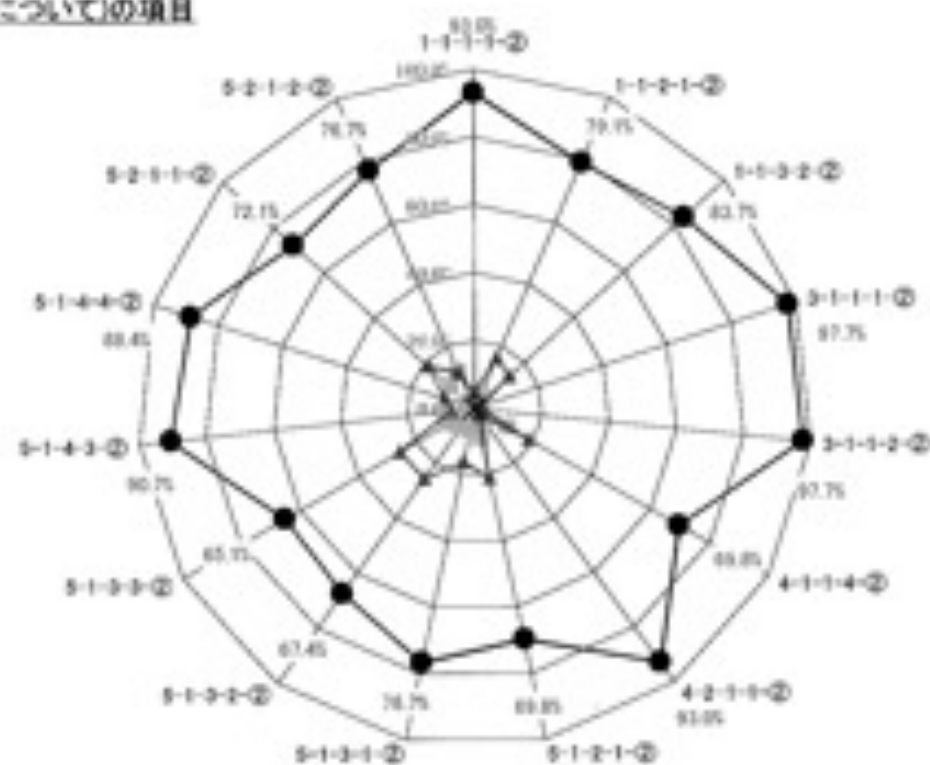
## □回答結果総括

### 組織マネジメント項目の結果分布

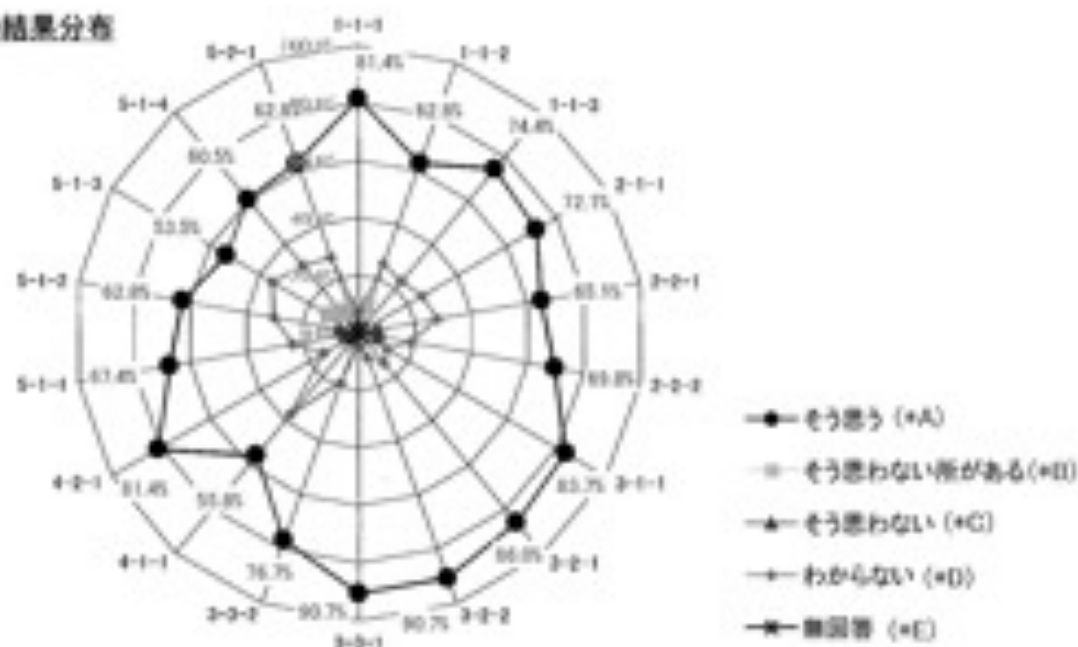
#### ①「事業所は...」(事業所についての項目)



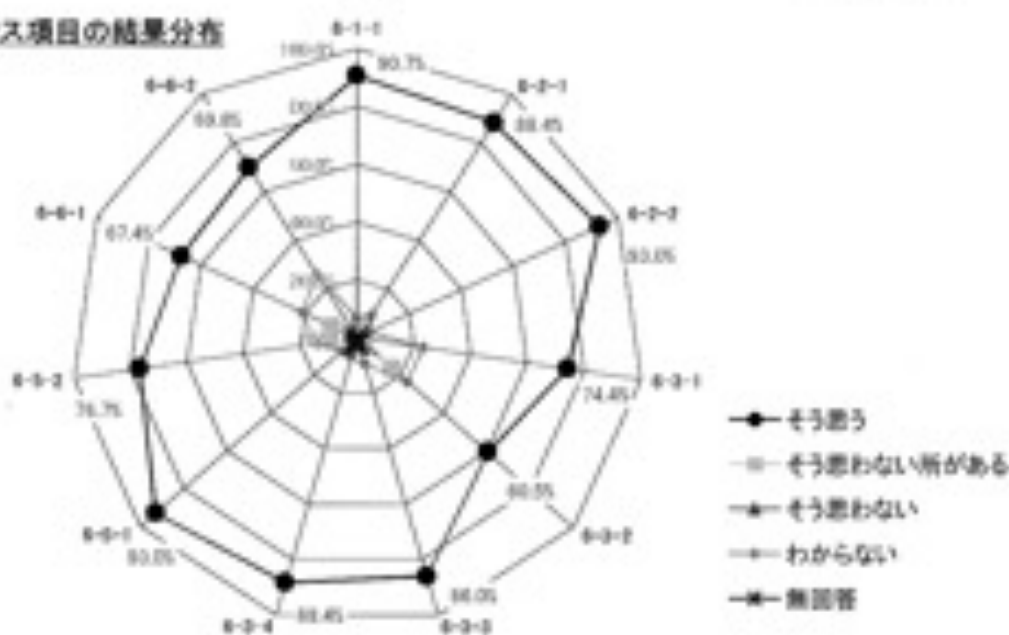
#### ②「私は...」(個人についての項目)



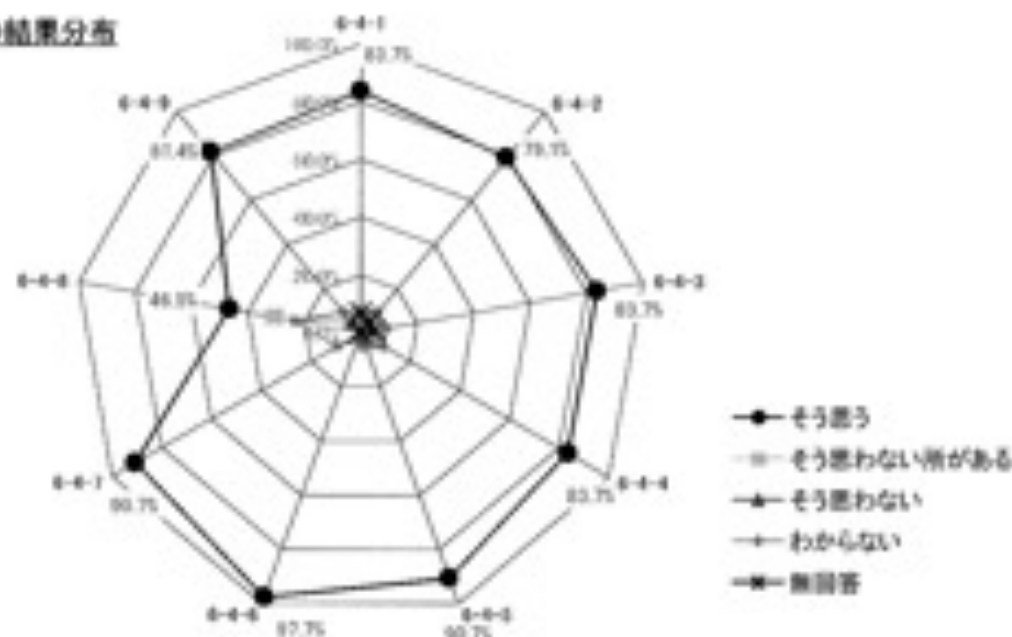
### 組織マネジメント項目の結果分布



### サービス提供のプロセス項目の結果分布



### サービスの実施項目の結果分布



\*A. 評価項目に付随した自己評価項目の全てが「そう思う」と回答された場合をAとして集計

\*B. 評価項目に付随した自己評価項目のうち、「そう思わない」の回答が一つでもあった場合をBとして集計

\*C. 評価項目に付随した自己評価項目の全てが「そう思わない」と回答された場合をCとして集計

\*D. 評価項目に付随した自己評価項目のうち、「わからない」が一つ以上ある場合をDとして集計

\*E. 評価項目に付随した自己評価項目のうち、無回答が一つ以上ある場合をEとして集計

例) 評価項目1-1-1の自己評価項目1-①、1-②、2全てが「そう思う」の場合は、Aの「そう思う」に集計

口質問別の回答数内訳表及び回答比率の比較表

1. 組織マネジメント項目

カテゴリ-1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリ-1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

1-1-1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している

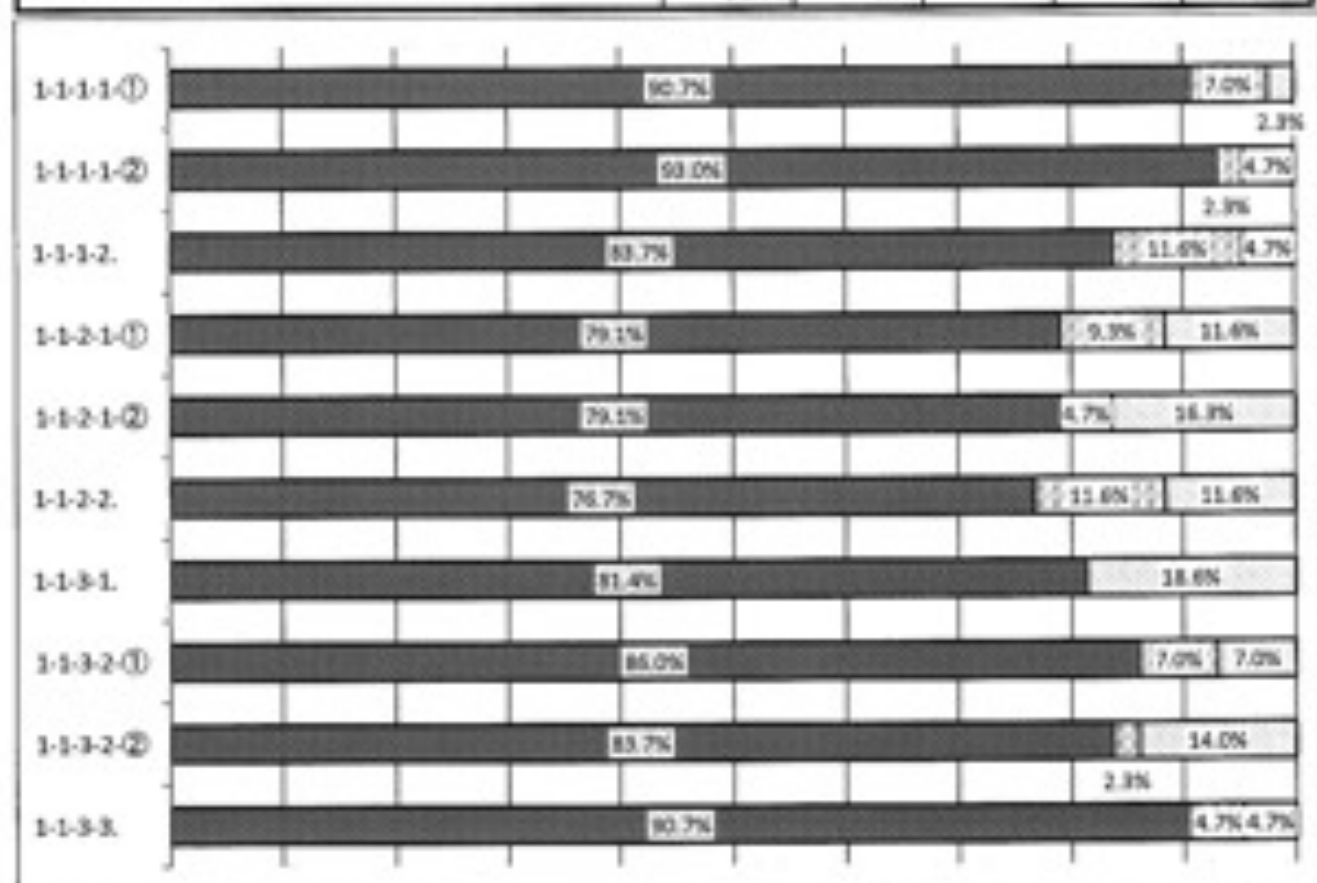
	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計	(単位:人)
1-1-1-1 ① 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員が理解が深まるような取り組みを行っている	39	3	1	0	43	
	90.7%	7.0%	2.3%	0.0%	100.0%	
1-1-1-1 ② 私は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を理解できている	40	1	2	0	43	
	93.0%	2.3%	4.7%	0.0%	100.0%	
2. 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	36	5	2	0	43	
	83.7%	11.6%	4.7%	0.0%	100.0%	

1-1-2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

1-1-2-1 ① 事業所では、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任を職員に込めている	34	4	5	0	43	
	79.1%	9.3%	11.6%	0.0%	100.0%	
1-1-2-1 ② 私は、経営層の役割と責任を理解できている	34	2	7	0	43	
	79.1%	4.7%	16.3%	0.0%	100.0%	
2. 事業所では、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	33	5	5	0	43	
	76.7%	11.6%	11.6%	0.0%	100.0%	

1-1-3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

1. 事業所では、重要な案件の検討や決定の手段があらかじめ決まっている	35	0	8	0	43	
	81.4%	0.0%	18.6%	0.0%	100.0%	
2-1 ① 事業所では、経営層が重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	37	3	3	0	43	
	86.0%	7.0%	7.0%	0.0%	100.0%	
2-1 ② 私は、経営層から、重要な意思決定に関して、その内容と決定経緯を知られている	36	1	6	0	43	
	83.7%	2.3%	14.0%	0.0%	100.0%	
3. 事業所では、利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	39	2	2	0	43	
	90.7%	4.7%	4.7%	0.0%	100.0%	



■ そう思う □ そう思わない □ わからない ▨ 無回答

カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

2-1-1. 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計	(単位:人)
1. 事業所は、利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	39	1	3	0	43	
	90.7%	2.3%	7.0%	0.0%	100.0%	
2. 事業所は、事業所運営に対する職員意向を把握・検討している	35	3	5	0	43	
	81.4%	7.0%	11.6%	0.0%	100.0%	
3. 事業所は、地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	38	2	3	0	43	
	88.4%	4.7%	7.0%	0.0%	100.0%	
4. 事業所は、福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	39	2	2	0	43	
	90.7%	4.7%	4.7%	0.0%	100.0%	
5. 事業所は、事業所の経営状況を把握・検討している	40	0	3	0	43	
	93.0%	0.0%	7.0%	0.0%	100.0%	
6. 事業所は、把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	35	3	5	0	43	
	81.4%	7.0%	11.6%	0.0%	100.0%	

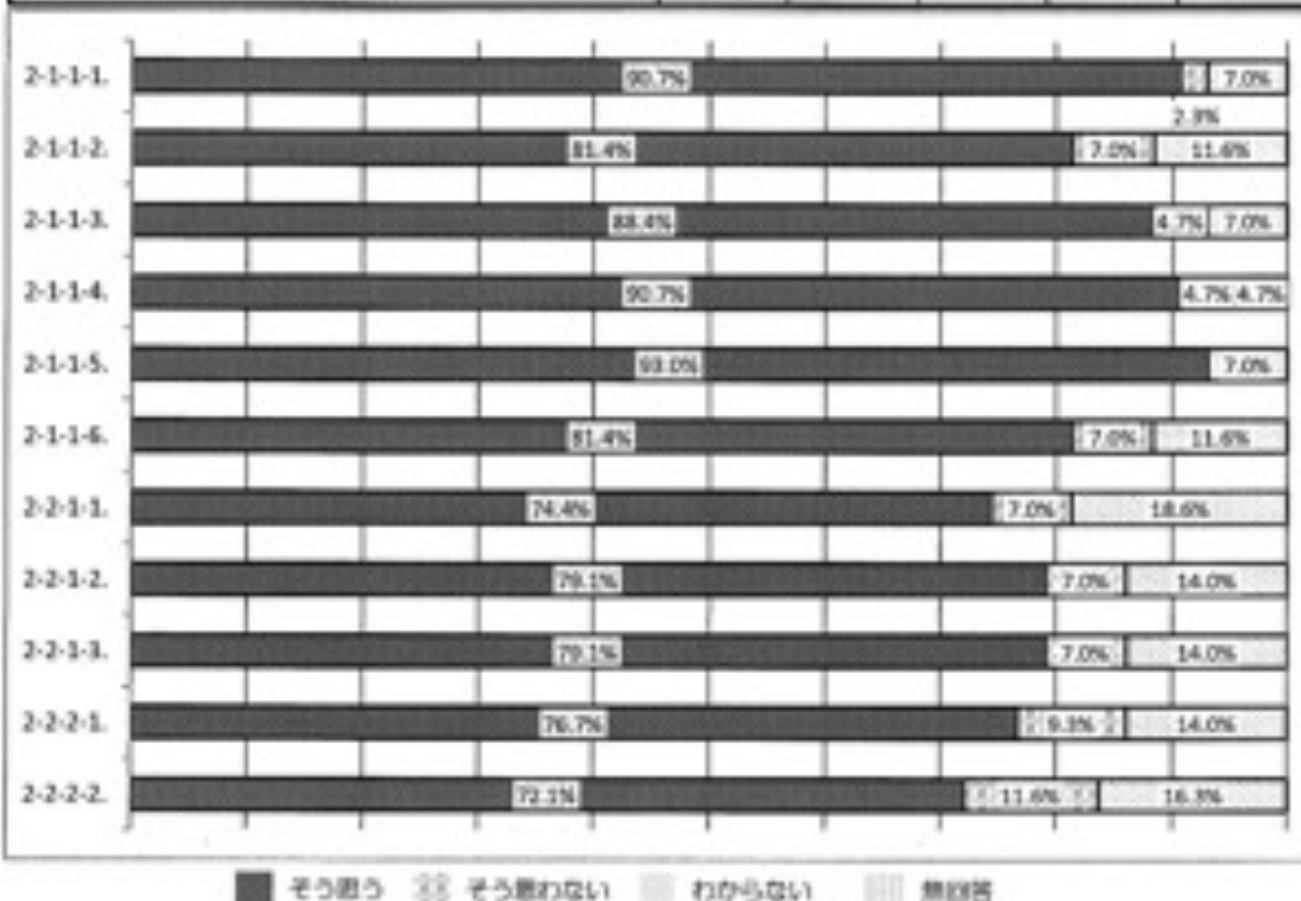
サブカテゴリー2 実践的な計画策定に取り組んでいる

2-2-1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計	(単位:人)
1. 事業所は、課題をふまえて、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	32	3	8	0	43	
	74.4%	7.0%	18.6%	0.0%	100.0%	
2. 事業所は、中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	34	3	6	0	43	
	79.1%	7.0%	14.0%	0.0%	100.0%	
3. 事業所は、策定している計画に合わせて予算編成を行っている	34	3	6	0	43	
	79.1%	7.0%	14.0%	0.0%	100.0%	

2-2-2. 着実な計画の実行に取り組んでいる

1. 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを定める指標を明示している	33	4	6	0	43
	76.7%	9.3%	14.0%	0.0%	100.0%
2. 事業所は、計画推進にあたり、進捗状況を検証し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	31	5	7	0	43
	72.1%	11.6%	16.3%	0.0%	100.0%



■ そう思う □□ そう思わない □□□□ わからない □□□□□□ 無回答



### カテゴリー3 経営における社会的責任

#### サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

##### 3-1-1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計	(単位:人)
1-① 事業所は、全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	39	1	3	0	43	
	90.7%	2.3%	7.0%	0.0%	100.0%	
1-② 私は、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを理解できている	42	0	1	0	43	
	97.7%	0.0%	2.3%	0.0%	100.0%	
2-① 事業所は、全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している	37	3	3	0	43	
	86.0%	7.0%	7.0%	0.0%	100.0%	
2-② 私は、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを遵守している	42	0	1	0	43	
	97.7%	0.0%	2.3%	0.0%	100.0%	

#### サブカテゴリー2 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

##### 3-2-1. 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計	(単位:人)
1. 事業所は、苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を迅速に利用できることを、利用者に応えている	39	1	3	0	43	
	90.7%	2.3%	7.0%	0.0%	100.0%	
2. 事業所には、利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	39	0	4	0	43	
	90.7%	0.0%	9.3%	0.0%	100.0%	

##### 3-2-2. 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

1. 事業所は、利用者の気持ちを傷つけるような職員の間違った言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	42	0	1	0	43	
	97.7%	0.0%	2.3%	0.0%	100.0%	
2. 事業所は、虐待を受けている疑いのある利用者の保護を確保したときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	40	0	3	0	43	
	93.0%	0.0%	7.0%	0.0%	100.0%	

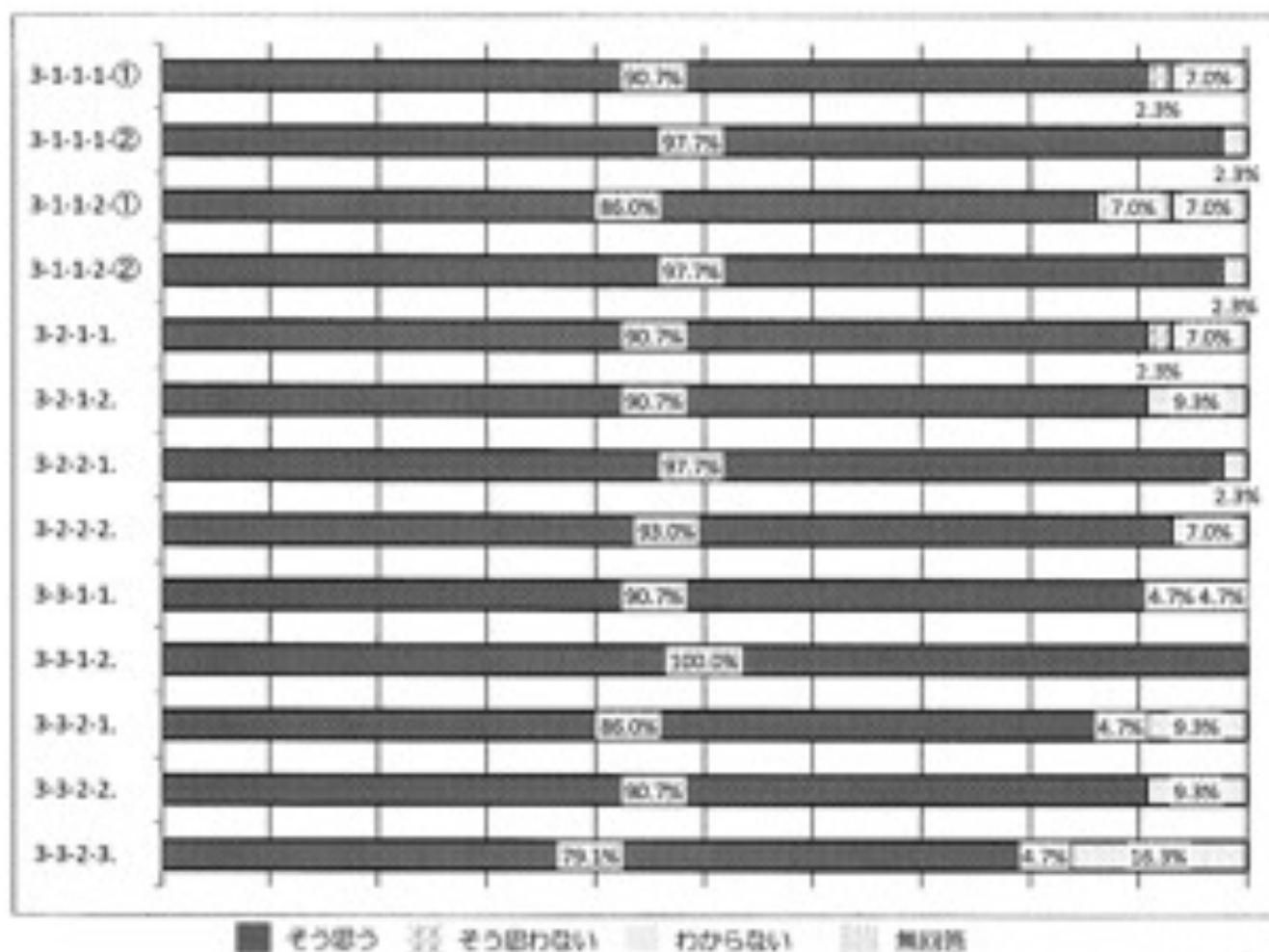
#### サブカテゴリー3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

##### 3-3-1. 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計	(単位:人)
1. 事業所は、透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	39	2	2	0	43	
	90.7%	4.7%	4.7%	0.0%	100.0%	
2. 事業所は、ボランティア、実習生及び見学・保護する小中学生などの受け入れ体制を整えている	43	0	0	0	43	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

##### 3-3-2. 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

1. 事業所は、地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	37	2	4	0	43	
	86.0%	4.7%	9.3%	0.0%	100.0%	
2. 事業所は、事業所が地域の一角としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参加している	39	0	4	0	43	
	90.7%	0.0%	9.3%	0.0%	100.0%	
3. 事業所は、地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	34	2	7	0	43	
	79.1%	4.7%	16.2%	0.0%	100.0%	



## カテゴリー4 リスクマネジメント

### サブカテゴリー1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

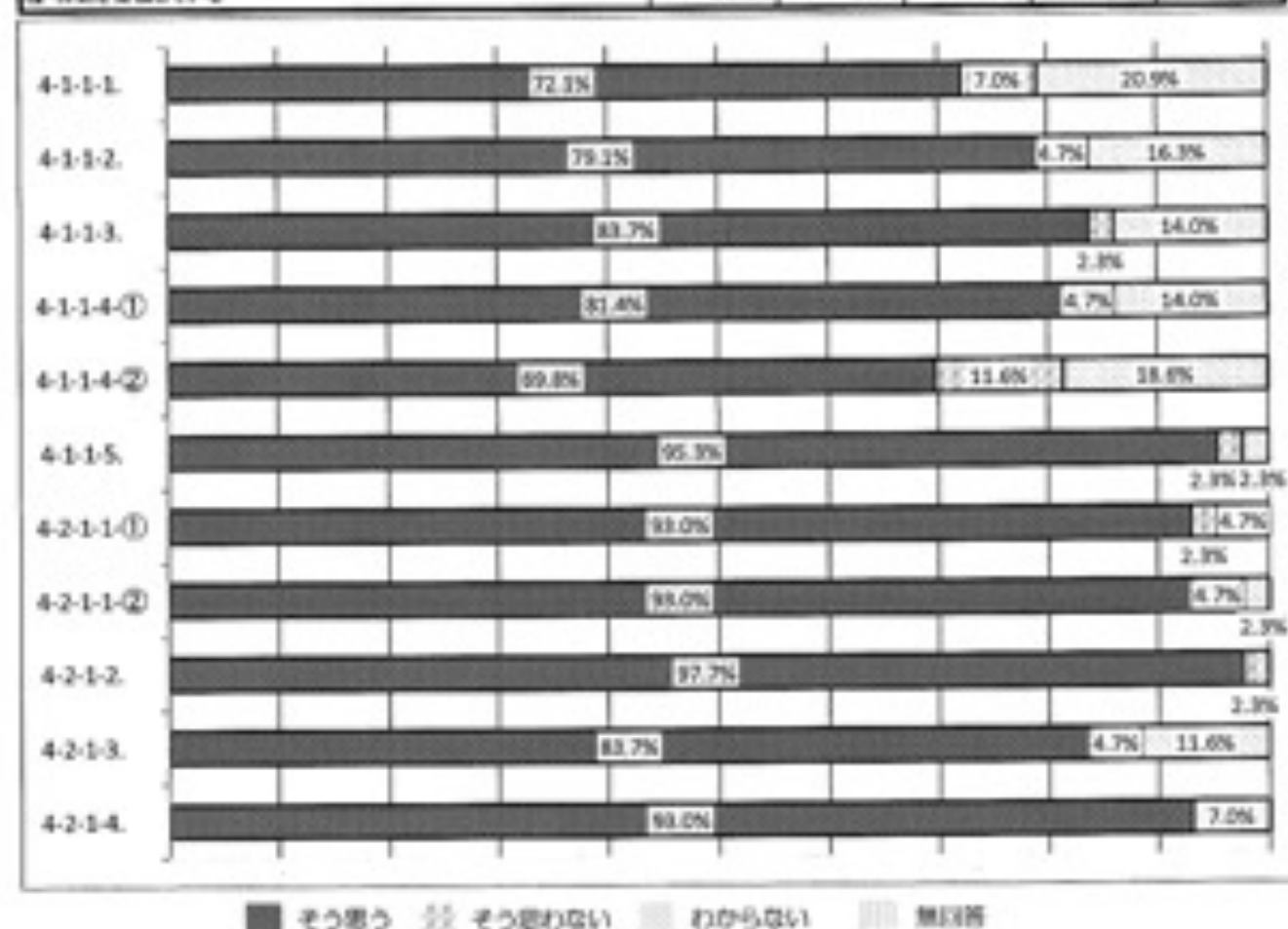
#### 4-1-1. 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計	(単位:人)
1. 事業所は、事業所が目指していることの達成を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	31	3	9	0	43	
	72.1%	7.0%	20.9%	0.0%	100.0%	
2. 事業所は、優先順位の高低に応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	34	2	7	0	43	
	79.1%	4.7%	16.3%	0.0%	100.0%	
3. 事業所は、災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	36	1	6	0	43	
	83.7%	2.3%	14.0%	0.0%	100.0%	
4-①. 事業所は、リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	35	2	6	0	43	
	81.4%	4.7%	14.0%	0.0%	100.0%	
4-②. 私は、リスクに対する必要な対策や事業継続計画について理解できており、自分の役割に応じて対応できる	30	5	8	0	43	
	69.8%	11.6%	18.6%	0.0%	100.0%	
5. 事業所は、事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、原因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	41	1	1	0	43	
	95.3%	2.3%	2.3%	0.0%	100.0%	

#### サブカテゴリー2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

#### 4-2-1. 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計	(単位:人)
1-①. 事業所は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	40	1	2	0	43	
	93.0%	2.3%	4.7%	0.0%	100.0%	
1-②. 私は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを理解し遵守している	40	2	1	0	43	
	93.0%	4.7%	2.3%	0.0%	100.0%	
2. 事業所は、収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	42	1	0	0	43	
	97.7%	2.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
3. 事業所は、情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	36	2	5	0	43	
	83.7%	4.7%	11.6%	0.0%	100.0%	
4. 事業所は、事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	40	0	3	0	43	
	93.0%	0.0%	7.0%	0.0%	100.0%	



■ そう思う    □ そう思わない    □ わからない    ▨ 無回答

## カテゴリー5 職員と組織の能力向上

### サブカテゴリー1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

#### 5-1-1. 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 事業所は、事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	32 74.4%	3 7.0%	8 18.6%	0 0.0%	43 100.0%
2. 事業所は、事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や待遇の人材構成を見直し実施や配置に取り組んでいる	35 81.4%	4 9.3%	4 9.3%	0 0.0%	43 100.0%

#### 5-1-2. 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

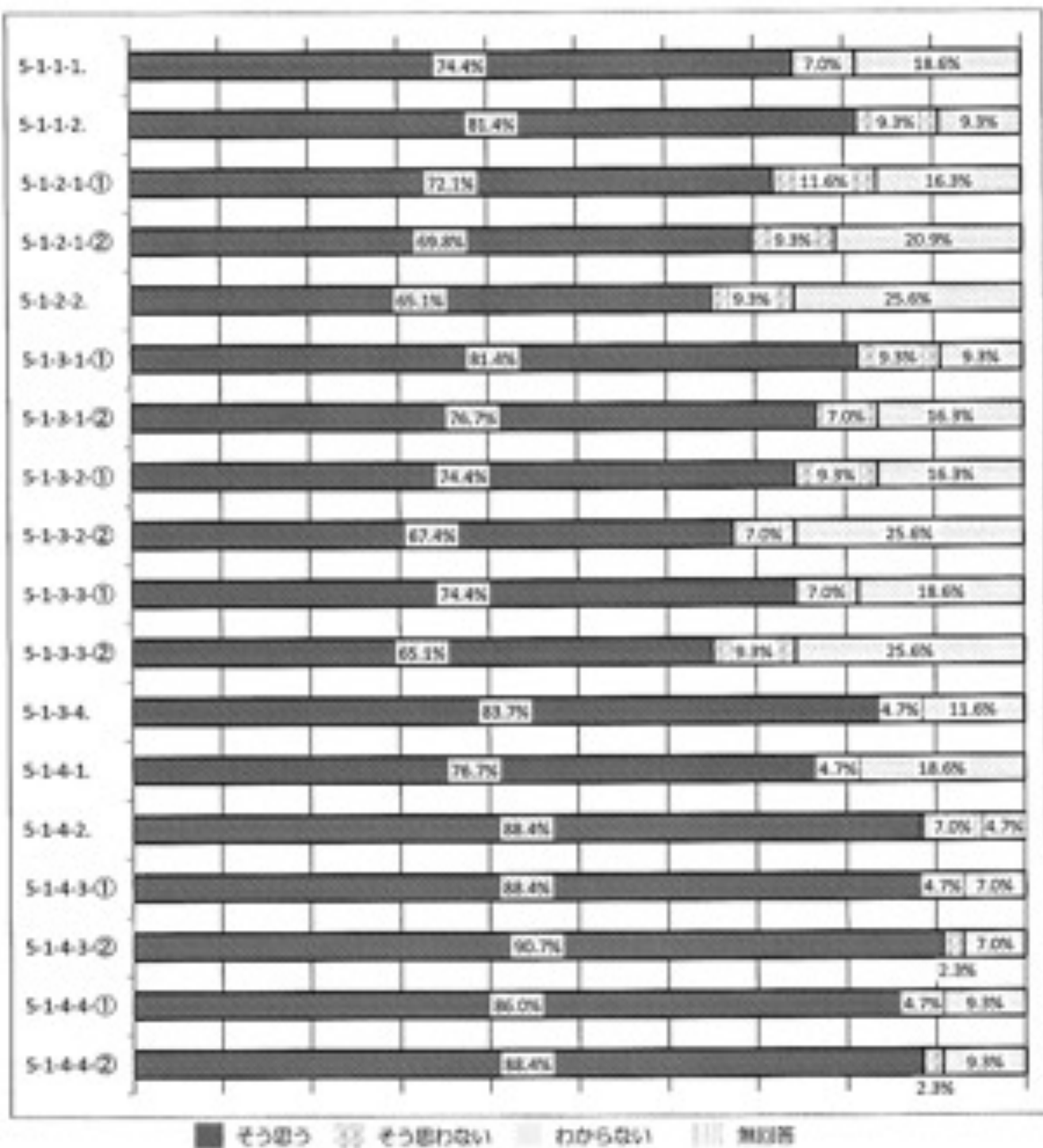
1-①. 事業所では、事業所が求める職員または職種内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	31 72.1%	5 11.6%	7 16.3%	0 0.0%	43 100.0%
1-②. 私は、事業所が求める職員または職種内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)を理解できている	30 69.8%	4 9.3%	9 20.9%	0 0.0%	43 100.0%
2. 事業所は、事業所が求める職員または職種内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	28 65.1%	4 9.3%	11 25.6%	0 0.0%	43 100.0%

#### 5-1-3. 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

1-①. 事業所は、職種内容に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	35 81.4%	4 9.3%	4 9.3%	0 0.0%	43 100.0%
1-②. 私には、事業所から様々な研修等の機会が与えられている	33 76.7%	3 7.0%	7 16.3%	0 0.0%	43 100.0%
2-①. 事業所は、職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	32 74.4%	4 9.3%	7 16.3%	0 0.0%	43 100.0%
2-②. 私の育成(研修)計画は、私の意向や経験等に基づいて策定されている	29 67.4%	3 7.0%	11 25.6%	0 0.0%	43 100.0%
3-①. 事業所は、職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	32 74.4%	3 7.0%	8 18.6%	0 0.0%	43 100.0%
3-②. 私の育成(研修)計画には、事業所が私の育成の成果を確認した内容が反映されている	28 65.1%	4 9.3%	11 25.6%	0 0.0%	43 100.0%
4. 事業所では、指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう継続的に支援を行っている	36 83.7%	2 4.7%	5 11.6%	0 0.0%	43 100.0%

#### 5-1-4. 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

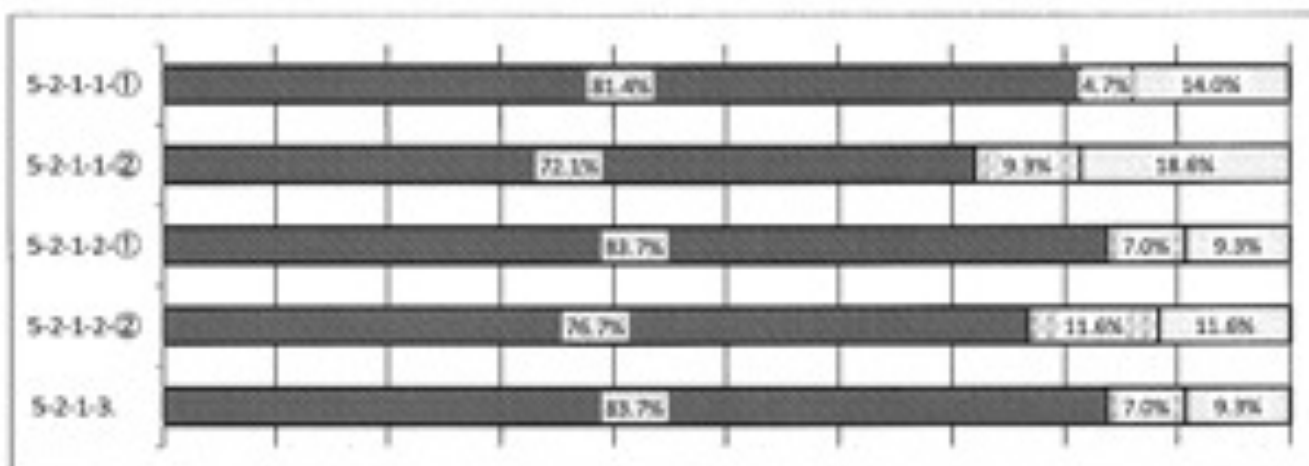
1. 事業所は、事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)-待遇などを連動させている	33 76.7%	2 4.7%	8 18.6%	0 0.0%	43 100.0%
2. 事業所は、就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	38 88.4%	3 7.0%	2 4.7%	0 0.0%	43 100.0%
3-①. 事業所は、職員の意欲を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	38 88.4%	2 4.7%	3 7.0%	0 0.0%	43 100.0%
3-②. 私はこの事業所の仕事について、意欲と働きがいを持つことができている	39 90.7%	1 2.3%	3 7.0%	0 0.0%	43 100.0%
4-①. 事業所は、職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	37 86.0%	2 4.7%	4 9.3%	0 0.0%	43 100.0%
4-②. 私の職場では、良好な人間関係が構築されている	38 88.4%	1 2.3%	4 9.3%	0 0.0%	43 100.0%



サブカテゴリ2 組織力の向上に取り組んでいる

5-2-1. 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計	(単位:人)
1-①. 事業所は、職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	35	2	6	0	43	
	81.4%	4.7%	14.0%	0.0%	100.0%	
1-②. 私が学んだ研修内容は、レポートや発表等で報告し、職員間で共有化している	31	4	8	0	43	
	72.1%	9.3%	18.6%	0.0%	100.0%	
2-①. 事業所は、職員一人ひとりの目標の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	36	3	4	0	43	
	83.7%	7.0%	9.3%	0.0%	100.0%	
2-②. 私の目標の気づきや工夫について、他の職員と互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす機会がある	33	5	5	0	43	
	76.7%	11.6%	11.6%	0.0%	100.0%	
3. 事業所は、目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進めよう取り組んでいる	36	3	4	0	43	
	83.7%	7.0%	9.3%	0.0%	100.0%	



■ そう思う    ▨ そう思わない    □ わからない    ▩ 無回答

## カテゴリ6 サービス提供のプロセス

### サブカテゴリ1 サービス情報の提供

#### 6-1-1. 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計	(単位:人)
1. 利用希望者等が入手できる状態で、事業所の情報を提供している	39	1	3	0	43	
	90.7%	2.3%	7.0%	0.0%	100.0%	
2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものとしている	39	1	3	0	43	
	90.7%	2.3%	7.0%	0.0%	100.0%	
3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	41	0	2	0	43	
	95.3%	0.0%	4.7%	0.0%	100.0%	
4. 利用希望者等の問い合わせや見学の実態があった場合には、個別の状況に応じて対応している	43	0	0	0	43	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	



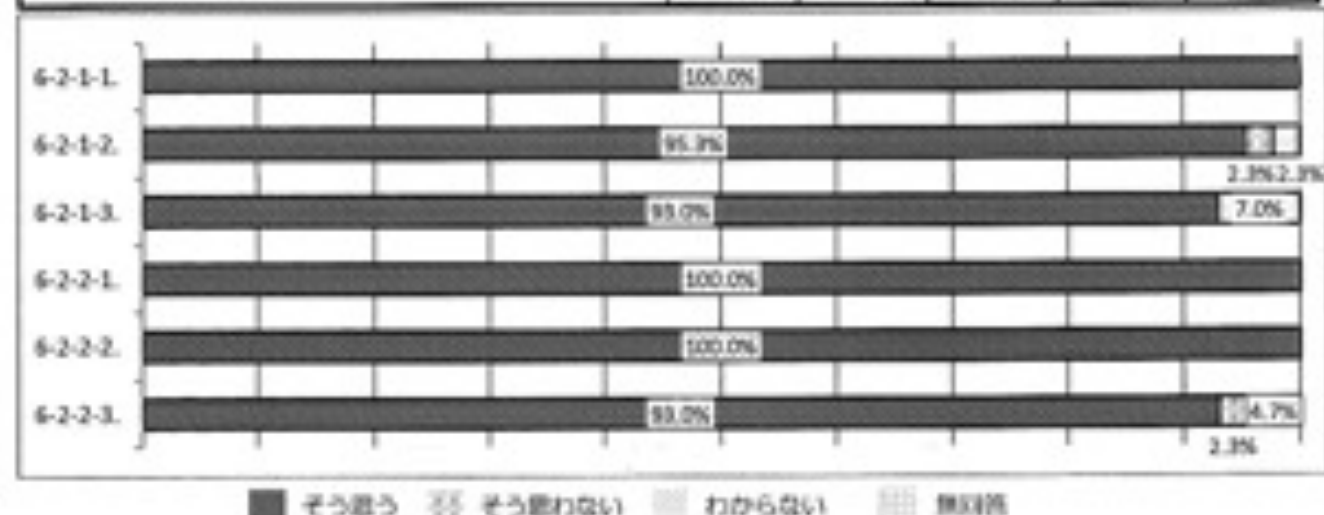
### サブカテゴリ2 サービスの開始・終了時の対応

#### 6-2-1. サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計	(単位:人)
1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	43	0	0	0	43	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	41	1	1	0	43	
	95.3%	2.3%	2.3%	0.0%	100.0%	
3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	40	0	3	0	43	
	93.0%	0.0%	7.0%	0.0%	100.0%	

#### 6-2-2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、参照している	43	0	0	0	43	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	43	0	0	0	43	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	40	1	2	0	43	
	93.0%	2.3%	4.7%	0.0%	100.0%	



### サブカテゴリ3 個別状況の記録と計画策定

6-3-1. 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計	(単位:人)
1. 子どもの心身状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって記録し把握している	42	1	0	0	43	
	97.7%	2.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	41	0	2	0	43	
	95.3%	0.0%	4.7%	0.0%	100.0%	
3. アセスメントの定期的実施の頻度と手順を定めている	32	1	10	0	43	
	74.4%	2.3%	23.3%	0.0%	100.0%	

6-3-2. 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

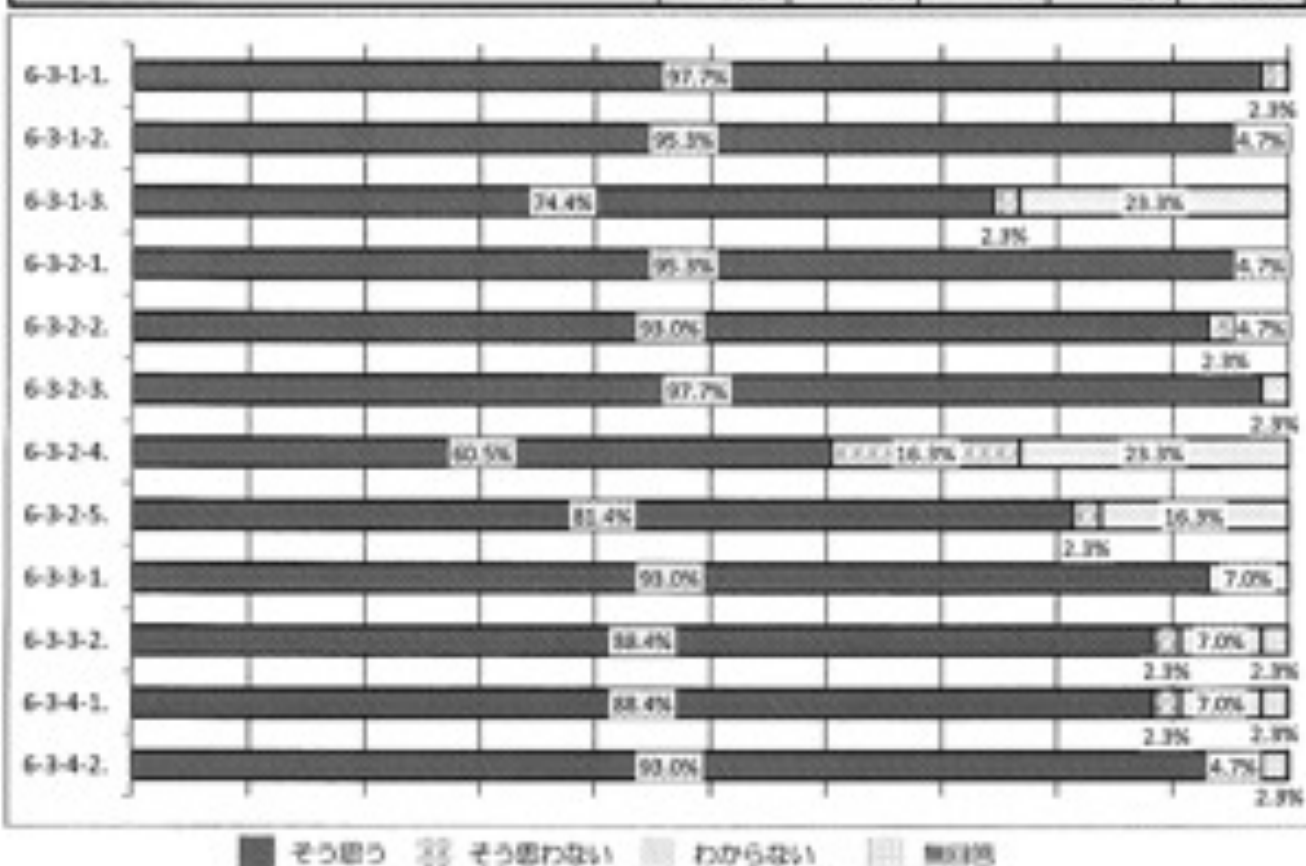
1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、個々の生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	41	0	2	0	43
	95.3%	0.0%	4.7%	0.0%	100.0%
2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に応じて、作成、見直しをしている	40	1	2	0	43
	93.0%	2.3%	4.7%	0.0%	100.0%
3. 個別の計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別の計画の作成、見直しをしている	42	0	1	0	43
	97.7%	0.0%	2.3%	0.0%	100.0%
4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	26	7	10	0	43
	60.5%	16.3%	23.3%	0.0%	100.0%
5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	35	1	7	0	43
	81.4%	2.3%	16.3%	0.0%	100.0%

6-3-3. 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記録するしくみがある	40	0	3	0	43
	93.0%	0.0%	7.0%	0.0%	100.0%
2. 指導計画に合った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	38	1	3	1	43
	88.4%	2.3%	7.0%	2.3%	100.0%

6-3-4. 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

1. 指導計画の内容や個人記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	38	1	3	1	43
	88.4%	2.3%	7.0%	2.3%	100.0%
2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	40	0	2	1	43
	93.0%	0.0%	4.7%	2.3%	100.0%





## サブカテゴリー4 サービスの実施

## 6-4-1. 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握し工夫して保育を行っている	41	0	0	2	43
	95.3%	0.0%	0.0%	4.7%	100.0%
2. 子どもが主体的に園内の人・もの・ことに興味や関心をもち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	41	0	0	2	43
	95.3%	0.0%	0.0%	4.7%	100.0%
3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	40	0	1	2	43
	93.0%	0.0%	2.3%	4.7%	100.0%
4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	40	0	1	2	43
	93.0%	0.0%	2.3%	4.7%	100.0%
5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	41	0	0	2	43
	95.3%	0.0%	0.0%	4.7%	100.0%
6. 【5歳児の定員を抜けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	37	1	2	3	43
	86.0%	2.3%	4.7%	7.0%	100.0%

## 6-4-2. 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	40	0	1	2	43
	93.0%	0.0%	2.3%	4.7%	100.0%
2. 発達の状態に応じ、食事・寝せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につけよう援助している	41	0	0	2	43
	95.3%	0.0%	0.0%	4.7%	100.0%
3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間等は子どもの状況に配慮している	39	0	2	2	43
	90.7%	0.0%	4.7%	4.7%	100.0%
4. 帰園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	35	4	2	2	43
	81.4%	9.3%	4.7%	4.7%	100.0%

## 6-4-3. 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

1. 子どもの自主性、自覚性を尊重し、遊びにめる時間と空間の配慮をしている	41	0	0	2	43
	95.3%	0.0%	0.0%	4.7%	100.0%
2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	38	1	2	2	43
	88.4%	2.3%	4.7%	4.7%	100.0%
3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感受性を養えるよう配慮している	39	0	2	2	43
	90.7%	0.0%	4.7%	4.7%	100.0%
4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	39	2	0	2	43
	90.7%	4.7%	0.0%	4.7%	100.0%
5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	39	0	2	2	43
	90.7%	0.0%	4.7%	4.7%	100.0%
6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	40	0	1	2	43
	93.0%	0.0%	2.3%	4.7%	100.0%

## 6-4-4. 日常の保育に変化と関わりを持たせるよう、行事等を実施している

1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心をもち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	39	3	1	0	43
	90.7%	7.0%	2.3%	0.0%	100.0%
2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	40	1	2	0	43
	93.0%	2.3%	4.7%	0.0%	100.0%
3. 子どもが主体的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	40	1	2	0	43
	93.0%	2.3%	4.7%	0.0%	100.0%

## 6-4-5. 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	39	2	2	0	43
	90.7%	4.7%	4.7%	0.0%	100.0%
2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	41	0	2	0	43
	95.3%	0.0%	4.7%	0.0%	100.0%

## 6-4-6. 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような音響・光環境に配慮している	43	0	0	0	43
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	43	0	0	0	43
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	42	0	1	0	43
	97.7%	0.0%	2.3%	0.0%	100.0%
4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	43	0	0	0	43
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## 6-4-7. 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

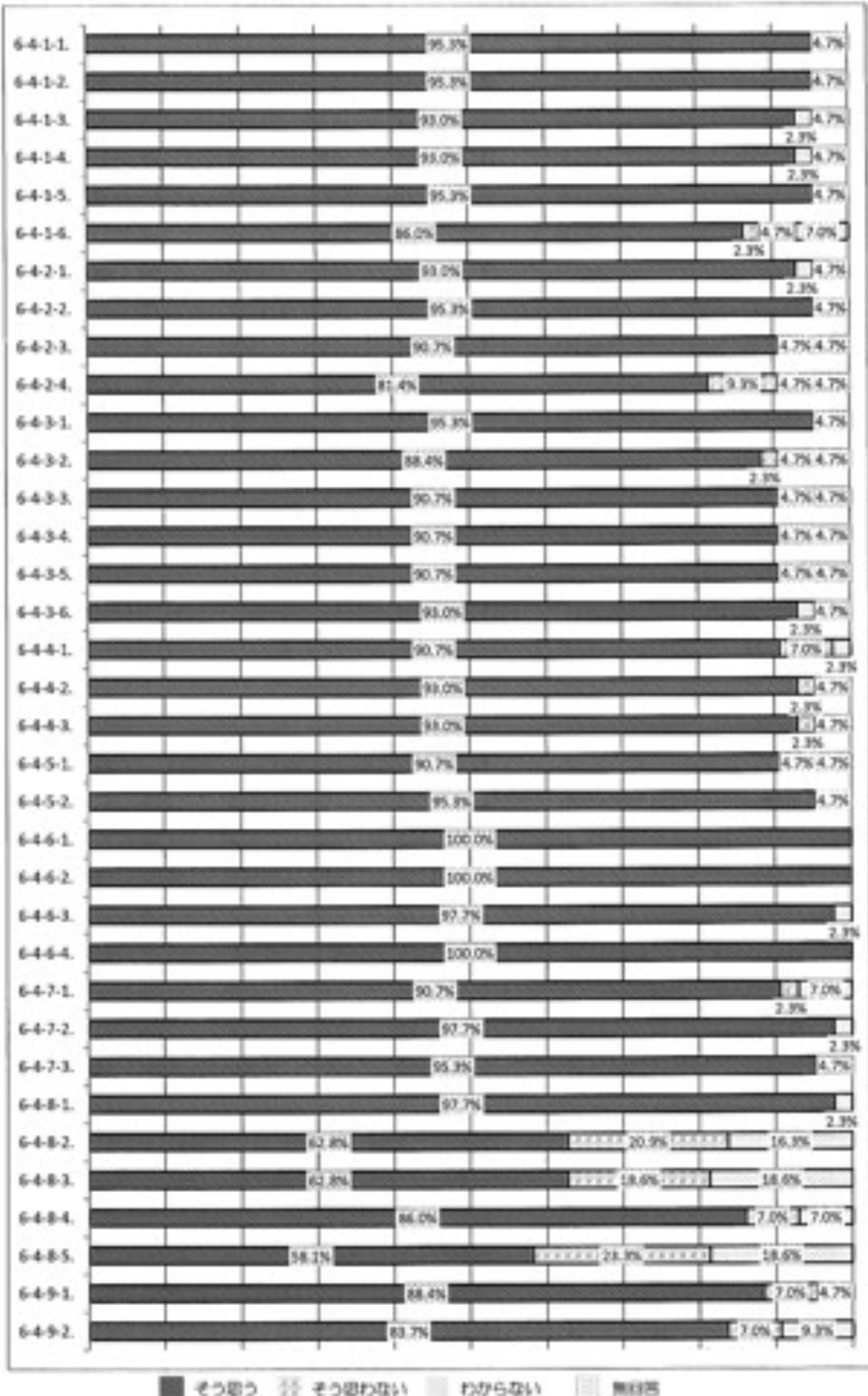
1. 子どもが自分の健康や安全に関心をもち、病気やけがを予防・防ぶことができるよう援助している	39	1	3	0	43
	90.7%	2.3%	7.0%	0.0%	100.0%
2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づき対応をしている	42	0	1	0	43
	97.7%	0.0%	2.3%	0.0%	100.0%
3. 保護者と連携をとり、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	41	0	2	0	43
	95.3%	0.0%	4.7%	0.0%	100.0%

## 6-4-8. 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

1. 保護者には、子育てや就労等の様々な事情に配慮して支援を行っている	42	0	1	0	43
	97.7%	0.0%	2.3%	0.0%	100.0%
2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	27	9	7	0	43
	62.8%	20.9%	16.3%	0.0%	100.0%
3. 保護者と職員の間で関係が深まるような取り組みをしている	27	8	8	0	43
	62.8%	18.6%	18.6%	0.0%	100.0%
4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を確立する取り組みを行っている	37	3	3	0	43
	86.0%	7.0%	7.0%	0.0%	100.0%
5. 保護者の養育方向のため、園の保育の活動への参加を促している	25	10	8	0	43
	58.1%	23.3%	18.6%	0.0%	100.0%

## 6-4-9. 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	38	3	2	0	43
	88.4%	7.0%	4.7%	0.0%	100.0%
2. 園の行事に地域の人々の参加を呼びかけたり、地域の行事に参加するなど、子どもが園員以外の人と交流できる機会を確保している	36	3	4	0	43
	83.7%	7.0%	9.3%	0.0%	100.0%



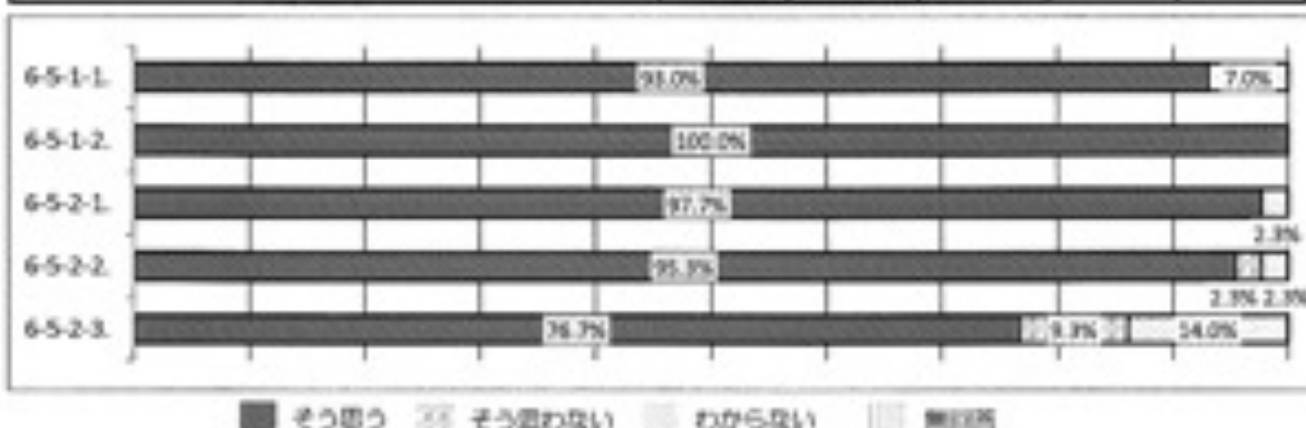
サブカテゴリ5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

6-5-1. 子どものプライバシー保護を徹底している

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	40	0	3	0	43
	93.0%	0.0%	7.0%	0.0%	100.0%
2. 子どもの置かれた状況に配慮した保育を行っている	43	0	0	0	43
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

6-5-2. サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	42	0	1	0	43
	97.7%	0.0%	2.3%	0.0%	100.0%
2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	41	1	1	0	43
	95.3%	2.3%	2.3%	0.0%	100.0%
3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の間接的・研修会を実施し理解を深めている	33	4	6	0	43
	76.7%	9.3%	14.0%	0.0%	100.0%



サブカテゴリ6 事業所業務の標準化

6-6-1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	36	1	6	0	43
	83.7%	2.3%	14.0%	0.0%	100.0%
2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	33	3	7	0	43
	76.7%	7.0%	16.3%	0.0%	100.0%
3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を参照している	30	5	8	0	43
	69.8%	11.6%	18.6%	0.0%	100.0%

6-6-2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直し取り組みをしている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改善の時期や見直しの基準が定められている	30	2	11	0	43
	69.8%	4.7%	25.6%	0.0%	100.0%
2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子も反映するようにしている	37	1	5	0	43
	86.0%	2.3%	11.6%	0.0%	100.0%



□職員自己評価結果(コメント部分)

かやの実保育園

※コメントについては匿名性に配慮する必要がありますので、個人が特定できそうな文章は削除し、置換がわかるように修正を加えている部分があります。その他についての文章表現(漢字、仮名づかいなど)は、抜字の修正などを除き、原文のままとなっています。

○前年度の取り組みにより、良くなったと思う点をご記入ください

1	連絡事項を共通LINEで渡し、大切なことを把握しやすくなった。
2	職員が情報を共有する新たなシステムを作ったため、短時間職員を含めた全職員での情報共有がスムーズとなったこと。
3	アクシデントが起こった時に対応や対策を全職員にノートに記載して知らせる。
4	グループLINEにより伝えもれなく伝達事項を把握できる。
5	コロナの流行で、様々な行事の見直しを行った。また、行事自体が少なく、準備での残業や土曜出勤も例年より少なかった。
6	LINEのオープンチャットによって、園での情報共有が出来るようになった。
7	特になし。
8	コロナ禍でも行事を工夫し子どもたちが楽しめていたこと。
9	前年度末から今年度にかけて床等の工事があり、掃除はしやすくなったと思う。見た目にもきれいになったと思う。
10	新型コロナウイルス感染防止に関しては全職員が知識を持ち、実行している。
11	コロナウイルスにより行事ができないと思われたが、行事ごとに工夫・配慮をし、行い、子どもたちと楽しむことができた。
12	コロナ感染対策で消毒をする事等のやり方などよく考えて対策してくれていると思う。
13	自己評価シートで各自課題を明確にして改善に取り組んでいる。
14	コロナ禍の中でも子ども、保護者が安心して過ごすことができるよう職員一人ひとりが心がけている。自分達にできることを考え子ども達が楽しめるようにしている。
15	新型コロナ対策としてLINEで事務連絡の知らせがあり、一度に皆に伝わっていること。
16	毎日、園内の様子や活動等の情報を開示するようになり、いつでも閲覧できるようになった。
17	特になし。
18	コロナウイルス感染症の影響もあり、職員間でコミュニケーションを取ることが難しいなかで、伝達のもれ等ないように工夫されている。
19	保育、給食でそれぞれ毎日Twitter(ツイッター)を更新しており、利用希望者への情報提供が行われるようになった。また、コロナ禍で園内に保護者を入れないようにしているが、保護者にも保育の様子が伝わりやすくなったと思う。
20	新型コロナウイルスが感染拡大していく中で、職員以外が園内に入ることがなくなった。感染を防ぐだけでなく、家から保育園へ、という気持ちの切りかえにも、良い流れになっている。
21	コロナ禍のため行事は今まで通りに行えず、中止になったり、方法を工夫し、現状で出来ることを実施していった。そのことで、メリット、デメリット様々なことが見えて来たので、今までの行事の成り立ちを含め、今後よりよい形を考える機会となった。
22	コロナの影響で、生活、保護者対応、行事等、全てのことで、対策を考える必要があったが、状況に応じての対応を園全体で協力しながらすすめられた。
23	コロナ対策。
24	コロナ禍の中、行事等の活動が制限があり、前年度との比較は出来ないが、はじめから出来ないと思わず、この状況で何が出来るかを話し合い活動を取り組んだ。

○貴事業所の特によく思う点、特に改善したいと思う点を、それぞれ三つ以内でご自由にお答えください

【特によく思う点】

1	有給休暇を取りやすい環境を作ってくれている。
2	正職員も非正規職員も同じように大切に思ってくれている。
3	その子らしさを受け止めて対応しているため、一人ひとりの子どもがのびのびと過ごしていること。
4	リーダー層を交え、問題に対して共通認識をもつ一パートにも伝えている。
5	経営層が優しく、とても良い雰囲気働きやすい。
6	職員の声かけが温かく、子どもに寄り添う保育を行っている。
7	遊具が豊富で遊びが豊か。
8	働きやすい。
9	コロナという事態になっても最善をつくし子どもにとってより良い保育をすること。
10	職員の共通認識のためにLINEやミーティングノートがあり、把握しやすい。
11	子ども一人ひとりに対して向きあっている。
12	職員一人ひとりが無理なく働けるよう配慮されている。
13	パート職員も時間の配慮や仕事をしやすくしてもらえている。
14	職員間の仲が良い。
15	一人ひとりの子どもに向き合い、より良い保育ができるよう日々努めている。
16	個を大切にし、一人ひとりに合った保育を行なう事ができている。また、家庭環境に配慮し、保育している点。
17	コロナウィルス感染状況の情報収集に努め、素早く園での対策をし、衛生面など徹底して行っている。
18	勤務体制の変更、休みに対応をすぐにしていて、他にない部分だと思う。
19	子どものことを常に考え、保育を行っている。
20	相談、提案したことに対して、意見を取り入れてもらったり、助言をもらえたりする。
21	保護者の要望を聞き、とてもいい対応をしている。園全体で、どうすれば良いかを考えている。
22	年齢に応じた色々な絵本やあそびがとてもよく工夫され、豊富に用意されている。
23	休みの取りやすさ。
24	子ども、保護者個々の事情に配慮している支援はとても多い。
25	理念や、本園の保育の基本とすべき点をふまえた上で、職員の主体性を重視し、日々の保育を行うことができる。
26	コロナで、行事や生活の制限が増えたがその中でも新たな行事を取り入れたり、行い方を工夫するなど、できることを考え対応している。
27	一人ひとりを大切に保育。
28	ミーティングノートでの情報共有。
29	職員を大切にしている。
30	子どもの体調、アレルギーに応じた食事を提供しているところ。
31	自分の意見を言いやすい環境や雰囲気を作ってくれている。
32	職員が、子どもにとってより良い方法を考える姿勢を持ち、日々保育を改善していていること。

33	園内の衛生環境、美化、装飾などに力を入れている。
34	気になった事をすぐにクラスで共有できる事。経営層が話を聞いてくれる事。
35	事情に合わせ、勤務体制を考えてくれる。
36	職員同士の良い関係。
37	常に子どもを第1に考え、保育を工夫する力があること。
38	職員の仲が良い。
39	人間関係が経営層を主に良い関係感じになっている。
40	子どもに真剣に向き合っている。
41	リーダー層、中堅職員が、経験の浅い職員を気にかけて声をかけている。
42	リーダー層を中心に、相談しやすく、どうしたら良いのか職員全体で考えてくれる点。
43	園やクラスの報告や連絡を、全職員に対して細かく周知している。
44	子どもに対して、職員一人ひとりていねいにかかわっている。
45	人間関係が良く、リーダー層だけでなく、中堅職員にも相談しやすい。
46	季節の花や装飾がたくさんあり、心地よい環境作りがされている。
47	職員間での情報共有。
48	よい仲間関係ができており、お互いを尊重し助け合ったり、協力し合うことが出来ている。
49	乳児クラスは担当制を行い、大人と子どもとのより深い関係性が築ける。幼児クラスは異年齢クラスのため、子ども同士のかかわりの幅が広がる。
50	地域との交流。
51	情報の風通しが良い。
52	保護者との面談を積極的に取り組んでいる。
53	職員間の雰囲気が良いこと。
54	絵本や質の良い遊具が豊富で、予算も多く、子どもにとって良い環境である。
55	有給休暇がとりやすく、ノンコンタクトタイムもしっかりある。
56	職員の仕事量(書類等)が軽減され、時間内に事務時間がとれることがある。
57	改善が必要な場合、固執せず、柔軟に見直す事ができる。
58	子ども一人ひとりを大切にする理念のもと、同じ気持ちで保育を行えている。
59	職員の方、皆、ていねいに子どもに接している。連絡事項もしっかりと伝えていて、よい環境の中で保育がされている。
60	自分のクラスだけではなく、他のクラスのことを気にかけることのできる関係性。
61	子どもだけでなく職員一人ひとりを大切に働きやすい職場作りに取り組んでいる。
62	子どもの生活が安定するよう、乳児から幼児クラスへとつながりのある日課、環境作りをしている。
63	行事などで伝承文化を伝えている。
64	新しい取り組みをしようとする姿勢がある。

【特に改善したいと思う点】

1	休憩がなかなか45分とれない。短いと15分。
2	コロナ感染予防のため、他クラス職員とかかわることが減り、コミュニケーションが難しくなっていること。
3	大人が決めたルールが多すぎて、それを子どもに守らせようとしている気がする。子どもが自ら考え、工夫するという場が少ない。

4	子どもの名前を覚えてほしい。現場を見に来てほしい。
5	コロナで昼食(職員)を各クラスでは壁を向いて食べたりしているが、職員の休憩時も、会話の時はマスク着用、人数が多くならない、向きあわないようになど配慮した方がよいと思う。
6	ていねいな保育は良いが、やりすぎてしまって自分たちの首をしめていないか。
7	特になし。
8	わらべうたを音楽教育の基本にしているが、歌うことができないこともあるので動画を使うなど工夫が必要。
9	特になし。
10	利用者(保護者)によって対応が変わる気がする。
11	今コロナ禍で日常が以前のように出来ていない、早く終息してほしい。
12	時間管理がおろそか。
13	保育に疑問を感じることもあっても、職員によっては声をかけづらい雰囲気があり、そのままになっているところがある。
14	感染症対策で色々と変化している部分があるが、やっている中で、いい案があればその都度取り入れ、よりサービスの向上に努めていく。
15	必要のないと思われる私語が多く感じる。慣れあいの組織運営にならないようにしたい。
16	コロナ禍のため、職員同士の交流がはかりにくい。他のクラスの様子がわかりにくくなってしまっているため、改善したい。
17	保護者に寄り添い過ぎてしまう場面があるので、お互いに気持ち良くかわられるようにしていきたい。
18	必要な時間の人員配置。
19	個人の保育の記録を職員すべてがもっと共有出来るようになったら良い。
20	世代にもよるが、思っていること考えていることを言葉にして伝えることを苦手とする職員もいるので、そういったことが出来るように働きかけ、工夫が必要だと思う。
21	コロナ対策で以前に比べ保護者と担任が会える機会が減っている。その中でもコミュニケーションがとれるよう職員間で連携をとって対応しているが、今後もこの点の工夫を続けたい。
22	業務連絡用LINEの使い方。
23	全体的なICT化。
24	コロナ感染予防のため、送迎時の保護者とのやりとりの時間を短くせざるを得ず、保護者支援の機会を十分に確保できないこと。
25	クラスによって(担任によって)、子どもへの対応やパートを含めた共通認識に差がある。
26	色々なクラスの事情はあるが、子どもの人数と大人の人数のバランスをみんなが考えられると良い。
27	親睦会費、コロナで炊事室が設けられないので、余ったお金をケーキなどで補ってくれているが、人によっては返金が多かったり、甘い物が苦手な人もいます。一応、自分のお金だし、意見を取り入れて欲しい。
28	仕事が休みでも通園したり、仕事が終わっても迎えにこない保護者が多い(保育時間が長い)。
29	マスク生活が長いので職員の顔が見えるような工夫が必要。透明マスクがあれば使用する。
30	職員間での時間のルーズ感がある。
31	水道が少しすくなくないか？子どもの手洗いの順が気になる。
32	廃出物がおろそか。
33	日々の保育を客観的に見てくれる人がおらず振り返りや改善ができていない。そのため細かいところが統一できていない。



34	本園の目指す保育理解を深め組織力の向上をする。
35	保護者の養育力向上のための取り組みはなかなか難しいと感じる。特に現状では新型コロナウイルス感染症もあり、2歳児クラス以降は特に難しい。
36	同一賃金、同一労働と言っているが、正規の負担がとても多い。
37	子ども一人ひとりがさらに自分らしく過ごせるような環境や仕組みをもっと柔軟に変えられるといい。
38	自分たちの、取り組んでいることを保護者や、園外の人たちに、もっとアピールできるようにしたい。
39	ある程度の対応統一化。
40	特定の職員に仕事が集まりがちであること。
41	主張や意見も大切だが、社会人なので言い方に工夫をしたり、相手の気持ちを考えた行動をとるべき。
42	任意のものを新わったことにおどろく職員がいたようですが、価値観は人それぞれだと思います。
43	常勤的パートが少ない。
44	保護者同士が交流する方法(Zoomの活用など)。
45	職員の仲が良い分、慣れ合いも多く感じる。全部署で。
46	経営層も含め気持ちの良いあいさつができない職員がいる。
47	現場の現状を知り、適切な評価をする必要がある。
48	事務所と現場での意識の違い、関係性。
49	コロナ禍ということもあり保護者同士がかかわる場がすっかりなくなってしまった。何らかの方法を考えていきたい。



株式会社 学研データサービス  
(福祉サービス第三者評価機関)

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-11-8  
TEL03-5436-8191 FAX03-5487-8810

- 評価機関認証  
東京都福祉サービス第三者評価機関認証  
埼玉県福祉サービス第三者評価機関認証  
千葉県福祉サービス第三者評価機関認証  
神奈川県福祉サービス第三者評価機関認証  
社会的養護関係施設第三者評価機関認証

